



ユーザーズガイド

TD-4550DNWB

目次

本ガイドの使い方	1
注意事項の定義	2
一般的なご注意	3
商標およびライセンス	4
オープンソースライセンスに関する特記事項	5
重要事項	6
プリンターをセットアップする	7
各部の名称	8
画面の概要	10
ボタン電池を取り付ける	13
日時を設定する	15
RD ロールをセットする	16
センサーの位置を確認する	19
電源コードを接続する	22
電源をオン/オフにする	23
ソフトウェアをインストールする	24
プリンタードライバおよびソフトウェアをパソコンにインストールする	25
使用できるアプリケーション	26
プリンターをパソコンに接続する	27
USB ケーブルを使用してプリンターをパソコンに接続する	28
Wi-Fi を使用してプリンターをパソコンに接続する	29
有線 LAN を使用してプリンターをパソコンに接続する	32
Bluetooth 接続を使用してプリンターをパソコンに接続する	33
パソコンを使用してラベルを作成、印刷する	34
P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)	35
P-touch Editor Express モードのメイン画面 (Windows)	36
P-touch Editor Professional モードのメイン画面 (Windows)	37
P-touch Editor Snap モードのメイン画面 (Windows)	38
P-touch Editor を使用してラベルを印刷する (Windows)	39
ソフトウェアやドライバをインストールせずにラベルを作成、印刷する	40
USB インターフェイスを使用して印刷する (マストレージモード)	41
プリンタードライバを使用せずに画像データを印刷する	42
ラベルを複数のプリンターで分散印刷して印刷時間を短縮する (Windows)	43
クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する (Windows)	46
クロップ印刷で認識できるバーコード (Windows)	47
クロップ印刷に対応したバーコード文書 (Windows)	48
クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する (Windows)	50
プリンタードライバを使用してラベルを印刷する (Windows)	52
プリンターの画面を使用してラベルを印刷する	53
P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)	54
P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)	55
パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)	56
転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する	60
バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)	62

P-touch Template の操作の概要.....	63
P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)	64
P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)	65
パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)	66
バーコードスキャナー設定を指定する (Windows)	70
Bluetooth を使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する (Windows)	72
USB ホストインターフェイスを使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する.....	73
バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる	74
転送したテンプレートを直接印刷する (定型テンプレート印刷)	75
転送したテンプレートを変更後に印刷する (拡張テンプレート印刷)	79
データベースに関連付けたテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)	83
転送したテンプレートを連番で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)	87
設定用バーコード一覧	91
モバイル端末を使用してラベルを印刷する.....	94
モバイルアプリをインストールする.....	95
プリンターを携帯端末に接続する	96
パソコンで作成したテンプレートを携帯端末を使用してプリンターに転送する	98
プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows)	99
P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows)	100
P-touch Transfer Manager の使用に関する注意事項 (Windows)	101
パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows)	102
プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする (Windows)	110
プリンターのデータを削除する (Windows)	111
転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する (Windows)	112
P-touch Transfer Manager を使用せずに、転送するテンプレートをユーザーに配布する (Windows) ..	114
テンプレートを保存または管理する (P-touch Library)	118
P-touch Library を使用してテンプレートを編集する (Windows)	119
P-touch Library を使用してテンプレートを印刷する (Windows)	120
P-touch Library を使用してテンプレートを検索する (Windows)	121
ネットワーク.....	123
ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて	124
アップデート.....	125
P-touch Editor をアップデートする (Windows)	126
ファームウェアを更新する	128
プリンターの設定	130
プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)	131
プリンター設定ツールの通信設定 (Windows)	133
プリンター設定ツールの本体設定 (Windows)	140
プリンター設定ツールの P-touch Template 設定 (Windows)	146
プリンター設定ツールの用紙サイズ設定 (Windows)	148
複数のプリンターに設定の変更を適用する (Windows)	153
ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する.....	154
ウェブブラウザのログインパスワードを設定または変更する.....	155
プリンターの設定を確認する	156
プリンターを使用してプリンター設定を変更する	157
メニューのセキュリティを設定する	158

設定一覧.....	159
日常のお手入れ.....	163
プリンターを清掃する.....	164
ボタン電池を交換する.....	167
困ったときは.....	170
本製品に問題がある場合は.....	171
エラーとメンテナンスの表示.....	172
印刷の問題.....	174
バージョン情報.....	180
プリンターをリセットする.....	181
付録.....	182
仕様.....	183
ソフトウェア開発キット.....	185
用紙自動検知.....	186
用紙自動検知の概要.....	187
用紙自動検知機能を使用する.....	188
別売品.....	189
プリンターのその他の部品を清掃する.....	190
ハクリユニットオプションを変更する.....	193
カットオプションを変更する.....	194
アフターサービスのご案内.....	195

本ガイドの使い方

- [注意事項の定義](#)
- [一般的なご注意](#)
- [商標およびライセンス](#)
- [オープンソースライセンスに関する特記事項](#)
- [重要事項](#)

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

 警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	ヒントアイコンは、有益なヒントや補足情報を示します。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[XXXXX]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

一般的なご注意

RD ロール

- ブラザーが提供する付属品および消耗品を使用してください (マークが付いています)。
- 水分、汚れ、油分が付着している場所にラベルを貼ると、はがれやすくなる場合があります。ラベルを貼る前に、ラベルを貼る場所の表面を拭いてください。
- RD ロールは涼しく暗い場所に保管し、開封後はすぐにご使用ください。
- RD ロールを直射日光、高温、高湿、風、ほこりにさらさないでください。ラベルが剥がれたり、変色したりする恐れがあります。
- ラベルの印刷面を爪や金属でこすったり、濡れた手で触ったりすると、色が変わったり、あせたりする恐れがあります。
- 決して、人、動物、植物にラベルを貼らないでください。許可なく、公共財産または私有財産にラベルを貼らないでください。
- RD ロールの最後のラベルは正常に印刷されない場合があるため、各ロールにはパッケージに記載されている量よりも多い量のラベルが含まれています。
- ラベルを貼った後にはがすと、ラベルの一部が表面に残る場合があります。
- ラベルを貼ると、はがすのが困難になる場合があります。
- 警告および安全上の注意点については、「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

商標およびライセンス

- Android および Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ブラザー工業株式会社およびその関連会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Epson ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Mac、Safari、iPad、iPhone、iPod touch は、Apple Inc.の商標です。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。
- Mozilla および Firefox は、Mozilla Foundation の登録商標です。
- QR コード生成プログラム Copyright © 2008 DENSO WAVE INCORPORATED.
- BarStar Pro Encode Library (PDF417、Micro PDF417、DataMatrix、MaxiCode、AztecCode、GS1 Composite、GS1 Databar、Code93、MSI/Plessey、POSTNET、Intelligent Mail Barcode)
Copyright © 2007 AINIX Corporation. All rights reserved.
- Blue SDK
Copyright © 1995-2018 OpenSynergy GmbH.
All rights reserved. All unpublished rights reserved.
- Portions of this software are copyright © 2014 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

ブラザー製品、関連文書およびその他の資料に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

オープンソースライセンスに関する特記事項

本製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースライセンスに関する特記事項については、サポートサイト (support.brother.co.jp) でお使いの機種 **の製品マニュアル** ページを参照してください。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

重要事項

- 本書の内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
- ブラザー工業株式会社は、本書に記載されている仕様および内容を予告なく変更する権利を保有し、誤植やその他の出版関連の誤りを含む（ただし必ずしもこれに限定されない）記載内容によって生じた、いかなる損害（間接損害を含む）についても責任は負いません。
- 本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステム、ご使用の機種、ソフトウェアバージョンによって異なる場合があります。
- 安全に正しくお使いいただけるよう、ご使用になる前に必ず本機に同梱されているすべての文書をお読みください。
- イラストに示されているプリンターは、ご使用の機器と異なる場合があります。
- ご利用できる付属品は国によって異なる場合があります。
- 最新バージョンの P-touch Editor を使用することをお勧めします。

✓ 関連情報

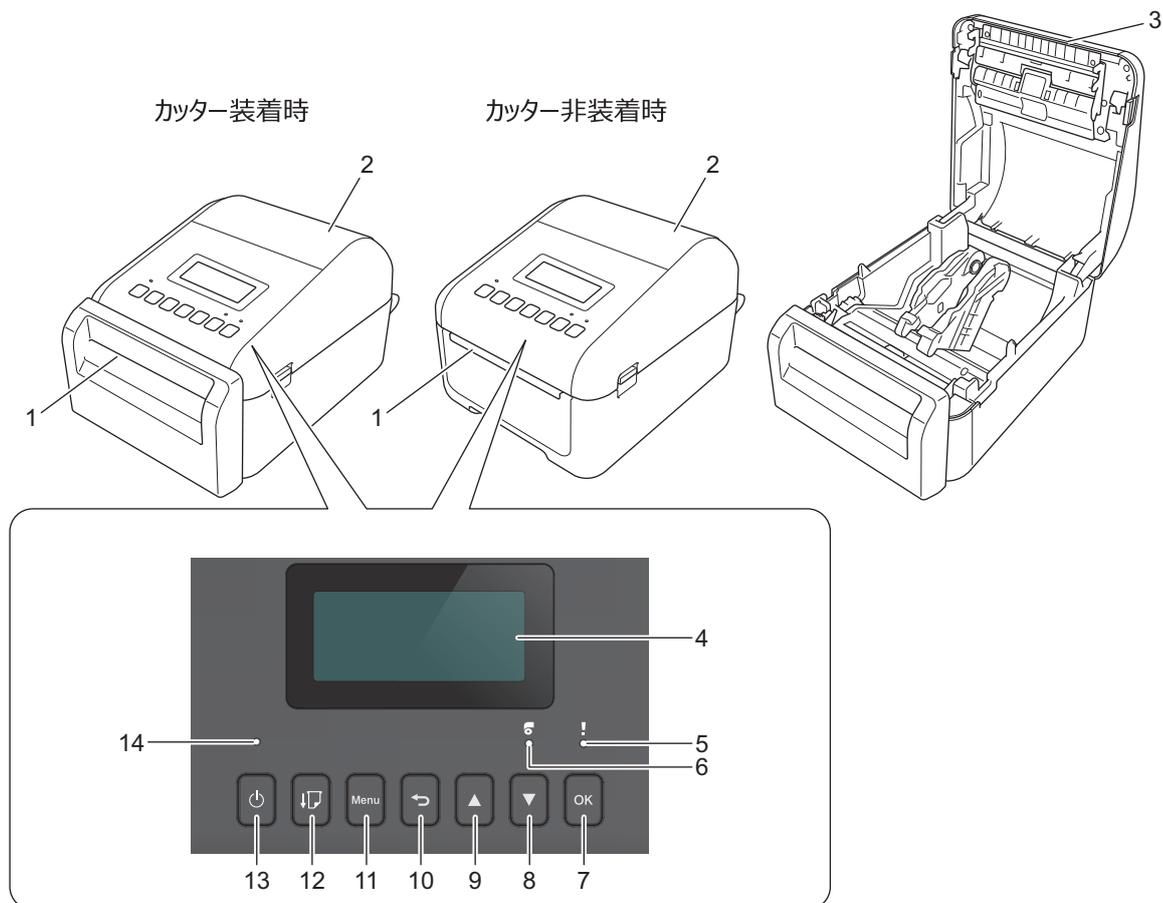
- [本ガイドの使い方](#)

■プリンターをセットアップする

- 各部の名称
- 画面の概要
- ボタン電池を取り付ける
- 日時を設定する
- RD ロールをセットする
- センサーの位置を確認する
- 電源コードを接続する
- 電源をオン/オフにする

各部の名称

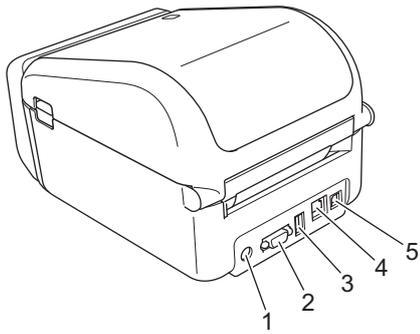
前面



1. ラベル出カスロット
2. ロールカバー
3. ティアバー
4. 液晶ディスプレイ
5. ステータス LED
6. ロール LED
7. OK ボタン
8. ▼ (下矢印) ボタン
9. ▲ (上矢印) ボタン
10. ↶ (戻る) ボタン
11. メニューボタン
12. ↓ (給紙) ボタン
13. ⏻ (電源) ボタン
14. 電源 LED

 印刷を一時停止するには、いずれかのボタンを押します。再度ボタンを押すと、印刷を再開します。ページ全体を印刷した後でのみ一時停止できます。最後のページやページ間では一時停止できません。

背面



1. 電源ポート
2. シリアルポート
3. USB ホストポート
4. LAN ポート
5. USB ポート

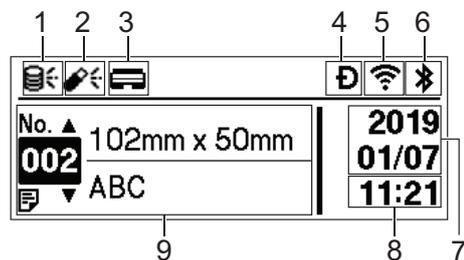
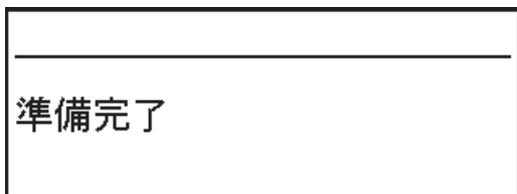
✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

画面の概要



画面には保護フィルムが貼られています。



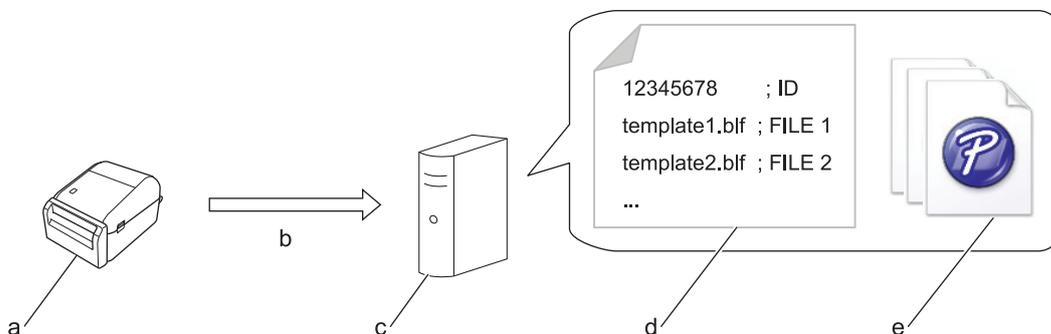
1. アップデートアイコン（ネットワーク）

テンプレート、データベース、その他のデータ更新が利用できることを示します。

	新規データあり。
	データ残りあり。 (点減)
	サーバーに接続できません。 (点減)

- リモートデータ更新（FTP）

プリンターからFTPサーバーに接続してテンプレートやデータベースの更新を行ったり、ネットワーク接続された複数のプリンターに更新データを配布するコマンドを実行したりすることができます。



a. プリンター（FTP クライアント）

b. FTPサーバーから更新データの読み出し

c. FTPサーバー

d. 設定ファイル（updateinfo.ini）

e. テンプレートやデータベースなど更新したいファイル（BLF/BIN ファイル）

更新についての詳細は、サポートサイト（support.brother.co.jp）にアクセスしてください。

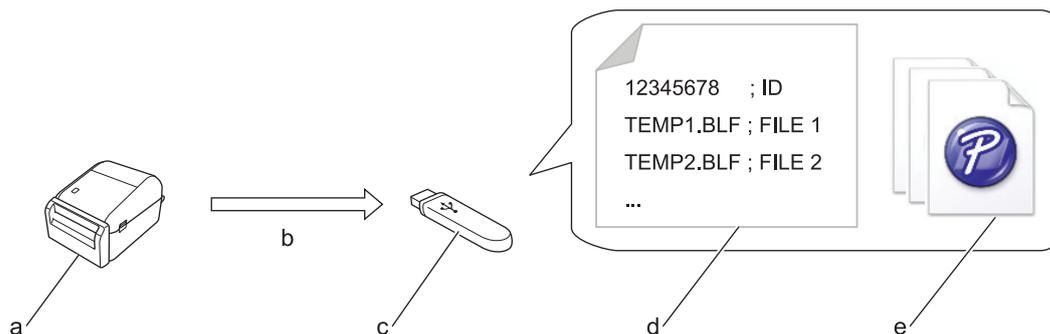
2. アップデートアイコン（USB フラッシュメモリー）

テンプレート、データベース、その他のデータ更新が利用できることを示します。

	新規データあり。
	データ残りあり。 (点減)

- ローカルデータ更新（USB フラッシュメモリー）

プリンターに接続された USB フラッシュメモリからファイルを読み出した後、テンプレートやデータベースの更新を行ったり、コマンドを実行したりすることができます。



- a. プリンター
- b. 更新データの読み出し
- c. USB フラッシュメモリ
- d. 設定ファイル (UPDATE.INI)
- e. テンプレートやデータベースなど更新したいファイル (BLF/BIN ファイル)

更新についての詳細は、サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

3. 印字ヘッドステータスアイコン

	通常の状態。
	印字ヘッドが切断されているか、印字ヘッドで問題が生じています。

4. Wireless Direct アイコン

	Wireless Direct モードがオン。 携帯端末に接続されていません。
	Wireless Direct モードがオン。 携帯端末に接続されています。

5. WLAN アイコン

	プリンターはネットワークに接続されています。
	ネットワークを検索中。

6. Bluetooth アイコン

	Bluetooth モードがオン。 携帯端末に接続されていません。
	Bluetooth モードがオン。 携帯端末に接続されています。
	自動再接続機能がオンになっていますが、プリンターは携帯端末に接続されていません。

7. 日付表示

8. 時刻表示

9. テンプレート

お願い

印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとすると、誤作動する可能性があります。

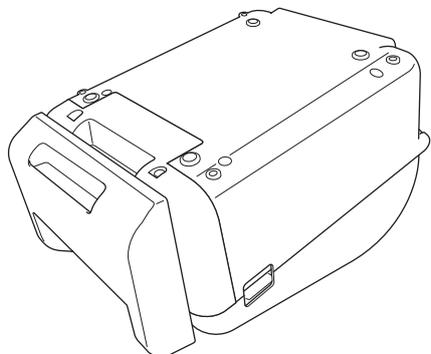
✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

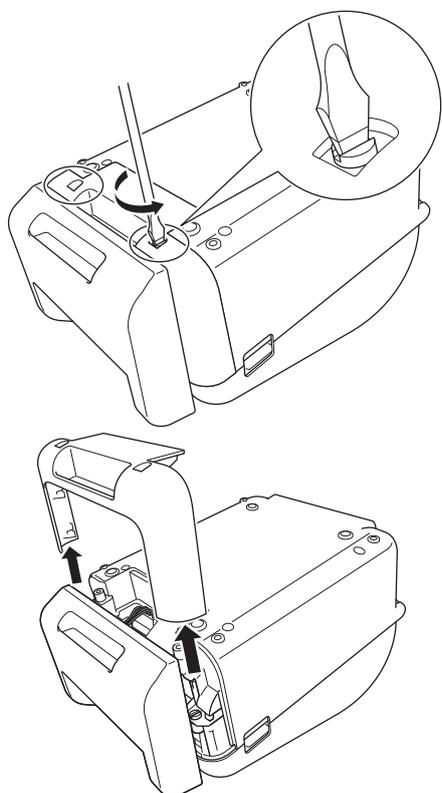
ボタン電池を取り付ける

ボタン電池は、内部時計の設定を維持するための予備電源として使用されます。プリンターが使用されていない場合でも、電池の電力は消費されます。

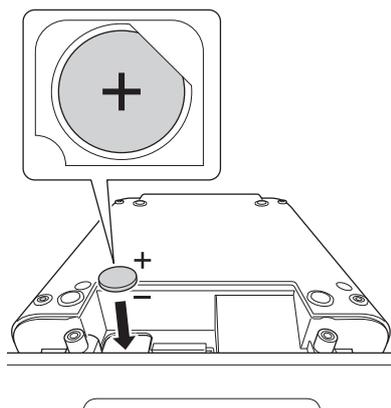
1. プリンターが AC 電源コンセントから切断されていることを確認します。
2. プリンターをひっくり返します。



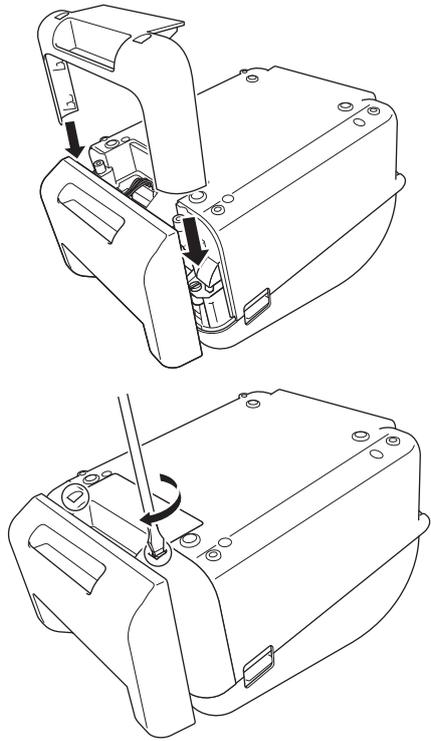
3. マイナスドライバーを使用して、フロントカバーベースを取り外します。



4. ボタン電池を適切な場所に取り付け、電池が水平で、正極が上を向いていることを確認します。



5. マイナスドライバーを使用して、フロントカバーベースを再度取り付けます。



✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

日時を設定する

1. **Menu** を押します。
2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [本体設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [時計設定] を選択します。 **OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、年を設定し、**OK** を押します。この手順を繰り返して月日を設定します。
4. ▲または▼を押して、時間を設定し、**OK** を押します。この手順を繰り返して分を設定します。
5. ▲または▼を押して、[AM]、[PM]、または[24]を選択し、**OK** を押します。



日時形式を変更するには、[管理者設定] > [日付形式] または [管理者設定] > [時刻形式] を選択し、設定します。

6.  を押します。

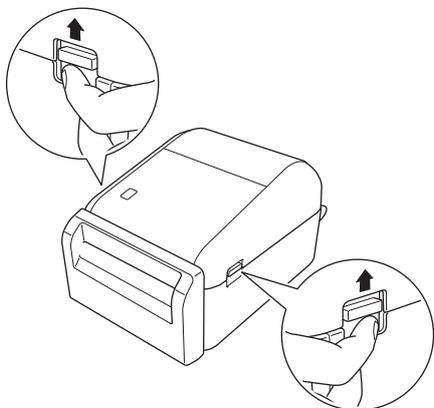


関連情報

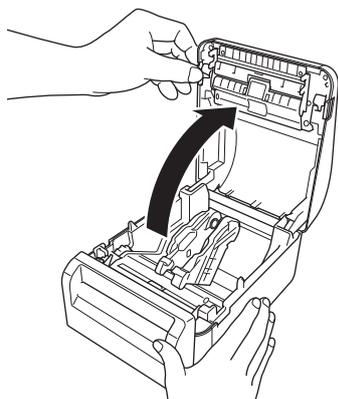
- [プリンターをセットアップする](#)

RD ロールをセットする

1. 電源ボタンを長押しして、プリンターの電源を切ります。
2. プリンターの両側にある解除レバーを引き、ロールカバーのロックを解除します。



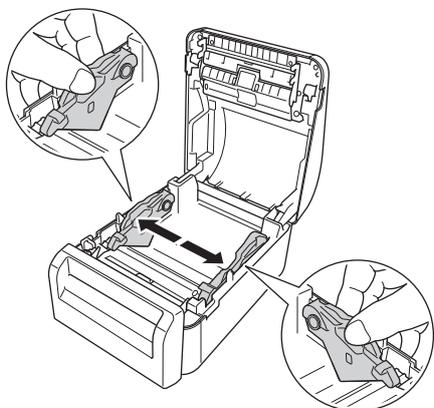
3. プリンターの前面を持ち、ロールカバーをしっかりと持って持ち上げ、開きます。



⚠ 注意

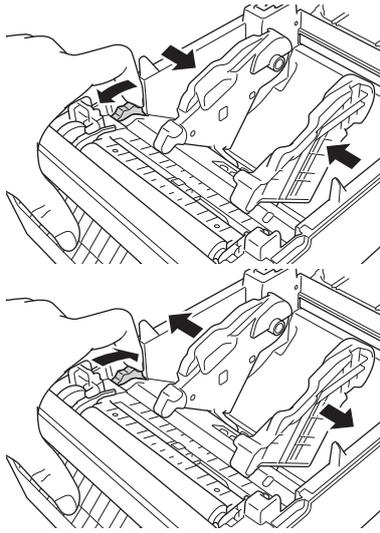
ティアバーを手で直接触らないでください。ケガをする恐れがあります。

4. 両方のロールガイドを外側にスライドさせます。

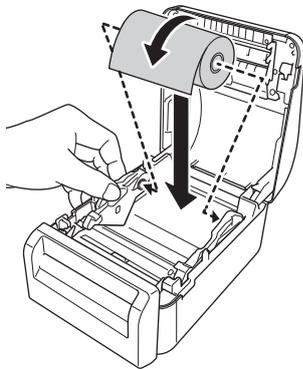




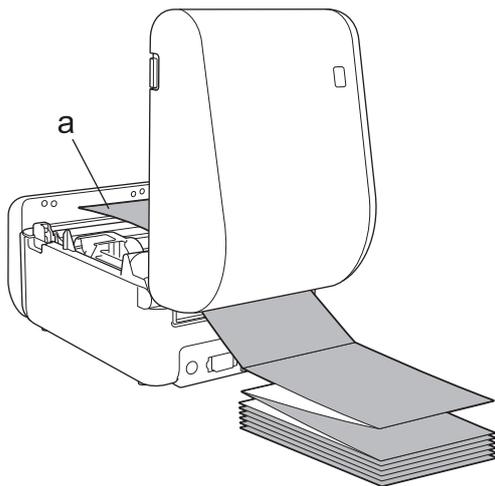
調整ダイヤルを手前に回し、ロールガイドを適切な場所でロックします。



5. イラストのように、ラベルの印刷面を上にしてロールを挿入します。



- ファンフォールド紙の場合
イラストのようにファンフォールド紙を挿入します。



a. 印刷面

ファンフォールド紙を使用するときは、ロールガイドを調整します。

6. 用紙押さえ (1) の下に、ロールの端を送ります。
用紙の先端をラベル出カスロットから少し出します。

センサーの位置を確認する

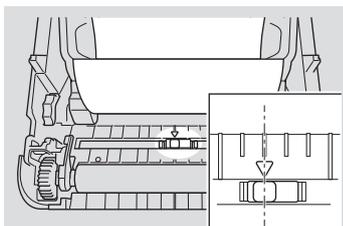
RD ロールやその他の種類のロールを使用するときは、使用する用紙の種類に応じてセンサーの位置を確認する必要があります。RD ロール以外のロールも使用できます。

- >> 黒マークなしのプレカット紙ラベル
- >> 黒マーク付きのプレカット紙ラベル
- >> 黒マークなしのレシート用紙
- >> 黒マーク付きの用紙
- >> 穴あき用紙
- >> リストバンド

黒マークなしのプレカット紙ラベル

透過型/ギャップセンサーでラベルの先端を検出し、正しい位置にラベルを送ります。

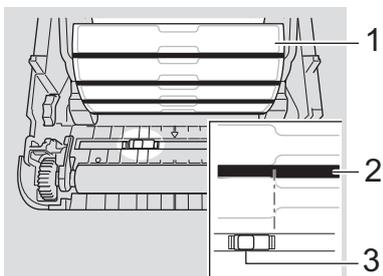
- プリンターの▼にスライダーを合わせます。



黒マーク付きのプレカット紙ラベル

反射型/黒マークセンサーでマークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。

- イラストのようにスライダーの位置を合わせます。

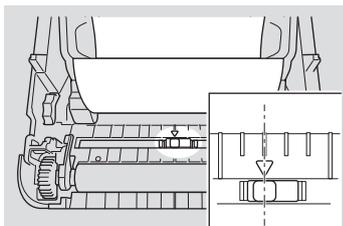


1. 用紙の裏面
2. 黒マーク
3. 反射型/黒マークセンサー

黒マークなしのレシート用紙

反射型/黒マークセンサーで用紙切れを検出します。

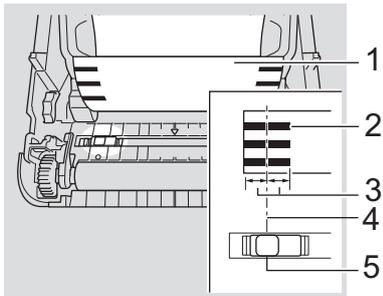
- プリンターの▼にスライダーを合わせます。



黒マーク付きの用紙

反射型/黒マークセンサーでマークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。

- スライダーを用紙の黒マークの中央に合わせます。



1. 用紙の裏面
2. 黒マーク
3. 4mm 以上
黒マークの中央から左右にそれぞれ 4mm 以上の長さがあることを確認します。
4. 黒マークの中央
5. 反射型/黒マークセンサー

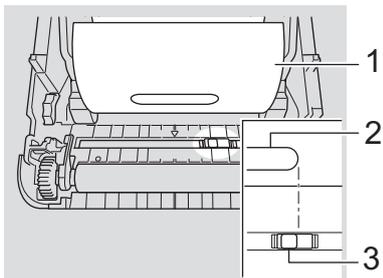


最大幅が 118mm の用紙を使用する場合は、反射型/黒マークセンサーで黒マークを検出できるように、用紙の左右どちらかの端から 12mm 以上内側まで黒マークを付けてください。黒マークが短かすぎると、反射型/黒マークセンサーで検出できません。

穴あき用紙

反射型/黒マークセンサーで穴を検出し、正しい位置に用紙を送ります。

- イラストのようにスライダーの位置を合わせます。

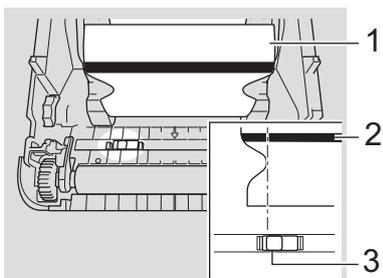


1. 用紙の裏面
2. 用紙の穴
3. 反射型/黒マークセンサー

リストバンド

反射型/黒マークセンサーでマークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。

- イラストのようにスライダーの位置を合わせます。



1. 用紙の裏面
2. 黒マーク
3. 反射型/黒マークセンサー

 **関連情報**

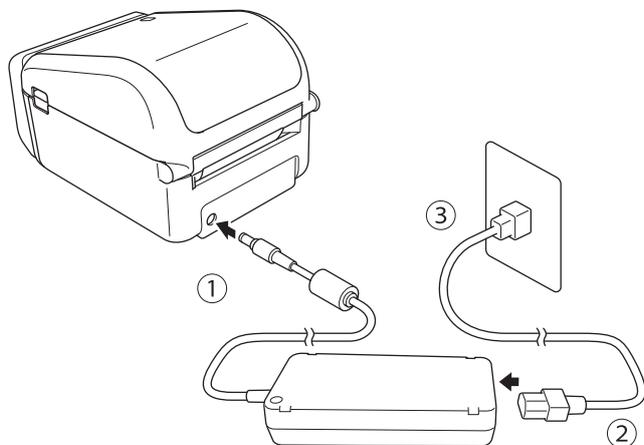
- [プリンターをセットアップする](#)

関連トピック：

- [用紙自動検知](#)
-

電源コードを接続する

1. AC アダプターをプリンターに接続します。
2. AC 電源コードを AC アダプターに接続します。
3. AC 電源コードを、アース付き AC 電源コンセントに差し込みます。



✓ 関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

電源をオン/オフにする

- プリンターの電源をオンにするには、 を押します。



 を押して、ロールの端を合わせます。

電源 LED が緑色に点灯します。

- プリンターの電源をオフにするには、電源 LED が消灯するまで  を長押しします。

お願い

プリンターの電源をオフにするときは、電源 LED が消灯するまで AC アダプターと AC 電源コードを抜かないでください。



関連情報

- [プリンターをセットアップする](#)

ソフトウェアをインストールする

- プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする
- プリンターをパソコンに接続する

プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする

パソコンから印刷するために、プリンタードライバー、P-touch Editor、およびその他のアプリケーションをパソコンにインストールします。

1. [install.brother](#) にアクセスして、ソフトウェア/製品マニュアルインストーラーをダウンロードします。
2. ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックし、画面の説明に従ってインストール作業を進めます。



無線接続を使用してパソコンにプリンターを接続する場合は、以下の作業を行うことをお勧めします。

- 購入後またはリセット後に初めてプリンターの電源をオンにすると、プリンターは無線設定を実行するモードになります。プリンターの電源をオンにした後、インストールを開始します。
- 無線ネットワークのSSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を事前にメモしておきます。この情報が分からない場合は、ネットワーク管理者または無線 LAN アクセスポイント/ルーターのメーカーに問い合わせてください。
- Wireless Direct を使用してパソコンにプリンターを接続する場合は、インストール中に USB 接続を選択します。インストールが完了したら、Wireless Direct のリンクをクリックします。

3. インストールが完了したら、ダイアログボックスを閉じます。



インストール中に選択した以外の接続方法でプリンターを使用する場合は、インストーラーをもう一度使用し、ソフトウェアとプリンタードライバーを再インストールして、新しい接続方法を選択します。



関連情報

- [ソフトウェアをインストールする](#)
- [使用できるアプリケーション](#)

使用できるアプリケーション

Windows で使用できるアプリケーション

アプリケーション	機能
P-touch Editor	付属の描画ツールを使用して、さまざまなフォントやテキストのスタイルの作成、画像のインポート、バーコードの挿入により、カスタムラベルをデザイン、印刷できます。
P-touch Transfer Manager	テンプレートやその他のデータをプリンターに転送し、データのバックアップをパソコンに保存することができます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
P-touch Library	P-touch Editor テンプレートを管理、印刷します。 P-touch Library を使用してテンプレートを印刷することができます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
P-touch Update Software	ソフトウェアを最新のバージョンに更新します。
プリンター設定ツール	プリンターの設定をパソコンから指定します。
BRAdmin Light	ネットワーク上のプリンターを検索し、パソコンから基本設定を行うことができます。
BRAdmin Professional	ネットワーク上のプリンターを検索し、パソコンから詳細設定および更新を行うことができます。
Font Manager	プリンターにフォントを転送したり、プリンターからフォントを削除したりできます。転送したフォントは、さまざまな印刷コマンドを使用してアクセスおよび印刷できます。  <ul style="list-style-type: none">フォント使用許可について フォントを使用する際は、正当な各フォント所有者の定めるすべての条件に従う必要があります。フォントをダウンロードする前に、フォントを使用するための正当なライセンスを所有していることを確認し、定められた条件を順守する必要があります。そうでない場合は、フォントをダウンロードすることはできません。

✓ 関連情報

- [プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする](#)

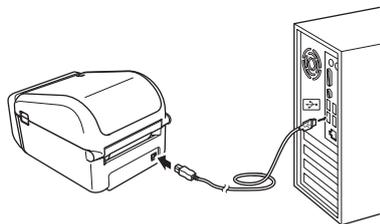
プリンターをパソコンに接続する

- USB ケーブルを使用してプリンターをパソコンに接続する
- Wi-Fi を使用してプリンターをパソコンに接続する
- 有線 LAN を使用してプリンターをパソコンに接続する
- Bluetooth 接続を使用してプリンターをパソコンに接続する

▲ホーム > ソフトウェアをインストールする > プリンターをパソコンに接続する > USB ケーブルを使用してプリンターをパソコンに接続する

USB ケーブルを使用してプリンターをパソコンに接続する

1. USB ケーブルを接続する前に、プリンターの電源が入っていないことを確認します。
2. USB ケーブルをプリンター背面の USB ポートに接続し、次にパソコンに接続します。



3. プリンターの電源をオンにします。

✓ 関連情報

- [プリンターをパソコンに接続する](#)

Wi-Fi を使用してプリンターをパソコンに接続する

Wi-Fi で接続するには次の方法があります。

- >> インフラストラクチャモード
- >> Wireless Direct
- >> WPS (Wi-Fi Protected Setup™)

インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでは、無線 LAN アクセスポイントルーター経由でプリンターをパソコンに接続できます。

• 開始する前に

無線 LAN アクセスポイントルーターと通信できるようにプリンターの Wi-Fi 設定を行う必要があります。設定が完了すると、ネットワーク上のパソコンからプリンターにアクセスできます。



- プリンターをネットワークに接続する場合は、インストールの前にシステム管理者に問い合わせることをお勧めします。インストールを続行する前に、Wi-Fi 設定を確認する必要があります。
- Wi-Fi 設定を再設定する場合や、プリンターの Wi-Fi 接続の状態が不明な場合は、プリンターの Wi-Fi 設定をリセットします。
- 購入後またはリセット後に初めてプリンターの電源をオンにすると、プリンターは無線設定を実行するモードになります。プリンターの電源をオンにした後、インストールを開始します。
- 通常の印刷で最適な結果を得るには、障害物が最小限になるように、プリンターをできるだけ無線 LAN アクセスポイントルーターの近くに置いてください。2 台の機器の間に大きな障害物や壁、他の電子機器からの干渉がある場合、通信や印刷のデータ転送速度に影響する可能性があります。

1. 無線 LAN アクセスポイントルーターの SSID (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) を書きとめます。
2. プリンターの電源をオンにします。
3. インストールを開始し、画面の指示に従います。



ネットワークを選択する画面が表示された場合は、書きとめた SSID を選択します。

プリンターと無線 LAN アクセスポイントルーターの接続が確立されると、同じネットワーク上にあるパソコンからプリンターにアクセスできるようになります。

Wireless Direct

Wireless Direct を使用すると、無線 LAN アクセスポイントルーターなしでプリンターをパソコンに直接接続できます。プリンターが無線 LAN アクセスポイントとして機能します。

1. 画面の指示に従い、USB 接続を選択してインストールを進めます。
2. プリンターを Wireless Direct モードに設定します。
 - 画面メニューから：
 - a. **Menu** を押します。
 - b. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - i. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - ii. [無線 LAN (On/Off)] を選択します。OK を押します。
 - c. ▲または▼を押して、[オン] を選択します。OK を押します。
 - d. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - i. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - ii. [ネットワークモード] を選択します。OK を押します。

- e. ▲または▼を押して、「ワイヤレスダイレクト」を選択します。OK を押します。

画面に  が表示されます。

- Windows パソコンを使用して：
 - a. お使いのパソコンで **Printer Setting Tool** を起動します。
 - b. **通信設定** ボタンをクリックします。
 - c. **全般 > 通信設定** をクリックします。
 - d. **インターフェイスの選択** 設定で **インフラストラクチャ** と **Wireless Direct** または **Wireless Direct** オプションが選択されていることを確認してから、**Wireless Direct** タブを確認します。
 - e. **設定** をクリックすると、プリンターが Wireless Direct モードに設定されます。
 - f. プリンター設定ツールを終了します。

3. パソコンを使用して、プリンターの SSID を選択します。パソコンとプリンターが無線 LAN 接続で接続されていることを確認します。

パソコンにプリンターを追加する必要があります。画面の指示に従って、プリンターを追加します。



- お買い上げ時の SSID とパスワードは次のとおりです。
 - SSID : "DIRECT-*****_TD-4550DNWB"。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。
 - パスワード : 455*****。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。
- プリンター設定ツールの通信設定メニューでも、ネットワーク設定の変更を複数のプリンターに適用することができます。
- Wireless Direct を使用している間は、Wi-Fi 経由でパソコンからインターネットに接続することができません。

プリンターが正しく接続されると、 が  に変わります。

WPS (Wi-Fi Protected Setup™)

無線 LAN アクセスポイントルーターが WPS に対応している場合は、無線の設定と接続を簡単に行うことができます。

1. 無線 LAN アクセスポイントルーターに WPS のマークがあることを確認します。



2. 無線 LAN アクセスポイントルーターの接続範囲にプリンターを置きます。
接続範囲は、環境によって異なる場合があります。お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書をご覧ください。
3. **Menu** を押します。
4. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - b. [WPS ボタンプッシュ] を選択します。OK を押します。



[WPS PIN コード] を選択し、PIN コードを使用して設定を行うこともできます。詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書をご覧ください。

5. ▲または▼を押して、[実行] を選択します。OK を押します。
6. お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターの WPS ボタンを押します。
接続が確立されると、プリンターの画面に WLAN アイコンが表示されます。



- 同じネットワーク上にあるパソコンからプリンターにアクセスできるようになります。
- プリンターは WPS を使用して 2 分間接続を試みます。その間に OK を押すと、接続をさらに 2 分間試みます。



関連情報

- プリンターをパソコンに接続する

有線 LAN を使用してプリンターをパソコンに接続する

固定 IP アドレスを使ってプリンターを有線 LAN 接続で接続するには、プリンタードライバーとプリンター設定ツールをインストールしてから、有線 LAN の接続を設定します。

ネットワークケーブル

10BASE-T または 100BASE-TX の高速イーサネットネットワークには、カテゴリ 5（またはそれ以上）のストレートタイプのツイストペアケーブルを使用してください。

重要

本製品を、過電圧が加わる恐れのある LAN ネットワークに接続しないでください。

1. インストール中に画面に指示が表示されたら、LAN ケーブルを接続する前に、プリンターの電源がオフになっていることを確認してください。
2. LAN ケーブルをプリンター背面の LAN ポートに接続します。
3. プリンターの電源をオンにします。

✓ 関連情報

- [プリンターをパソコンに接続する](#)

Bluetooth 接続を使用してプリンターをパソコンに接続する

1. **Menu** を押します。
2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [Bluetooth] を選択します。OK を押します。
 - b. [Bluetooth (On/Off)] を選択します。OK を押します。
3. ▲または▼を押して、[オン] を選択します。OK を押します。
画面に  が表示されます。
4. 画面の指示に従ってインストールを行います。
5. 検索結果が表示されたら、プリンターを選択します。
プリンターが正しく接続されると、 が  に変わります。

✓ 関連情報

- [プリンターをパソコンに接続する](#)

パソコンを使用してラベルを作成、印刷する

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)
- P-touch Editor を使用してラベルを印刷する (Windows)
- ソフトウェアやドライバーをインストールせずにラベルを作成、印刷する
- ラベルを複数のプリンターで分散印刷して印刷時間を短縮する (Windows)
- クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する (Windows)
- プリンタードライバーを使用してラベルを印刷する (Windows)
- カットオプションを変更する

P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

プリンターをパソコンと共に使用するには、P-touch Editor とプリンタードライバーをインストールします。最新のドライバーとソフトウェアについては、サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

1. P-touch Editor  を起動します。

• **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**

アプリ画面上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**

スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをダブルクリックします。

P-touch Editor が起動します。

2. 以下のいずれかを行います。

- 既存のレイアウトを開くには、**開く (1)** をクリックします。
- プリセットレイアウトをデータベースに接続するには、**データベースを接続する (2)** の隣のチェックボックスを選択します。
- 新しいレイアウトを作成するには、**新しいレイアウト枠内 (3)** をダブルクリックするか、**新しいレイアウト枠内 (3)** をクリックしてから**→**をクリックします。
- プリセットレイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、**カテゴリボタン (4)** をダブルクリックするか、**カテゴリボタン (4)** を選択して**→**をクリックします。



起動時の P-touch Editor の動作を変更するには、P-touch Editor のメニューバーで**ツール > オプション**をクリックして、**オプション**ダイアログボックスを表示します。左側で、**全般**項目を選択してから、**起動時の設定**下の**動作**リストボックスで希望の設定を選択します。

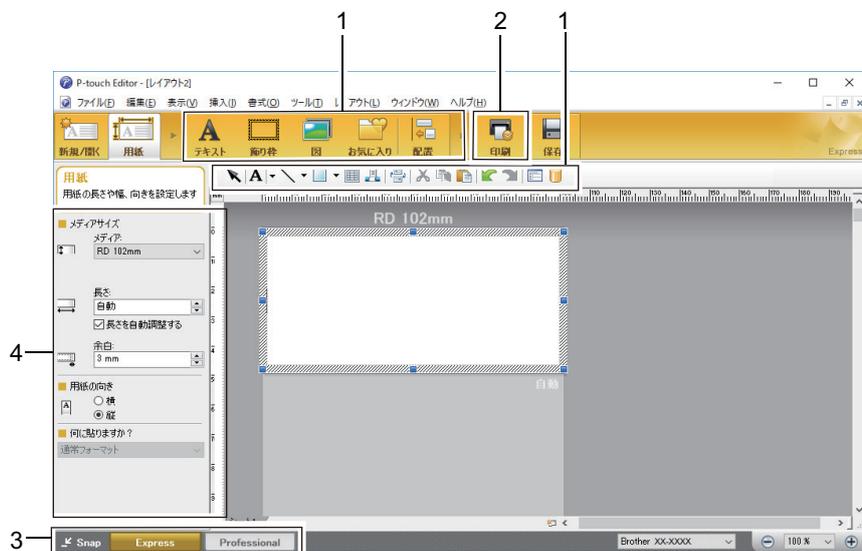
✓ 関連情報

- [パソコンを使用してラベルを作成、印刷する](#)
 - [P-touch Editor Express モードのメイン画面 \(Windows\)](#)
 - [P-touch Editor Professional モードのメイン画面 \(Windows\)](#)
 - [P-touch Editor Snap モードのメイン画面 \(Windows\)](#)

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成、印刷する > P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows) > P-touch Editor Express モードのメイン画面 (Windows)

P-touch Editor Express モードのメイン画面 (Windows)

Express モードでは、文字や画像を含むレイアウトをすばやく作成できます。



1. 編集ツールバー
2. 印刷ボタン
3. モード切替ボタン
4. プロパティパレット

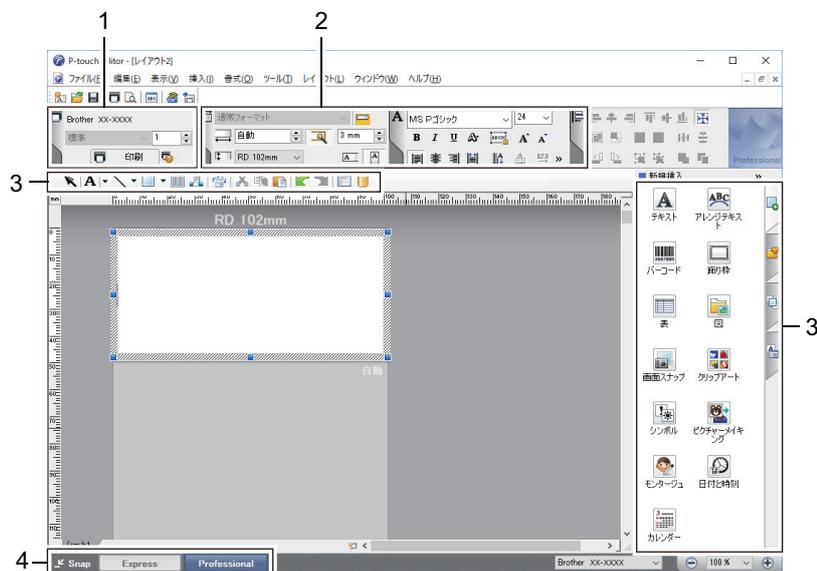
✓ 関連情報

- [P-touch Editor を使用してラベルを作成する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成、印刷する > P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows) > P-touch Editor Professional モードのメイン画面 (Windows)

P-touch Editor Professional モードのメイン画面 (Windows)

Professional モードでは、各種の高度なツールやオプションを使用してレイアウトを作成できます。



1. 印刷メニュー
2. プロパティパレット
3. 編集ツールバー
4. モード切替ボタン

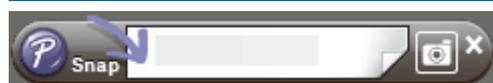
✓ 関連情報

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

▲ ホーム > パソコンを使用してラベルを作成、印刷する > P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows) > P-touch Editor Snap モードのメイン画面 (Windows)

P-touch Editor Snap モードのメイン画面 (Windows)

Snap モードでは、パソコン画面のすべてまたは一部を取り込み、それを画像として印刷できます。



✓ 関連情報

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

P-touch Editor を使用してラベルを印刷する (Windows)

- >> Express モード
- >> Professional モード
- >> Snap モード

Express モード

印刷前に印刷画面で設定を行ってください。

- メニューバーの**ファイル** > **印刷**をクリックするか、 (印刷) をクリックします。

Professional モード

印刷前に印刷画面で設定を行ってください。

- メニューバーの**ファイル** > **印刷**をクリックするか、 をクリックします。



設定を変更せずに印刷を開始するには、 をクリックします。

Snap モード

- テキストを入力して、 をクリックします。

✓ 関連情報

- [パソコンを使用してラベルを作成、印刷する](#)

▲ホーム > パソコンを使用してラベルを作成、印刷する > ソフトウェアやドライバーをインストールせずにラベルを作成、印刷する

ソフトウェアやドライバーをインストールせずにラベルを作成、印刷する

- USB インターフェイスを使用して印刷する（マスマストレージモード）
- プリンタードライバーを使用せずに画像データを印刷する

USB インターフェイスを使用して印刷する（マストレージモード）

マストレージ機能を使用すると、プリンタードライバーをインストールすることなく、USB インターフェイスを使用してプリンターにファイルを送信できます。

この機能は、次の場合に便利です。

- ソフトウェアツールを使用せずに、コマンドファイル（BIN ファイル形式）に保存された印刷設定をプリンターに適用したり、テンプレート（BLF ファイル形式）を追加する場合。どちらのファイルの種類も管理者が配布する必要があります。
- プリンタードライバーをインストールせずにコマンドを実行する場合。
- データの印刷および送信をする USB ホスト機能を備えたオペレーティングシステム（Windows 以外のオペレーティングシステムを含む）を搭載した機器を使用する場合。

1. プリンターの電源が入っていないことを確認します。
2. 電源 LED が緑色に点灯して「マストレージモードです。」が画面に表示されるまで、**OK** と  を同時に長押しします。
3. USB でパソコンまたは携帯端末をプリンターに接続します。
プリンターのマストレージ領域が、パソコンまたは機器の画面上にフォルダーとして表示されます。



マストレージ領域が自動的に表示されない場合は、パソコンまたは携帯端末のオペレーティングシステムの説明書でマストレージ領域にアクセスする方法を参照してください。

4. コピーするファイルをマストレージ領域にドラッグアンドドロップします。
5. **OK** を押します。
コマンドファイルのコマンドが実行され、ステータス LED が緑色で 1 回点滅します。完了すると、電源 LED が緑色に点灯します。
6. マストレージモードをオフにするには、プリンターの電源を切ります。

お願い

- プリンターがオフになると、マストレージモードが無効になり、マストレージ領域内のファイルはすべて削除されます。
- この機能は BIN 形式と BLF 形式のファイルのみサポートしています。
- マストレージ領域にフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成しても、フォルダー内のファイルにアクセスすることはできません。
- マストレージ領域の容量は 16MB です。
- 複数のファイルをコピーした場合、コマンドが実行されないことがあります。
- プリンターがマストレージモードになっている間は、USB 接続しか利用できません。
- コピーしたファイルを実行しているときは、マストレージ領域の他のファイルにアクセスしないでください。



関連情報

- [ソフトウェアやドライバーをインストールせずにラベルを作成、印刷する](#)

プリンタードライバーを使用せずに画像データを印刷する



- マスストレージ機能を使用して、JPEG 画像を印刷することができます。
- Bluetooth 接続による印刷には、Object Push Profile (OPP)が使用されます。
- 本製品では、ディザリング処理によって、カラー JPEG 画像をモノクロ画像に変換します。
- モノクロ JPEG 画像を送信すると、ディザリング処理によって画像がぼやけて生成される場合があります。
- 画像品質を高めるには、JPEG 画像の前処理をすべてオフにしてみてください。

- JPEG 画像のみ印刷できます。(.jpg 拡張子が付いているファイルに限定されます。)
- ファイルの最大サイズは 16MB です。
(マスストレージ機能が使用されている場合は 2MB)。
- 最大解像度は次のとおりです。
 - 高さ × 幅 = 36000 × 1280 ドットこれらの制限を超過した場合、プリンターが受信したデータは破棄され、印刷されません。
- 印刷は 1 ピクセル = 1 ドットで行われます。
- 本製品は、画像を印刷するために、バイナリー処理（単純バイナリー）を行います。
- 画像は、受信したデータの高さと幅の比率で印刷されます。



関連情報

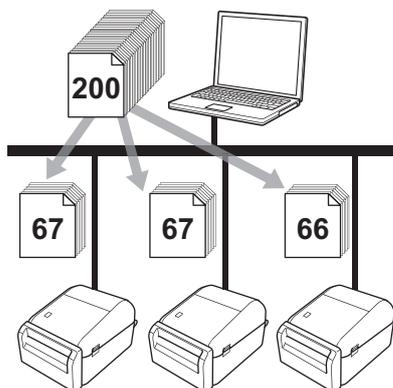
- [ソフトウェアやドライバーをインストールせずにラベルを作成、印刷する](#)

ラベルを複数のプリンターで分散印刷して印刷時間を短縮する (Windows)

多数のラベルを印刷する場合、USB またはネットワーク接続を經由して複数のプリンター間で分散印刷して、印刷時間を短縮できます。



- 分散印刷機能は、同じ機種名のプリンターでのみ使用できます。
- ページ数は、選択したプリンター間で分割されます。指定したページ数をプリンター間で均等に分割できない場合、表示されているプリンターの順に割り当てられます。



- USB ハブまたはプリントサーバーを使用して接続されているプリンターの情報を検出できないことがあります。印刷する前に、手動で設定を入力し、プリンターで印刷できるかどうかを確認してください。
- ルーターが使用されているかどうか、およびファイアウォールなどのセキュリティ機能が使用されているかどうかによって、この機能を使用できないことがあります。
- お使いの環境で接続テストを実行することをお勧めします。IT 管理者のサポートを受けてください。

1. P-touch Editor で、**ファイル > 印刷**をクリックします。
2. **プロパティ**をクリックします。
3. **拡張設定**タブをクリックし、**分散印刷を適用する**チェックボックスを選択して、**設定**をクリックします。



複数のプリンターが接続されている場合は、そのポート名を使用して、必要なプリンターを見つけることができます。ポート名の BRNxxxxxxxxxxxx の xxxxxxxxxxxx の部分は、プリンターの MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。MAC アドレス/イーサネットアドレスは、プリンターのセットアップ情報を印刷することで確認できます。

5. 選択したプリンター（複数可）を右クリックして、**設定**をクリックします。**用紙サイズ**ドロップダウンリストから、ラベルサイズを選択します。
複数のプリンターを選択している場合は、選択したすべてのプリンターに同じラベルサイズ設定が適用されます。
6. **OK** をクリックしてラベルサイズ設定ダイアログボックスを閉じます。
7. **OK** をクリックして**分散印刷設定**ダイアログボックスを閉じます。
設定が完了しました。
8. **OK** をクリックして**プロパティ**ダイアログボックスを閉じます。
9. 印刷を開始します。



関連情報

- [パソコンを使用してラベルを作成、印刷する](#)

クロップ印刷で認識できるバーコード (Windows)

バーコードの仕様

特質	仕様
縦幅	5mm (最小)
横幅	一番細いバー : 0.5mm (最小)
余白	一番細いバーの 10 倍 (最小)
色	黒
下地色	白
セルの幅 (最も太いバー)	0.5mm (最小)

- Code 39/Code 3 of 9
- ITF/ITF-14/Interleaved 2 of 5
- GS1-128 (UCC/EAN-128)
- Codabar (Code 2 of 7、NW-7)
- CODE 93
- CODE 128
- UPC-A
- UPC-E
- JAN-8/EAN-8
- JAN-13/EAN-13
- QR コード¹
- Datamatrix/GS1 Datamatrix¹
- PDF417¹
- MaxiCode¹

✓ 関連情報

- [クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する \(Windows\)](#)

¹ 発送ラベルで利用可能

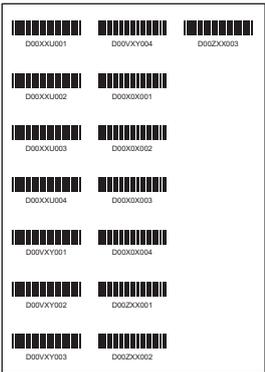
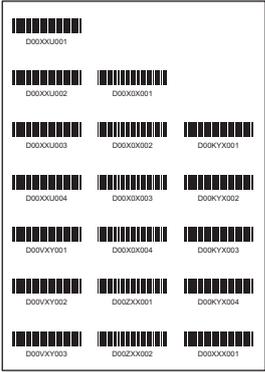
クロップ印刷に対応したバーコード文書 (Windows)

クロップ印刷機能を使用するには、バーコード文書を作成し、PDF ファイルとして保存します。最終的なバーコードの PDF ファイルが次の要件を満たすようにしてください。

商品ラベルのバーコードの条件

項目	状態
バーコード数の合計	1~99 個
バーコードの種類	クロップ印刷機能に対応したバーコードのみを使用してください。
バーコードの配置	バーコードが傾いていないことを確認してください。各ページの上辺および下辺と平行になっている必要があります。 バーコードは必ず、左上隅から始めて、その列に上から順番に配置し、次に右隣の列の最上部から同じ要領で配置してください。

商品ラベルのバーコードのレイアウト

正しいバーコードのレイアウト	不適当なバーコードのレイアウト
	<p>特定できません (上端が揃っていない)</p> 

発送ラベルのバーコードの条件

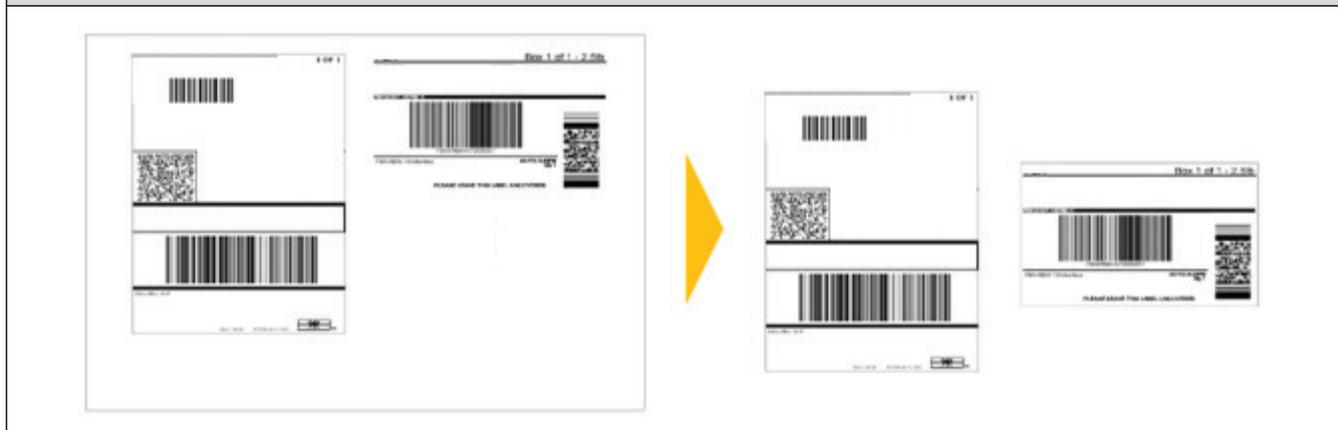
項目	状態
バーコード数の合計	1~9 個
バーコードの種類	クロップ印刷機能に対応したバーコードのみを使用してください。
バーコードの配置	バーコードはまっすぐに配置してください。

発送ラベルのバーコードのレイアウト

クロップ処理は、以下のいずれかの条件を満たす場合に実行されます。

- ラベルが罫線で囲まれている。
- ラベル幅全体にわたる横線を含んでいる。
- ラベルの高さ全体にわたる縦線を含んでいる。

正しいバーコードのレイアウト



✓ 関連情報

- クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する (Windows)

▲ホーム > パソコンを使用してラベルを作成、印刷する > クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する (Windows) > クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する (Windows)

クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する (Windows)

プリンターが、USB ケーブルまたはネットワーク接続でパソコンまたは携帯端末に接続されていることを確認してください。

1. 印刷するバーコード原稿の PDF ファイルを開きます。
2. **ファイル > 印刷**をクリックします。
3. **プリンター**のドロップダウンリストをクリックして、プリンターを選択します。
4. **ページサイズ処理**セクションで、**実際のサイズ**ラジオボタンを選択します。
5. **向き**で、**縦**ラジオボタンを選択します。
6. **プロパティ**をクリックします。
7. **基本設定**タブをクリックし、以下のいずれかを行います。
 - プレカット紙ラベルを使用する場合は、**指定枚数ごとにカット**のチェックボックスのチェックを外します。
 - 無定長ラベルを使用する場合は、**指定枚数ごとにカット**チェックボックスを選択します。



8. **クロップ印刷**タブをクリックし、**ドキュメントに含まれるバーコードを印刷する**チェックボックスを選択します。



9. 商品ラベルの場合は**商品ラベルを印刷する**を選択し、発送ラベルの場合は**発送ラベルを印刷する**を選択します。
10. **用紙サイズ**ドロップダウンリストからラベルまたは用紙サイズを選択します。
発送ラベルを印刷するオプションを選択すると、102mm 以上の幅の用紙のみが表示されます。



クロップデータの元のサイズに合うように、最も近いラベルサイズを選択します。大量のラベルを印刷する前に、試し印刷することをお勧めします。

11. **OK** をクリックします。

12. アプリケーションの印刷画面から印刷を実行します。



- バーコード原稿のサイズを拡大または縮小しないでください。バーコードが正常に認識されないことがあります。
- Acrobat Reader から印刷する場合は、以下のように設定します。
 - ページサイズ処理セクションで、**PDF のページサイズに合わせて用紙を選択**チェックボックスのチェックを外します。
 - 向きで、**縦**ラジオボタンを選択します。



関連情報

- [クロップ印刷を使用してバーコードラベルを印刷する \(Windows\)](#)

プリンタードライバーを使用してラベルを印刷する (Windows)

1. プリンターをパソコンに接続します。
2. 印刷する文書を開きます。
3. アプリケーション上で印刷コマンドを選択します。
4. プリンターを選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
5. 必要に応じて印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。
印刷が開始されます。印刷が完了すると、プリンターは印刷を開始する前に選択されていたモードに戻ります。

✓ 関連情報

- [パソコンを使用してラベルを作成、印刷する](#)

プリンターの画面を使用してラベルを印刷する

- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)
- P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)
- パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)
- 転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する

P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

プリンターをパソコンと共に使用するには、P-touch Editor とプリンタードライバーをインストールします。最新のドライバーとソフトウェアについては、サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

1. P-touch Editor  を起動します。

• **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**

アプリ画面上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**

スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の **P-touch Editor 5.2** アイコンをダブルクリックします。

P-touch Editor が起動します。

2. 以下のいずれかを行います。

- 既存のレイアウトを開くには、**開く (1)** をクリックします。
- プリセットレイアウトをデータベースに接続するには、**データベースを接続する (2)** の隣のチェックボックスを選択します。
- 新しいレイアウトを作成するには、**新しいレイアウト枠内 (3)** をダブルクリックするか、**新しいレイアウト枠内 (3)** をクリックしてから**→**をクリックします。
- プリセットレイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、**カテゴリボタン (4)** をダブルクリックするか、**カテゴリボタン (4)** を選択して**→**をクリックします。



起動時の P-touch Editor の動作を変更するには、P-touch Editor のメニューバーで**ツール > オプション**をクリックして、**オプション**ダイアログボックスを表示します。左側で、**全般**項目を選択してから、**起動時の設定**下の**動作**リストボックスで希望の設定を選択します。

✓ 関連情報

- プリンターの画面を使用してラベルを印刷する

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

1. P-touch Editor  を起動します。

• **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**

アプリ画面上の P-touch Editor 5.2 アイコンをクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**

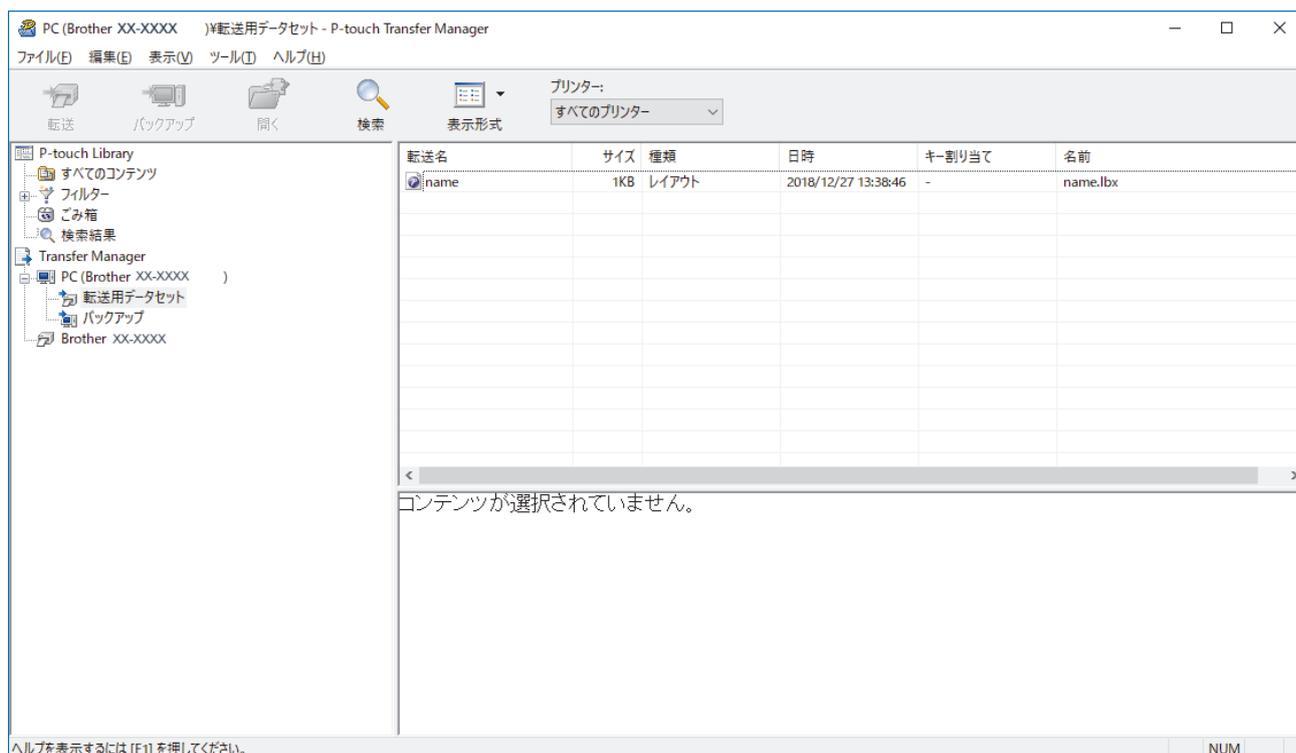
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

P-touch Editor が起動します。

2. テンプレートを開くか、ラベルのレイアウトを作成します。

3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送** をクリックします。

P-touch Transfer Manager の画面が表示されます。テンプレートが**転送用データセット**フォルダーに転送されます。



✓ 関連情報

- プリンターの画面を使用してラベルを印刷する

▲ホーム > プリンターの画面を使用してラベルを印刷する > パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

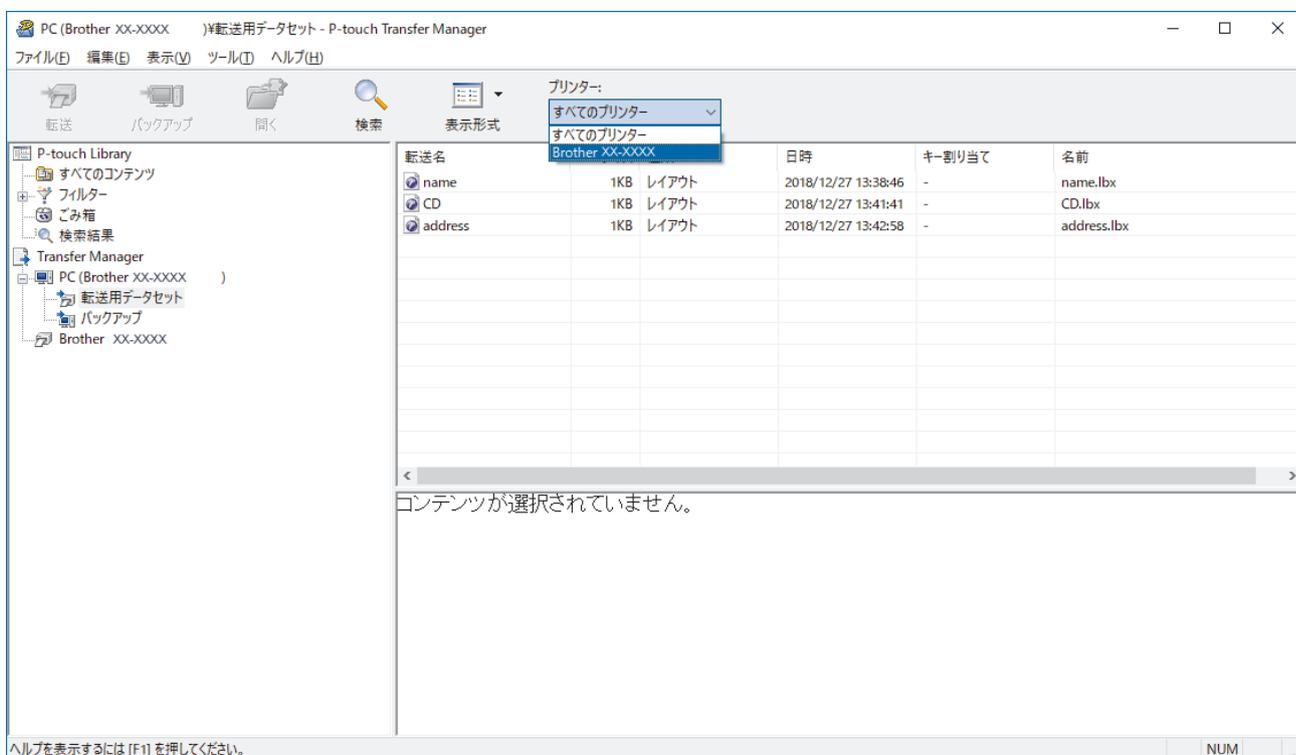
パソコンからプリンターにテンプレート、データベース、画像を転送できます。

 携帯端末からプリンターにテンプレートを転送する方法については、「関連情報」をご覧ください。

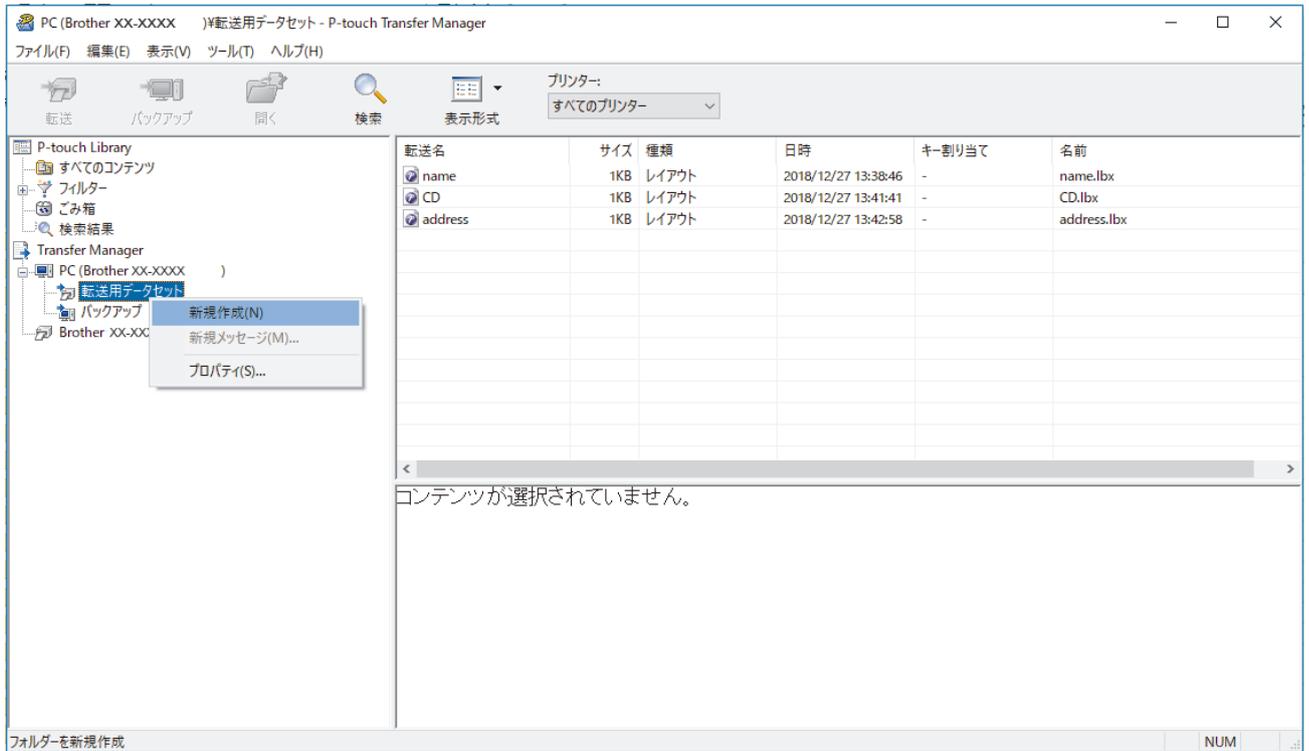
1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

 プリンターが接続されていないか、オフラインの場合、フォルダー表示にそれらのデータは表示されません。

2. テンプレートやその他のデータを転送するプリンターを選択します。

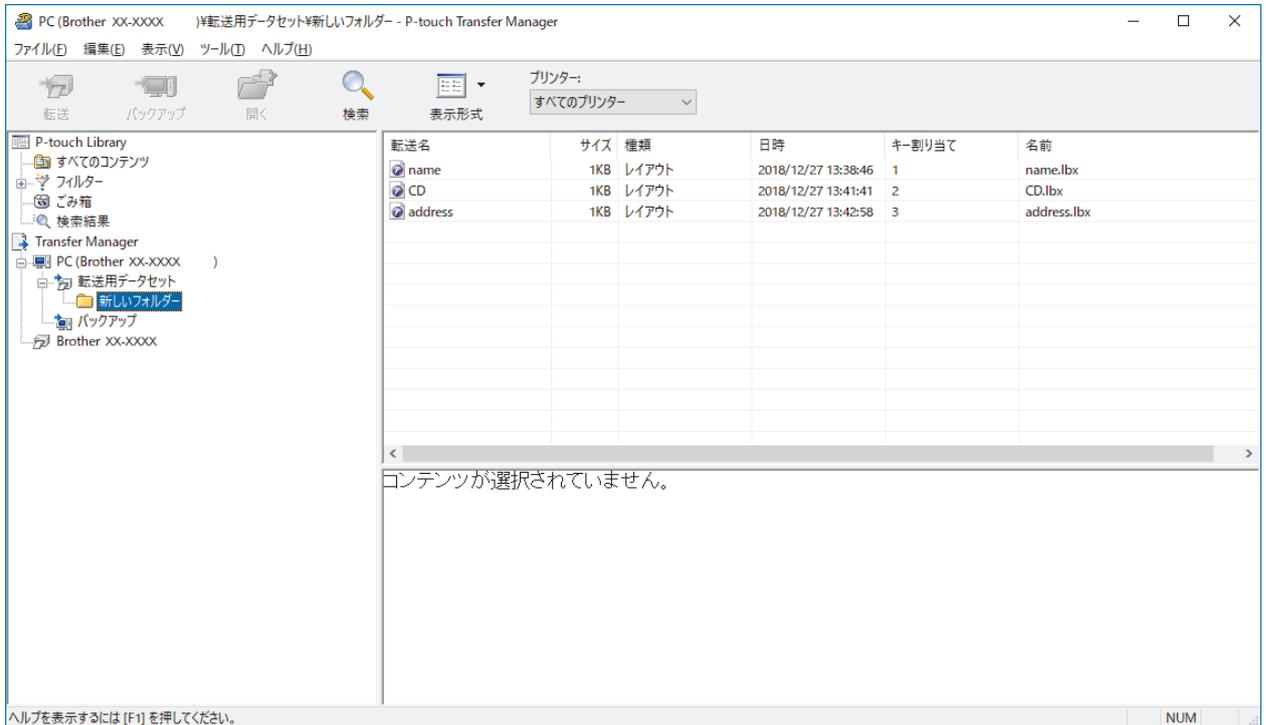


3. 転送用データセットフォルダーを右クリックし、新規作成を選択して、新しいフォルダーを作成します。



4. 以下のいずれかを行います。

- 転送するテンプレートやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。
- 複数のテンプレートやその他のデータを転送するには、転送するファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにキー番号（プリンター内のメモリー位置）が割り当てられます。

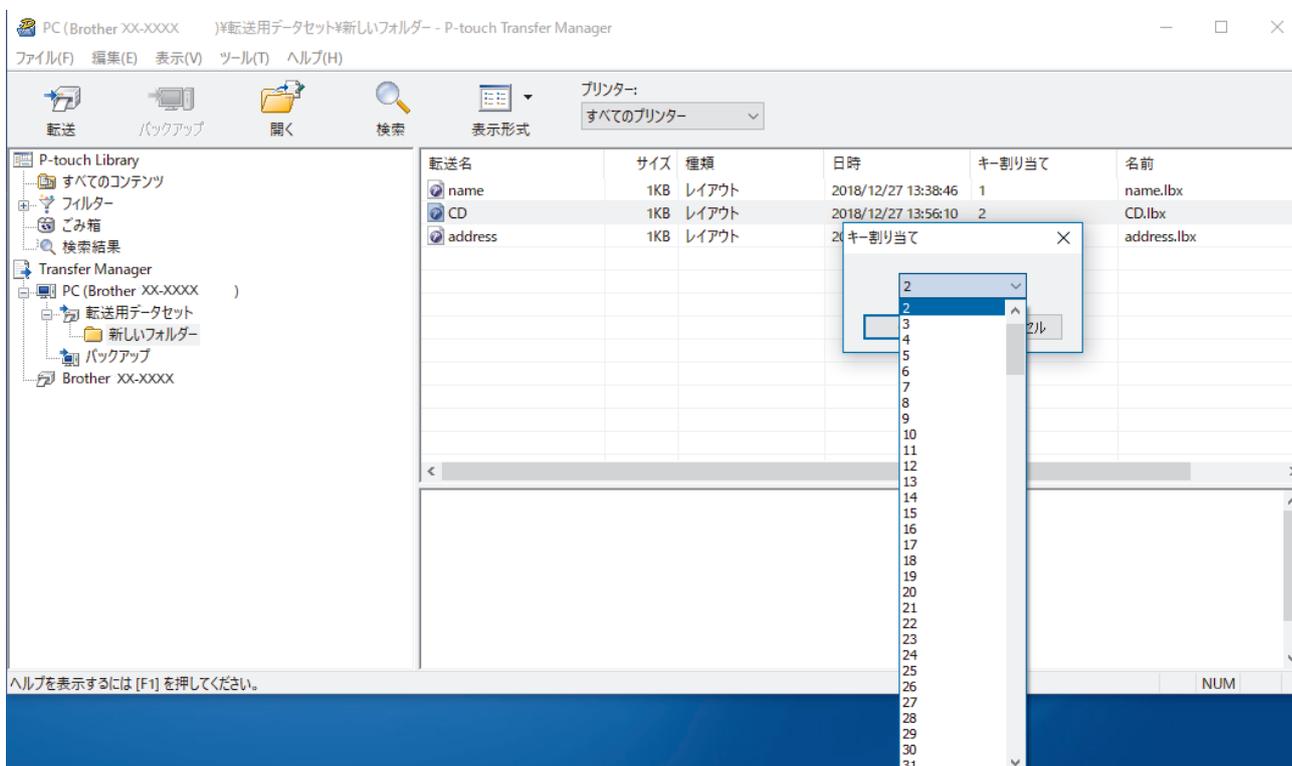


データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
テンプレート	255	各テンプレートには、最大で 255 個のオブジェクトを含めることができます。
データベース	255	<ul style="list-style-type: none"> • CSV ファイルのみを転送できます。 • 各 CSV ファイルには、最大で 65,000 件の値を含めることができます。

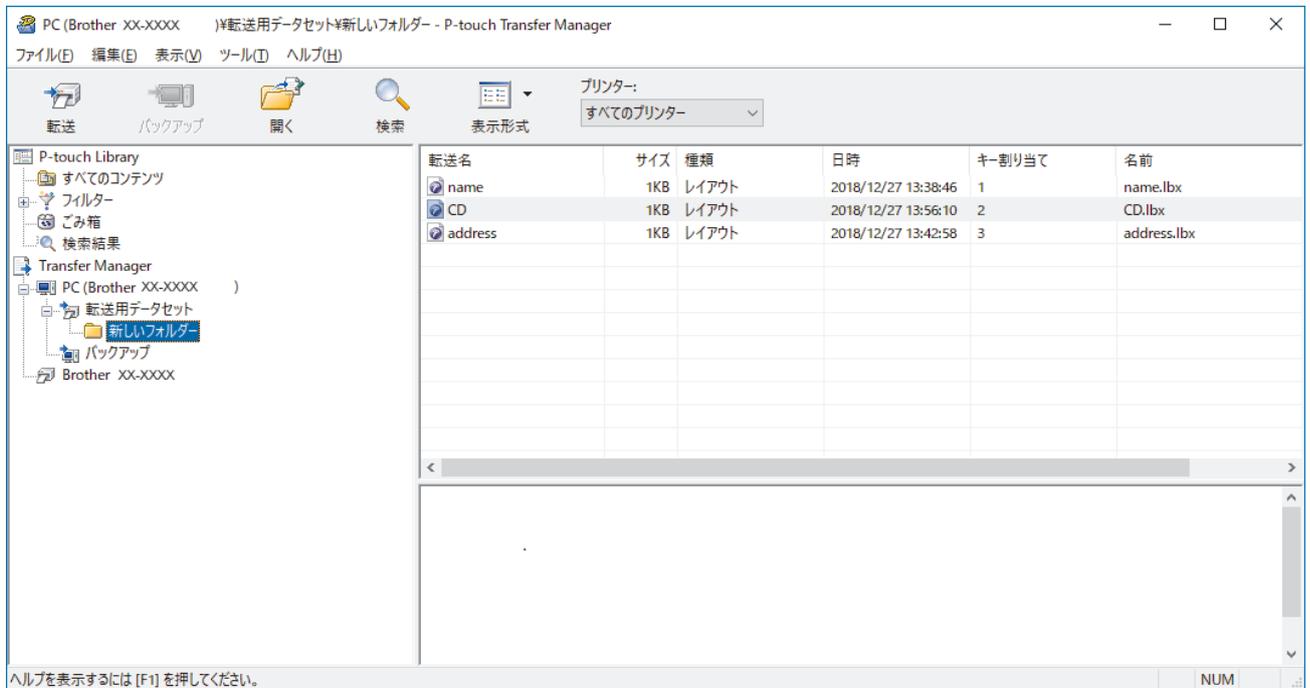
データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
画像（ユーザー定義文字）	255	<ul style="list-style-type: none"> BMP ファイルのみを転送できます。 モノクロの BMP ファイルを使用することをお勧めします。 サイズ制限は 2560 x 2560 ピクセルです。 幅広の画像は端が切り取られる可能性があります。

- 
 プリンター設定レポートを印刷して、転送ファイルメモリー内の空き容量を確認できます。空き容量については、レポートの **Available memory (使用可能なメモリ)** を参照してください。 **Available memory: ****B (使用可能なメモリ)** に表示される空き容量は、実際に使用可能な容量と異なる場合があります。
- 以下の項目を選択すると、テンプレートとその他のデータを表示することができます。
 - 転送用データセットフォルダー内のフォルダー
 - すべてのコンテンツ
 - フィルターの下のいずれかのカテゴリー（レイアウトなど）

5. 項目に割り当てられたキー番号を変更するには、項目を右クリックし、**キー割り当て**メニューを選択して、希望のキー番号を選択します。



- 
 データベース内のデータを除いて、プリンターに転送されるすべてのデータにキー番号が割り当てられます。
 - プリンターに転送されるテンプレートまたはその他のデータに、プリンターにすでに保存されている別のテンプレートと同じキー番号が割り当てられると、新しいテンプレートで古いテンプレートを上書きします。テンプレートやその他のデータをバックアップすることで、プリンターに保存されている割り当て済みのテンプレートのキー番号を確認できます。
 - プリンターのメモリーがいっぱいになった場合は、プリンターのメモリーから1つまたは複数のテンプレートを削除してください。
6. 転送するテンプレートやその他のデータの名前を変更するには、変更したい項目をクリックして、新しい名前を入力します。
- 機種によっては、テンプレート名に使用する文字数が制限されている場合があります。
7. 転送するテンプレートまたはその他のデータが含まれているフォルダーを選択し、**転送**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。



- 項目をフォルダーに追加せずに、個々の項目をプリンターに転送することもできます。転送するテンプレートまたはその他のデータを選択し、**転送**をクリックします。
- 1回の操作で複数の項目とフォルダーを選択して転送できます。

8. **OK** をクリックします。

選択した項目がプリンターに転送されます。

✓ 関連情報

- プリンターの画面を使用してラベルを印刷する

関連トピック：

- パソコンで作成したテンプレートを携帯端末を使用してプリンターに転送する

転送したテンプレートをプリンターの画面に呼び出して印刷する

転送またはあらかじめ設定されたテンプレートは、パソコンや携帯端末に接続せずに、プリンターの画面メニューを使用して印刷できます。

- >> データベースにリンクされていないテンプレートを印刷する
- >> データベースにリンクされているテンプレートを印刷する

データベースにリンクされていないテンプレートを印刷する

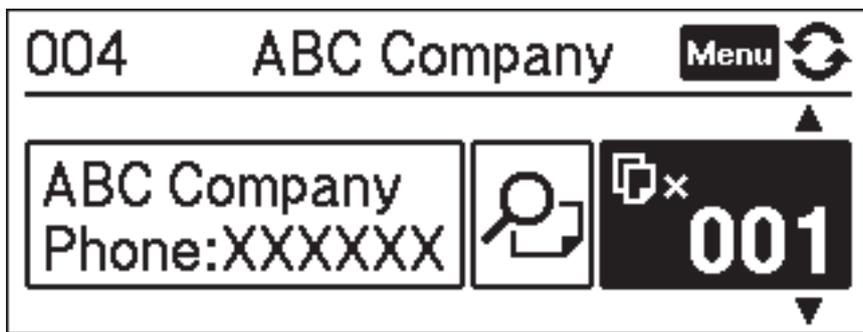
1. 以下のように、画面がテンプレートモードになっていることを確認します。



そうでない場合は、テンプレートモードに設定します。

- a. **Menu** を押します。
 - b. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - i. [テンプレート設定] を選択します。OK を押します。
 - ii. [テンプレートモード] を選択します。OK を押します。
 - c. ▲ または ▼ を押して、[有効] を選択します。OK を押します。
2. ▲ または ▼ を押してテンプレートを選択し、OK を押します。

選択したテンプレートに設定されている枚数のラベルが印刷されます。次回以降印刷するときのためにこの枚数を変更する場合は、[テンプレート設定]に移動し、[印刷前の確認] オプションを[する]に設定します。次回印刷時には、印刷設定画面が表示され、▲と▼を使用してラベルの枚数を変更できます。



- 印刷プレビューを表示するには、印刷設定画面で **Menu** を 2 回押し、**OK** を押します。
- テンプレート内のオブジェクトを表示するには、印刷設定画面で **Menu** を 1 回押し、**OK** を押します。印刷設定画面に戻るには、 または **OK** を押します。

データベースにリンクされているテンプレートを印刷する

1. 以下のように、画面がテンプレートモードになっていることを確認します。



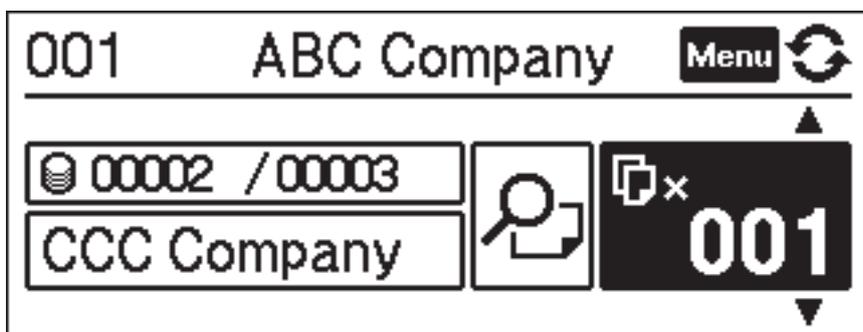
そうでない場合は、テンプレートモードに設定します。

- a. **Menu** を押します。
 - b. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - i. [テンプレート設定] を選択します。**OK** を押します。
 - ii. [テンプレートモード] を選択します。**OK** を押します。
 - c. ▲または▼を押して、[有効] を選択します。**OK** を押します。
2. ▲または▼を押してテンプレートを選択し、**OK** を押します。
 3. ▲または▼を押してデータベースを選択し、**OK** を押します。

テンプレートモード画面が表示されます。

選択したテンプレートに設定されている枚数のラベルが印刷されます。次回以降印刷するときのためにこの枚数を変更する場合は、[テンプレート設定]に移動し、[印刷前の確認]オプションを[する]に設定します。

次回印刷時には、印刷設定画面が表示され、▲と▼を使用してラベルの枚数を変更できます。



- 印刷プレビューを表示するには、印刷設定画面で **Menu** を 2 回押し、**OK** を押します。
 - テンプレート内のオブジェクトを表示するには、印刷設定画面で **Menu** を 1 回押し、**OK** を押します。
- 印刷設定画面に戻るには、 または **OK** を押します。

✓ 関連情報

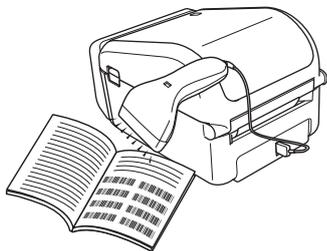
- プリンターの画面を使用してラベルを印刷する

バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

- P-touch Template の操作の概要
- P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)
- P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)
- パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)
- バーコードスキャナー設定を指定する (Windows)
- Bluetooth を使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する (Windows)
- USB ホストインターフェイスを使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する
- バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる

P-touch Template の操作の概要

P-touch Template モードでは、プリンターに接続されたその他の機器を使用して、ダウンロードしたテンプレートからテキストやバーコードオブジェクトにデータを挿入できます。



- P-touch Template モードは、測量機、試験機、コントローラー、プログラマブルロジック機器など、その他の入力機器とも互換性があります。
- 詳細については「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

基本操作

定型テンプレート印刷

頻繁に使用するテンプレートや画像をダウンロードし、バーコードを読み取って印刷するものを選択します。

拡張テンプレート印刷

テンプレートをダウンロードし、バーコードを読み取ってコピーを印刷したり、読み取ったデータを別のテンプレートに挿入します。

データベース検索印刷

テンプレートにリンクされているデータベースをダウンロードしておく、と、バーコードで読み取った値をテンプレートに挿入して印刷します。

「関連情報」をご覧ください。

応用操作

ナンバリング (連番) 印刷

ダウンロードしたテンプレートのテキストまたはバーコードを増やしながら印刷します。

「関連情報」をご覧ください。

✓ 関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

関連トピック :

- 転送したテンプレートを直接印刷する (定型テンプレート印刷)
- 転送したテンプレートを変更後に印刷する (拡張テンプレート印刷)
- データベースに関連付けたテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)
- 転送したテンプレートを連番で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)

P-touch Editor を使用してラベルを作成する (Windows)

プリンターをパソコンと共に使用するには、P-touch Editor とプリンタードライバーをインストールします。最新のドライバーとソフトウェアについては、サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。

1. P-touch Editor  を起動します。

• **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**

アプリ画面上的 P-touch Editor 5.2 アイコンをクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**

スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

P-touch Editor が起動します。

2. 以下のいずれかを行います。

- 既存のレイアウトを開くには、**開く** (1) をクリックします。
- プリセットレイアウトをデータベースに接続するには、**データベースを接続する** (2) の隣のチェックボックスを選択します。
- 新しいレイアウトを作成するには、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をダブルクリックするか、**新しいレイアウト** 枠内 (3) をクリックしてから→をクリックします。
- プリセットレイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、**カテゴリボタン** (4) をダブルクリックするか、**カテゴリボタン** (4) を選択して→をクリックします。



 起動時の P-touch Editor の動作を変更するには、P-touch Editor のメニューバーで**ツール > オプション**をクリックして、**オプション**ダイアログボックスを表示します。左側で、**全般**項目を選択してから、**起動時の設定**下の**動作**リストボックスで希望の設定を選択します。

✓ 関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

1. P-touch Editor  を起動します。

• **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**

アプリ画面上の P-touch Editor 5.2 アイコンをクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

• **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**

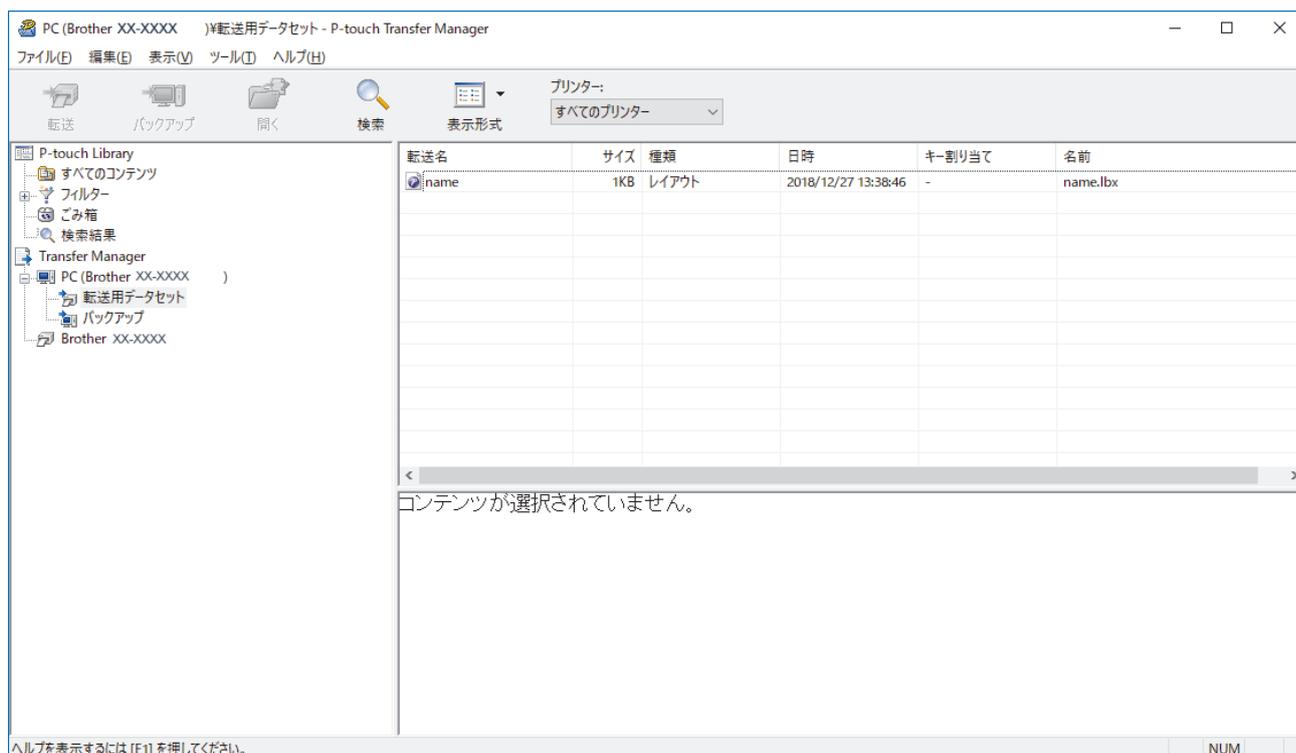
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

P-touch Editor が起動します。

2. テンプレートを開くか、ラベルのレイアウトを作成します。

3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送** をクリックします。

P-touch Transfer Manager の画面が表示されます。テンプレートが**転送用データセット**フォルダーに転送されます。



関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

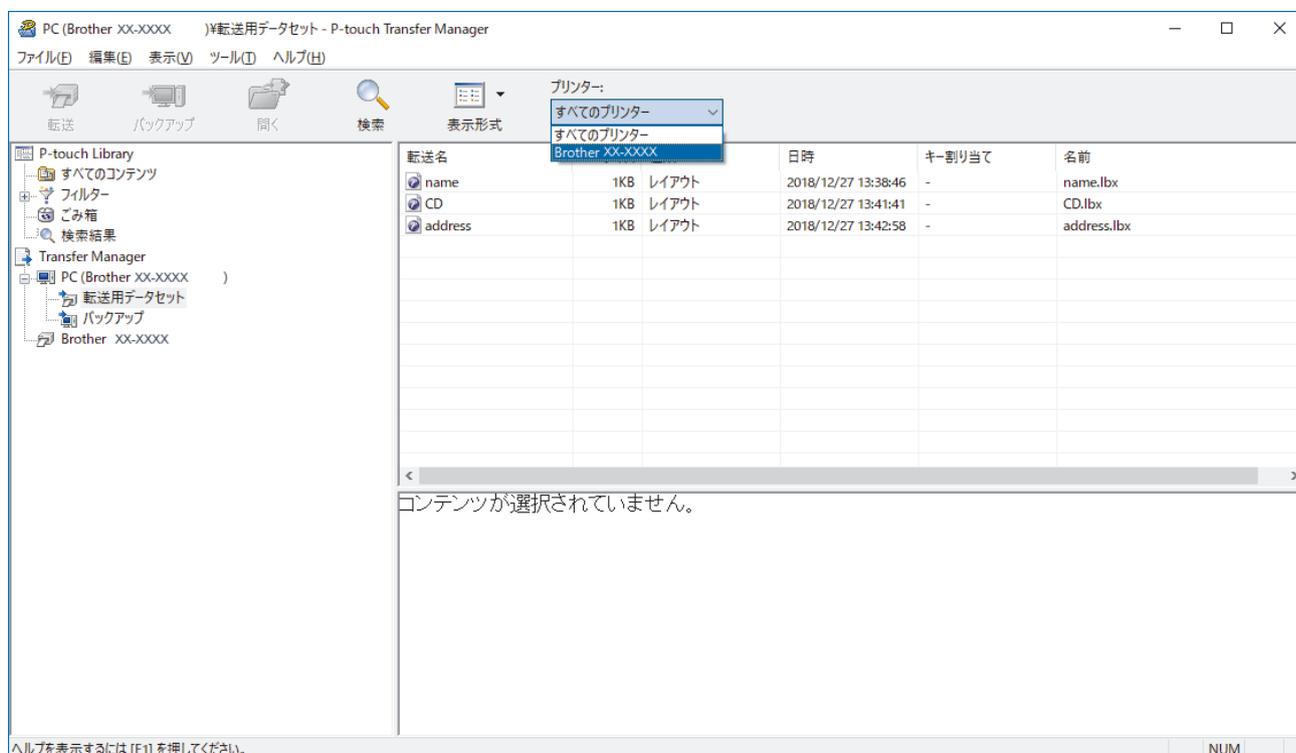
パソコンからプリンターにテンプレート、データベース、画像を転送できます。

 携帯端末からプリンターにテンプレートを転送する方法については、「関連情報」をご覧ください。

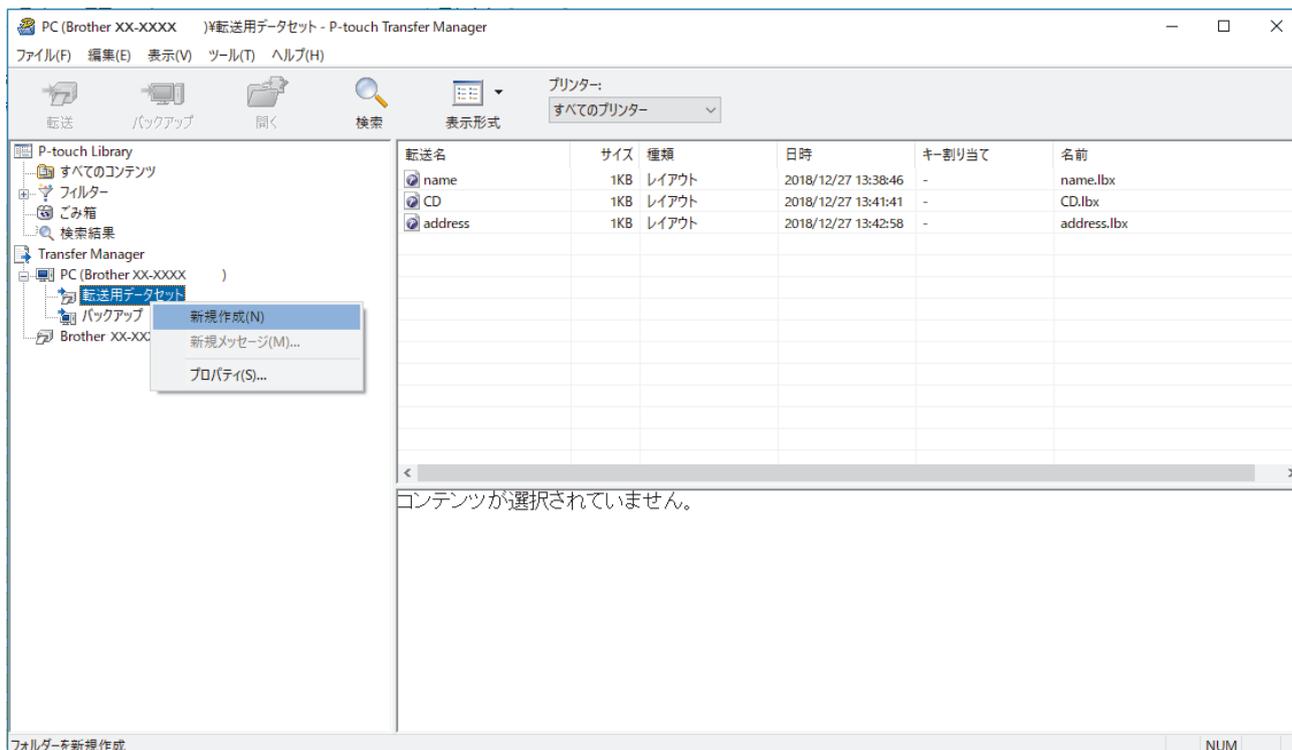
1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

 プリンターが接続されていないか、オフラインの場合、フォルダー表示にそれらのデータは表示されません。

2. テンプレートやその他のデータを転送するプリンターを選択します。

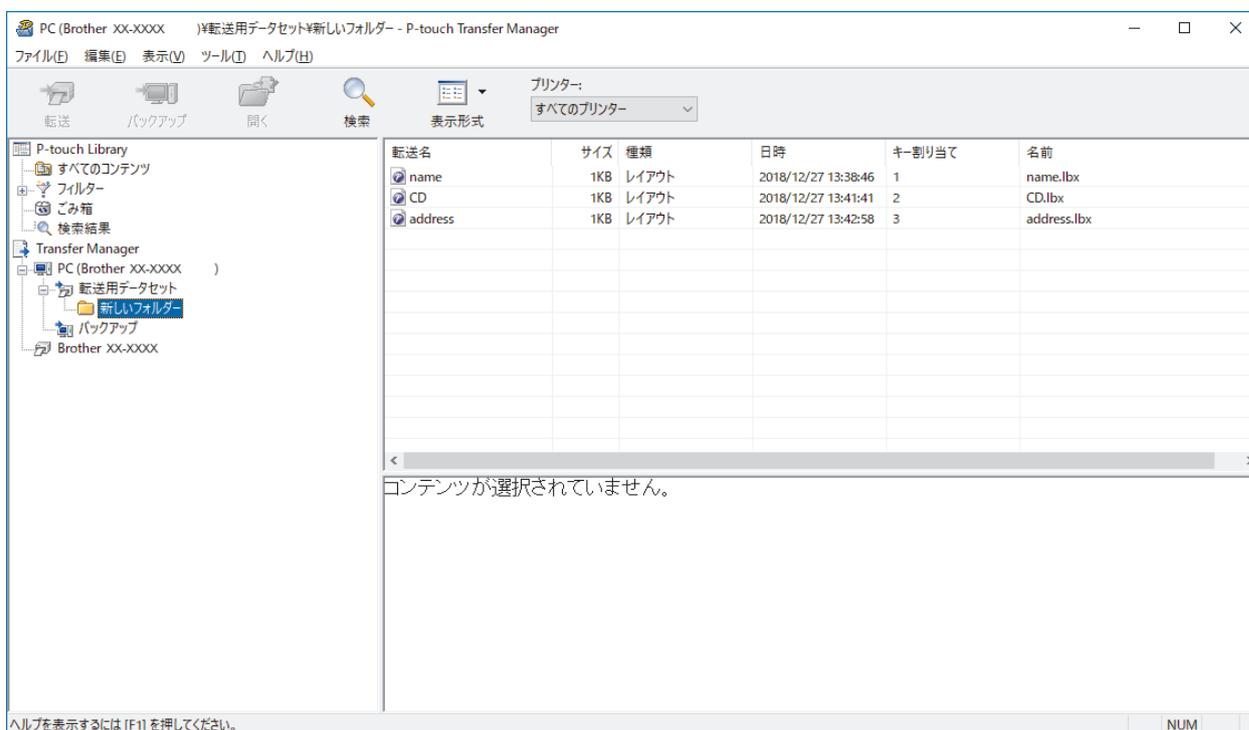


3. 転送用データセットフォルダーを右クリックし、**新規作成**を選択して、新しいフォルダーを作成します。



4. 以下のいずれかを行います。

- 転送するテンプレートやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。
- 複数のテンプレートやその他のデータを転送するには、転送するファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにキー番号（プリンター内のメモリー位置）が割り当てられます。

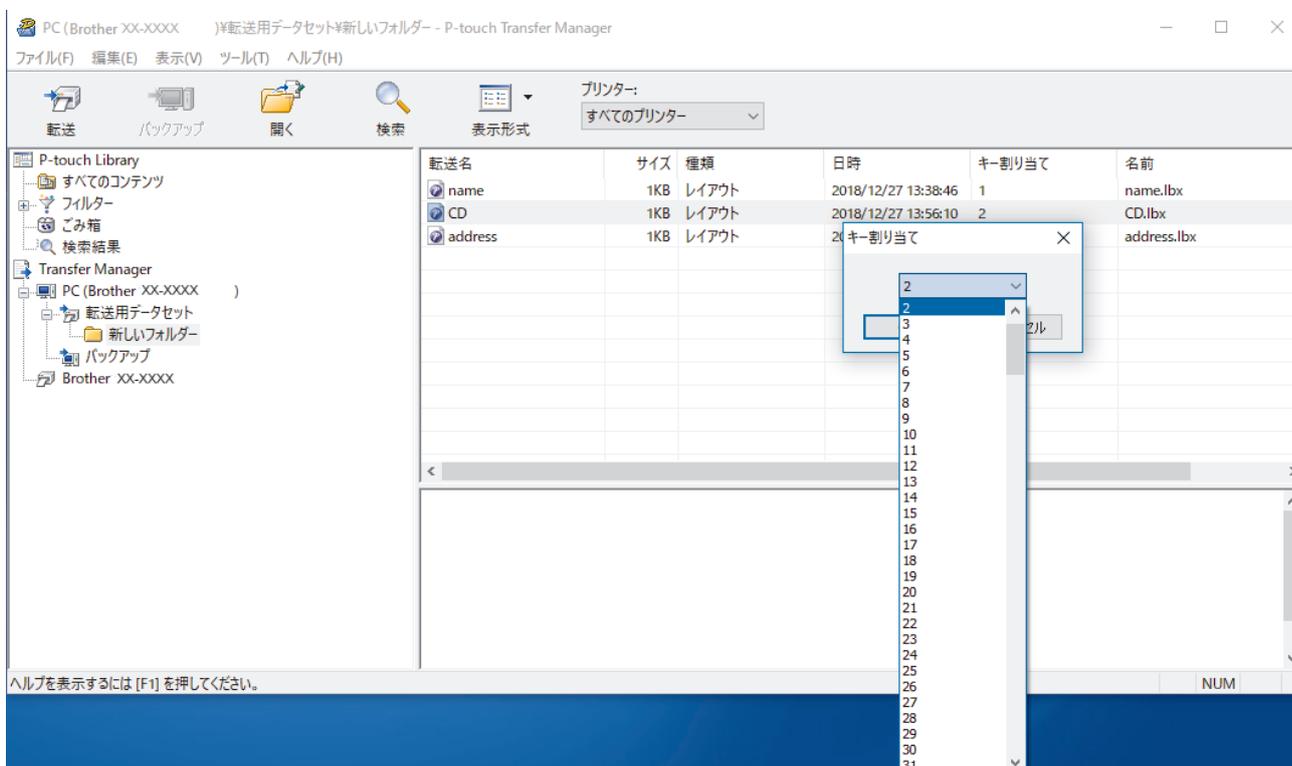


データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
テンプレート	255	各テンプレートには、最大で 255 個のオブジェクトを含めることができます。
データベース	255	<ul style="list-style-type: none"> • CSV ファイルのみを転送できます。 • 各 CSV ファイルには、最大で 65,000 件の値を含めることができます。

データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
画像（ユーザー定義文字）	255	<ul style="list-style-type: none"> BMP ファイルのみを転送できます。 モノクロの BMP ファイルを使用することをお勧めします。 サイズ制限は 2560 x 2560 ピクセルです。 幅広の画像は端が切り取られる可能性があります。

- 
 プリンター設定レポートを印刷して、転送ファイルメモリー内の空き容量を確認できます。空き容量については、レポートの **Available memory (使用可能なメモリ)** を参照してください。 **Available memory: ****B (使用可能なメモリ)** に表示される空き容量は、実際に使用可能な容量と異なる場合があります。
- 以下の項目を選択すると、テンプレートとその他のデータを表示することができます。
 - 転送用データセットフォルダー内のフォルダー
 - すべてのコンテンツ
 - フィルターの下のいずれかのカテゴリー（レイアウトなど）

5. 項目に割り当てられたキー番号を変更するには、項目を右クリックし、**キー割り当て**メニューを選択して、希望のキー番号を選択します。

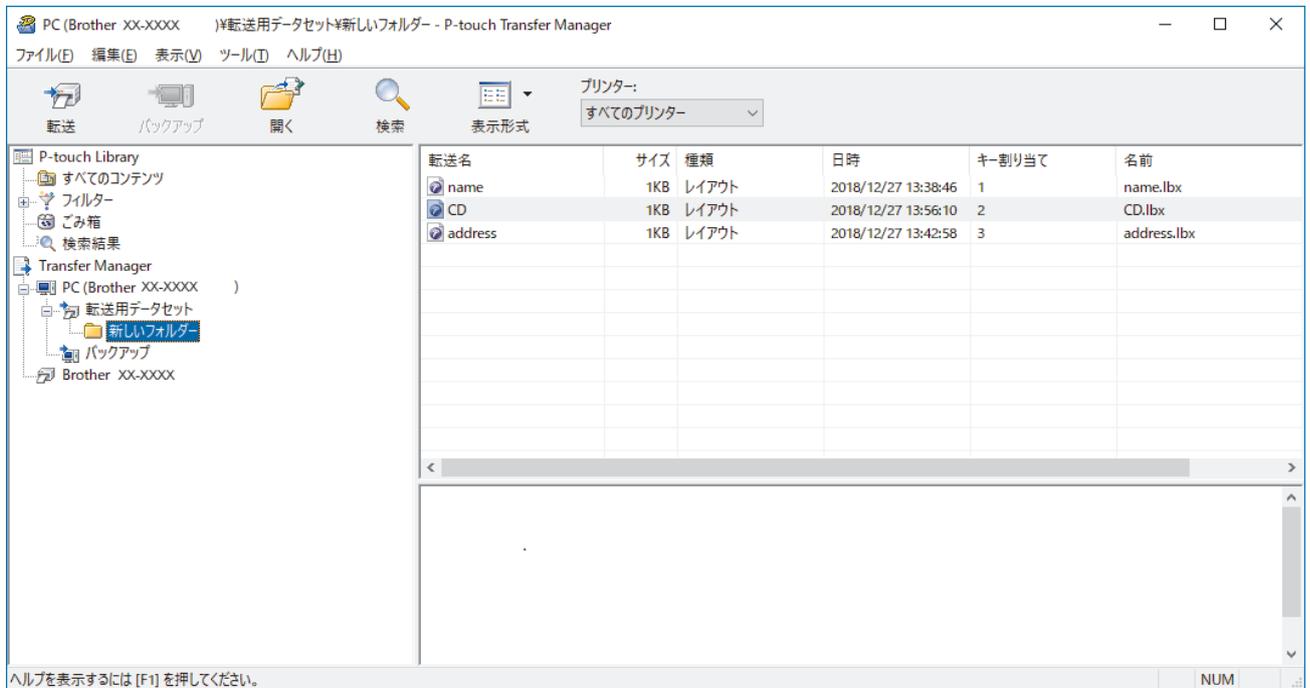


- 
 データベース内のデータを除いて、プリンターに転送されるすべてのデータにキー番号が割り当てられます。
- プリンターに転送されるテンプレートまたはその他のデータに、プリンターにすでに保存されている別のテンプレートと同じキー番号が割り当てられると、新しいテンプレートで古いテンプレートを上書きします。テンプレートやその他のデータをバックアップすることで、プリンターに保存されている割り当て済みのテンプレートのキー番号を確認できます。
- プリンターのメモリーがいっぱいになった場合は、プリンターのメモリーから1つまたは複数のテンプレートを削除してください。

6. 転送するテンプレートやその他のデータの名前を変更するには、変更したい項目をクリックして、新しい名前を入力します。

機種によっては、テンプレート名に使用する文字数が制限されている場合があります。

7. 転送するテンプレートまたはその他のデータが含まれているフォルダーを選択し、**転送**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。



- 項目をフォルダーに追加せずに、個々の項目をプリンターに転送することもできます。転送するテンプレートまたはその他のデータを選択し、**転送**をクリックします。
- 1回の操作で複数の項目とフォルダーを選択して転送できます。

8. **OK** をクリックします。

選択した項目がプリンターに転送されます。

✓ 関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

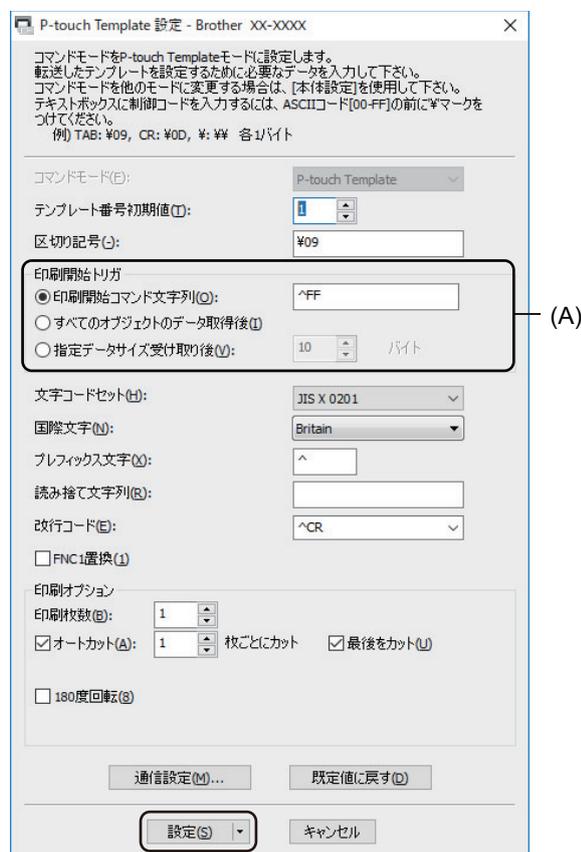
関連トピック：

- パソコンで作成したテンプレートを携帯端末を使用してプリンターに転送する

バーコードスキャナー設定を指定する (Windows)

バーコードスキャナーをプリンターに接続する前に、P-touch Template 設定 (プリンター設定ツール内) を使用してバーコードスキャナーの設定を指定します。

1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
2. プリンター設定ツールを起動します。
 - **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother > Printer Setting Tool をクリックします。
 - **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面の Printer Setting Tool アイコンをクリックします。
 - **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother > Label & Mobile Printer > Printer Setting Tool をクリックします。
3. **P-touch Template 設定** ボタンをクリックします。
4. 必要な設定を選択し、**設定** をクリックします。



- お買い上げ時の設定では、バーコードスキャナーを使用してバーコードからコード「^FF」を読み込むと印刷が開始されます。(これは、前の画像の (A) で強調表示された設定を使用すると変更できます。)
指定データサイズ受け取り後オプションを選択してバイト数を設定すると、指定したバイト数の読み取り後にテンプレートが印刷されます。
- パソコンから印刷するたびに印刷モードの設定がラスターモードに戻るため、設定をテンプレートモードにもう一度変更する必要があります。
- プリンターの電源をオフにした後、もう一度オンにすると、プリンターはテンプレートモードで起動します。



関連情報

- バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template)

Bluetooth を使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する (Windows)

信頼できる高品質バーコードスキャナーを使用し、バーコードスキャナーの仕様をチェックしてから機種を選択することをお勧めします。

推奨されるバーコードスキャナーの選択基準：SPP または OPP プロファイルをサポートする Bluetooth バージョン 2.1 + EDR (クラス 1) の機種



- P-touch Template モードの場合、最初に P-touch Transfer Manager を使用してパソコンからプリンターにテンプレートをダウンロードする必要があります。
- バーコードスキャナーは、通常英語キーボード用にプログラムされています。初心者の方は、接頭文字や接尾文字が付いていないデータの読み込み用に、バーコードスキャナーをプログラムすることをお勧めします。上級ユーザーの場合は、接頭文字と接尾文字を読み込み、プリンターでコマンドとして使用することで、カスタマイズされたテンプレートを作成できます。
- バーコードスキャナーの使用方法和プログラミング方法の詳細については、製造元にお問い合わせください。
- Bluetooth 搭載装置 (バーコードスキャナーなど) のメーカー推奨に従って、必要なすべてのハードウェアとソフトウェアをインストールします。
- Bluetooth の接続設定は、プリンターの電源がオフになった後も保存されます。

1. **Menu** を押します。
2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [Bluetooth] を選択します。OK を押します。
 - b. [Bluetooth (On/Off)] を選択します。OK を押します。
3. ▲または▼を押して、[オン] を選択します。OK を押します。

画面に ✖ が表示されます。

4. プリンターをバーコードスキャナーと Bluetooth でペアリングします。

プリンターの PIN を要求された場合、お買い上げ時の PIN は、製品シリアル番号の下 4 桁が設定されています。PIN は通信設定ツールを使用して変更できます。

 - 通信設定の Bluetooth タブの**ペアリング時に本体キーの操作を要求する**チェックボックスが選択されていない場合は、Bluetooth 機器のパスキーが画面に表示され、Bluetooth 接続が確立されます。
 - 通信設定の Bluetooth タブの**ペアリング時に本体キーの操作を要求する**チェックボックスが選択されている場合は、Bluetooth パスキーが画面に表示されます。プリンターで **OK** を押します。表示された Bluetooth パスキーを Bluetooth 機器に入力すると、Bluetooth 接続が確立されます。

接続が確立されると、プリンターの電源をオフにするまで接続されたままになり、別の機器に接続されることはありません。



関連情報

- [バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する \(P-touch Template\)](#)

USB ホストインターフェイスを使用してプリンターをバーコードスキャナーに接続する

信頼できる高品質バーコードスキャナーを使用し、バーコードスキャナーの仕様をチェックしてから機種を選択することをお勧めします。

推奨されるバーコードスキャナーの選択基準：キーボードとして識別される HID クラスの機種



- P-touch Template モードの場合、最初に P-touch Transfer Manager を使用してパソコンからプリンターにテンプレートをダウンロードする必要があります。
 - バーコードスキャナーは、通常英語キーボード用にプログラムされています。初心者の方は、接頭文字や接尾文字が付いていないデータの読み込み用に、バーコードスキャナーをプログラムすることをお勧めします。上級ユーザーの場合は、接頭文字と接尾文字を読み込み、プリンターでコマンドとして使用することで、カスタマイズされたテンプレートを作成できます。
 - バーコードスキャナーの使用方法和プログラミング方法の詳細については、製造元にお問い合わせください。
-
- バーコードスキャナーをプリンターの USB ホストポートに接続します。



関連情報

- [バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する \(P-touch Template\)](#)

バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる

- 転送したテンプレートを直接印刷する (定型テンプレート印刷)
- 転送したテンプレートを変更後に印刷する (拡張テンプレート印刷)
- データベースに関連付けたテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)
- 転送したテンプレートを連番で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)
- 設定用バーコード一覧

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > 転送したテンプレートを直接印刷する (定型テンプレート印刷)

転送したテンプレートを直接印刷する (定型テンプレート印刷)

頻繁に使用するテンプレートや画像をダウンロードし、バーコードを読み取って印刷するものを選択することができます。

例:



- 各設定のために読み取るバーコードの詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- グループ化したオブジェクトは変換され、画像として送信されます。

- P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。
詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。
- P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーにデータを転送する場合、転送したいデータが含まれているフォルダーを選択します。



転送用データセットの下にフォルダーを追加し、転送されたテンプレートをそのフォルダーにドラッグアンドドロップして、異なるテンプレートのセットを管理することができます。

テンプレートを P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーに転送すると、キー割り当て番号が自動的に割り当てられます。

- 基本的な操作では、1 から 10 までのキー割り当て番号を指定できます。
 - 高度な操作では、プリンターにダウンロードしたテンプレートに 1 から 255 までのキー割り当て番号を指定できますが、それらを選択して印刷するには異なるバーコードを読み取る必要があります。
詳細については「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。
- 転送されたテンプレートを選択し、**転送**をクリックしてプリンターのキー割り当て番号にテンプレートをダウンロードします。
 - 以下のバーコードをスキャンします。
 - P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)



Escia3^11

- 以下のバーコード一覧からバーコードを読み取り、コマンドまたは設定をプリンターに送信します。
 - 基本設定

オートカットあり (1 枚ごとにカット) + 最後をカットあり  ^c01011	オートカットあり (2 枚ごとにカット) + 最後をカットあり  ^c01021
オートカットなし + 最後をカットあり  ^c00001	オートカットなし + 最後をカットなし  ^c00000

印刷枚数



- 複数のコマンドで設定を行うことができます。
- バーコードコマンドを読み取っても何も設定が行われなかった場合は、P-touch Template 設定に従ってテンプレートが印刷されます。P-touch Template 設定の初期値では、オートカットがオンの状態で 1 枚印刷されます。

P-touch Template 設定の詳細については「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

6. 印刷枚数を指定します。

- a. 以下のバーコードを読み取ります。

印刷枚数



- b. 以下のバーコードを読み取り、3桁の数字を指定します。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7枚印刷する場合は[0][0][7]、15枚印刷する場合は[0][1][5]

- テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8
9  9	0  0
00  00	



印刷枚数の設定を変更するには、これらの手順を繰り返します。

7. 以下のバーコードの中から、目的のラベルレイアウトのキー割り当て番号と同じ番号のバーコードを読み取ります。

- 定型テンプレート番号

定型テンプレート 1  ^TS001^FF	定型テンプレート 2  ^TS002^FF
定型テンプレート 3  ^TS003^FF	定型テンプレート 4  ^TS004^FF
定型テンプレート 5  ^TS005^FF	定型テンプレート 6  ^TS006^FF
定型テンプレート 7  ^TS007^FF	定型テンプレート 8  ^TS008^FF
定型テンプレート 9  ^TS009^FF	定型テンプレート 10  ^TS010^FF

指定したラベルが印刷されます。

✓ 関連情報

- [バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる](#)
 - [ラベルの編集をロックする](#)

関連トピック：

- [設定用バーコード一覧](#)
- [パソコンからプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > 転送したテンプレートを直接印刷する (定型テンプレート印刷) > ラベルの編集をロックする

ラベルの編集をロックする

頻繁に使用するテンプレートが誤って編集されないようにするために、ラベルレイアウトのテキストオブジェクトを画像に変換します。ラベルレイアウトを画像に変換すると、テキストを変更できなくなります。

1. P-touch Editor のレイアウト画面でテキストオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **拡張**タブをクリックして、**文字の編集を禁止する**チェックボックスを選択します。



- **拡張**タブが表示されない場合、**ツール > オプション > 全般**をクリックしてから、**その他**セクションで**オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示**チェックボックスを選択します。
- **文字の編集を禁止する**チェックボックスを選択解除すると、オブジェクトは編集可能なテキストに再変換されます。



関連情報

- [転送したテンプレートを直接印刷する \(定型テンプレート印刷\)](#)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > 転送したテンプレートを変更後に印刷する (拡張テンプレート印刷)

転送したテンプレートを変更後に印刷する (拡張テンプレート印刷)

テンプレートをダウンロードし、バーコードを読み取ってコピーを印刷したり、読み取ったデータを別のテンプレートに挿入することができます。



- 各設定のために読み取るバーコードの詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- プリンターにすでに登録されているバーコードテンプレート以外のプロトコルがバーコードで使用されている場合、バーコードの作成や印刷ができないことがあります。
- バーコードスキャナーの機種によっては、一部のバーコード記号やプロトコルがプリンターでサポートされていないことがあります。

- P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。



お願い

バーコードの記号やプロトコルの要件に合わせてテンプレートを作成してください。特に、ラベルサイズとラベル内のバーコード位置が、バーコードスキャナーから挿入される文字の最大数と種類に適合するようにします。挿入されたデータを含むバーコードが、ラベルの印刷可能なイメージ領域内に完全に収まらない場合、テンプレートのバーコードを作成したり読み取ったりすることはできません。

- P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーにデータを転送する場合、転送したいデータが含まれているフォルダーを選択します。



転送用データセットの下にフォルダーを追加し、転送されたテンプレートをそのフォルダーにドラッグアンドドロップして、異なるテンプレートのセットを管理することができます。

テンプレートを P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーに転送すると、キー割り当て番号が自動的に割り当てられます。

プリンターにダウンロードしたテンプレートに、1 から 10 のキー割り当て番号を指定できます。

- 転送されたテンプレートを選択し、**転送**をクリックしてプリンターのキー割り当て番号にテンプレートをダウンロードします。
- 以下のバーコードをスキャンします。
 - P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)



- 以下のバーコード一覧からバーコードを読み取り、コマンドまたは設定をプリンターに送信します。
 - 基本設定

オートカットあり（1枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^c01011	オートカットあり（2枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^c01021
オートカットなし+最後にカットあり  ^c00001	オートカットなし+最後にカットなし  ^c00000
印刷枚数  ^cN	



- 複数のコマンドで設定を行うことができます。
- バーコードコマンドを読み取っても何も設定が行われなかった場合は、P-touch Template 設定に従ってテンプレートが印刷されます。P-touch Template 設定の初期値では、オートカットがオンの状態で1枚印刷されます。
P-touch Template 設定の詳細については「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

6. 印刷枚数を指定します。

- 以下のバーコードを読み取ります。

印刷枚数



- 以下のバーコードを読み取り、3桁の数字を指定します。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7枚印刷する場合は[0][0][7]、15枚印刷する場合は[0][1][5]

- テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8

9 	0 
00 	



印刷枚数の設定を変更するには、これらの手順を繰り返します。

7. 以下のバーコードをスキャンします。

- テンプレート選択

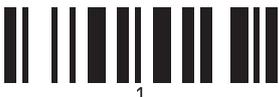
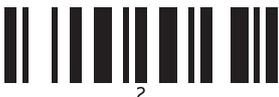
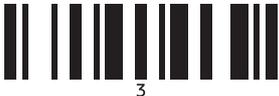
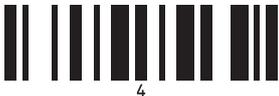
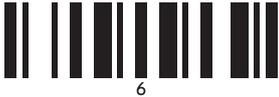


8. 以下のバーコードの中から、印刷したいダウンロード済みテンプレートのキー割り当て番号と同じ番号（3桁）のバーコードを読み取ります。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7番を印刷する場合は[0][0][7]、15番を印刷する場合は[0][1][5]

- テンキー入力

1 	2 
3 	4 
5 	6 
7 	8 
9 	0 
00 	

3桁の数字を読み取ると、ダウンロードしたテンプレートが選択されます。



P-touch Editor を使用して、一つのバーコードで番号を指定できるラベルを作成して印刷することができます。

例:



9. 選択したダウンロード済みテンプレートのバーコードオブジェクトに挿入したいデータが含まれるバーコードを読み取ります。

例:



10. 以下のバーコードを読み取ってコマンドを送信し、印刷を開始します。

- 印刷開始



印刷したテンプレート内のバーコードには、読み取ったバーコードのデータが含まれています。

例:



✓ 関連情報

- [バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる](#)

関連トピック：

- [設定用バーコード一覧](#)
- [パソコンからプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > データベースに関連付けたテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)

データベースに関連付けたテンプレートを印刷する (データベース検索印刷)

テンプレートにリンクされているデータベースをダウンロードし、バーコードをキーワードとして読み取ると、そのキーワードが含まれる値を検索し、テンプレートにその値を挿入して印刷することができます。



- 各設定のために読み取るバーコードの詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- プリンターはこの操作のために、ダウンロードしたリンクされたデータベースの左端の列 (A) を認識するため、バーコードで読み取るキーワードは、データベースのこの列にある必要があります。
- プリンターが適切にキーワードを検索するには、左端の列 (A) のデータが、バーコードで読み取られたキーワードと完全に一致する必要があります。
- P-touch Editor およびプリンターは、リンクされたデータベースの各欄の 1 行のデータしか読み取れないため、左端の列 (A) に 2 行以上のデータが含まれるデータベースを使用することはお勧めしません。

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、データベースファイルに接続します。



- テンプレート内のテキストオブジェクトおよびバーコードオブジェクトに、必要な数の列をリンクできます。
- キーワードが左端の列 (A) に含まれていることを確認します。印刷ラベルにそのデータが不要な場合は、テンプレート内のテキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトを、欄 (A) にリンクさせないでください。



- 設定方法の詳細については、**P-touch Editor ヘルプ**メニューを参照してください。

2. P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。

詳細については「関連情報」をご覧ください。

リンクされたデータベースファイルも転送されます。

テンプレートが P-touch Transfer Manager の**転送用データセット**フォルダーに転送されると、キー割り当て番号が自動的に割り当てられます。



転送用データセットの下にフォルダーを追加し、転送されたテンプレートをそのフォルダーにドラッグアンドドロップして、異なるテンプレートのセットを管理することができます。

3. 転送されたテンプレートを選択し、**転送**をクリックしてプリンターのキー割り当て番号にテンプレートをダウンロードします。

4. 以下のバーコードをスキャンします。

- P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)



5. 以下のバーコード一覧からバーコードを読み取り、コマンドまたは設定をプリンターに送信します。

- 基本設定

オートカットあり（1枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^c01011	オートカットあり（2枚ごとにカット）+最後にカットあり  ^c01021
オートカットなし+最後にカットあり  ^c00001	オートカットなし+最後にカットなし  ^c00000
印刷枚数  ^CN	



- 複数のコマンドで設定を行うことができます。
- バーコードコマンドを読み取っても何も設定が行われなかった場合は、P-touch Template 設定に従ってテンプレートが印刷されます。P-touch Template 設定の初期値では、オートカットがオンの状態で1枚印刷されます。

P-touch Template 設定の詳細については「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

6. 印刷枚数を指定します。

- 以下のバーコードを読み取ります。

印刷枚数



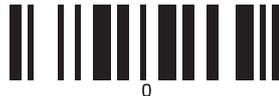
- 以下のバーコードを読み取り、3桁の数字を指定します。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7枚印刷する場合は[0][0][7]、15枚印刷する場合は[0][1][5]

- テンキー入力

1  1	2  2
3  3	4  4
5  5	6  6
7  7	8  8

9 	0 
00 	



印刷枚数の設定を変更するには、これらの手順を繰り返します。

7. 以下のバーコードをスキャンします。

- テンプレート選択

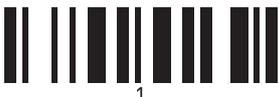
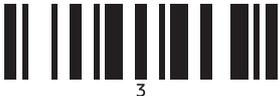
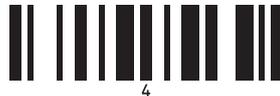


8. 以下のバーコードの中から、印刷したいダウンロード済みテンプレートのキー割り当て番号と同じ番号（3桁）のバーコードを読み取ります。

例:

以下のバーコードを読み取り、番号を指定します：7番を印刷する場合は[0][0][7]、15番を印刷する場合は[0][1][5]

- テンキー入力

1 	2 
3 	4 
5 	6 
7 	8 
9 	0 
00 	

3桁の数字を読み取ると、ダウンロードしたテンプレートが選択されます。



P-touch Editor を使用して、一つのバーコードで番号を指定できるラベルを作成して印刷することができます。

例:



9. ダウンロードしたデータベース内で検索するキーワードが含まれているバーコードを読み取ります。

例:



10. 以下のバーコードを読み取ってコマンドを送信し、読み取ったキーワードについて、ダウンロードしたデータベースの検索を開始します。

- 区切り



11. 以下のバーコードを読み取ってコマンドを送信し、印刷を開始します。

- 印刷開始



P-touch Editor を使用して、一つのバーコードで番号を指定できるラベルを作成して印刷することができます。

例:



読み取ったキーワードで検出したデータベースの値から挿入されたデータを含むテンプレートが印刷されます。



関連情報

- [バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる](#)

関連トピック:

- [設定用バーコード一覧](#)
- [パソコンからプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ホーム > バーコードスキャナーまたはその他の機器を使用してラベルを印刷する (P-touch Template) > バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる > 転送したテンプレートを連番で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)

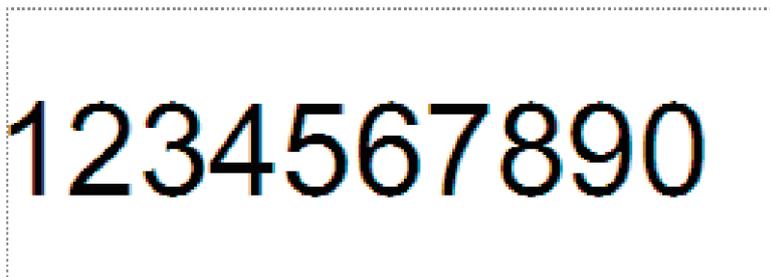
転送したテンプレートを連番で印刷する (ナンバリング (連番) 印刷)

ダウンロードしたテンプレートの印刷時に、テキストの数字またはバーコードを最大 999 まで増やすことができます。印刷時に増分させるテキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトを選択します。

- >> テキストナンバリング (連番)
- >> バーコードナンバリング (連番)
- >> 高度な操作でナンバリング (連番) 印刷をする

テキストナンバリング (連番)

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成するか開いて、印刷時に増分させるテキストオブジェクトを選択します。



2. 増分させるテキストオブジェクト内を強調表示するか、数字や文字の上でカーソルでドラッグさせます (最大 15 個)。

選択した部分がナンバリング範囲となります。



3. ナンバリング範囲を右クリックして、**ナンバリング(連番)**オプションを選択します。

バーコードナンバリング (連番)

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成するか開いて、印刷時に増分させるバーコードオブジェクトを選択します。
2. バーコードオブジェクトを右クリックして、**プロパティ**を選択します。
バーコードプロパティ画面が表示されます。

バーコードのプロパティ

入力 規格 設定 配置 拡張

規格: CODE39 ナンバリング(連番)(N)

桁数: 自動

データ(D):

1234567890

OK キャンセル

3. 増分させるバーコードオブジェクト内を強調表示するか、数字や文字の上でカーソルでドラッグさせます (最大 15 個)。
選択した部分がナンバリング範囲となります。

バーコードのプロパティ

入力 規格 設定 配置 拡張

規格: CODE39 ナンバリング(連番)(N)

桁数: 自動

データ(D):

1234567890

OK キャンセル



数字や文字の部分**を強調表示すると、ナンバリング(連番)ボタンが有効になります。**

- ナンバリング(連番)ボタンをクリックして、OK をクリックします。

高度な操作でナンバリング (連番) 印刷をする

- P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートまたはラベルレイアウトをパソコンからプリンターに転送します。

詳細については「関連情報」をご覧ください。

- 以下のバーコードをスキャンします。

- ナンバリング印刷枚数

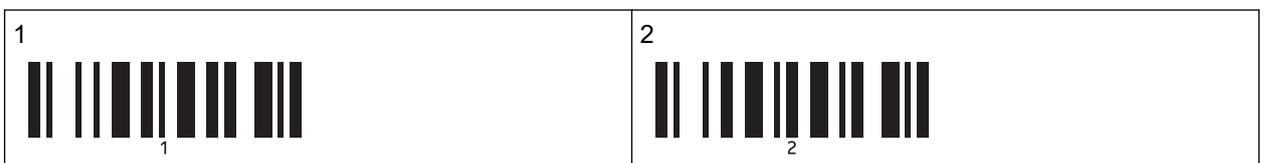


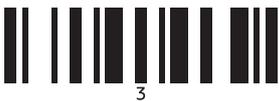
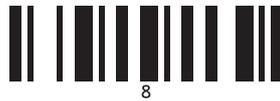
- 以下のバーコードを読み取り、印刷したい枚数を設定します (3 桁)。

例:

5 枚印刷したい場合は、[0][0][5]のバーコードを読み取り、3 桁の数字を指定します

- テンキー入力



3 	4 
5 	6 
7 	8 
9 	0 
00 	

4. P-touch Template モードの基本的な操作手順に従って、印刷を開始します。



- ラベルが印刷されるごとに、ナンバリング欄の数字または文字が1つずつ増加し、そのカウントはプリンターに恒久的に保存されます。
- テキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトをリセットし元の値に戻すには、以下のバーコードを読み取ります。
 - テンプレートデータ初期化



✓ 関連情報

- バーコードリストを使用して P-touch Template の機能を試してみる

関連トピック：

- 設定用バーコード一覧
- パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

設定用バーコード一覧



- この一覧のバーコードを使用するときは、P-touch Template 設定ツールで**印刷開始トリガ**と**プレフィックス文字**をお買い上げ時の設定にします。
- バーコードスキャナーがバーコードを正しく読み取り、必要なラベルを印刷できるように、バーコードは高解像度で印刷してください。

- P-touch Template コマンド (初期設定 + 設定開始)



- 基本設定

オートカットあり (1 枚ごとにカット) + 最後をカットあり <p>^C01011</p>	オートカットあり (2 枚ごとにカット) + 最後をカットあり <p>^C01021</p>
オートカットなし + 最後をカットあり <p>^C00001</p>	オートカットなし + 最後をカットなし <p>^C00000</p>
印刷枚数 <p>^CN</p>	

- テンキー入力

印刷枚数設定、テンプレート番号選択時に使用します。[0][0][7]、[0][1][5]のように3桁になるように読み取ってください。3桁の数字が指定されると設定が適用されます。設定を変更するには、印刷枚数を変更する場合は「印刷枚数」バーコード、テンプレート番号を変更する場合は「テンプレート選択」バーコードを再度読み取ってから、新しい3桁の数字のバーコードを読み取ってください。

1 	2
3 	4
5 	6
7 	8

9  9	0  0
00  00	

- 定型テンプレート番号

定型テンプレート 1  ^TS001^FF	定型テンプレート 2  ^TS002^FF
定型テンプレート 3  ^TS003^FF	定型テンプレート 4  ^TS004^FF
定型テンプレート 5  ^TS005^FF	定型テンプレート 6  ^TS006^FF
定型テンプレート 7  ^TS007^FF	定型テンプレート 8  ^TS008^FF
定型テンプレート 9  ^TS009^FF	定型テンプレート 10  ^TS010^FF

- テンプレート選択



- ナンバリング印刷枚数



- 区切り



- テンプレートデータ初期化



- 印刷開始



✓ 関連情報

- [バーコードリスト](#)を使用して P-touch Template の機能を試してみる
-

モバイル端末を使用してラベルを印刷する

- モバイルアプリをインストールする
- プリンターを携帯端末に接続する
- パソコンで作成したテンプレートを携帯端末を使用してプリンターに転送する

モバイルアプリをインストールする

ブラザーは、iPhone、iPad、iPod touch、Android™ 携帯端末から直接印刷するためのアプリケーションや、パソコンを使用して作成したテンプレート、絵文字、データベースなどのデータを無線で独立型プリンターに転送するためのアプリケーションなど、プリンターとともに使用できるさまざまなアプリケーションを提供しています。

- これらの無料ブラザーアプリケーションを Google Play または App Store からダウンロードしてください。

アプリケーション	機能
Print SDK	開発者ツールサイト (https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html) からソフトウェア開発キット (SDK) をダウンロードします。
Mobile Transfer Express	このアプリケーションでは、パソコンで P-touch Editor を使用して作成され、クラウドサービスに保存されたデータベースやラベルデータを、携帯端末でダウンロードしてプリンターに送信できます。
Mobile Deploy	携帯端末を使用して、プリンターの設定やファームウェアのアップデートを行うことができます。 このソフトウェアは、DropBox または HTTP(S)サーバーに事前にアップロードされたプリンター更新ファイルを対象のプリンターに送信します。

✓ 関連情報

- [モバイル端末を使用してラベルを印刷する](#)

プリンターを携帯端末に接続する

>> Wireless Direct を使用して接続する

>> Bluetooth を使用して接続する

Wireless Direct を使用して接続する

- 携帯端末の使用時は、印刷する前にアプリケーションを使用して必要な設定をすべて変更してください。アプリケーションごとに設定は異なります。
- 携帯端末に接続する前に、プリンターをパソコンに接続してプリンター設定ツールを使用することで、詳細設定を指定できます。
- 接続するには、USB ケーブル（別売）が必要です。

1. 次のいずれかのオプションを使用してプリンターを Wireless Direct モードに設定してから、USB ケーブルでプリンターをパソコンに接続します。

- 画面メニューから：
 - a. **Menu** を押します。
 - b. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - i. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - ii. [無線 LAN (On/Off)] を選択します。OK を押します。
 - c. ▲または▼を押して、[オン] を選択します。OK を押します。
 - d. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - i. [無線 LAN] を選択します。OK を押します。
 - ii. [ネットワークモード] を選択します。OK を押します。
 - e. ▲または▼を押して、[ワイヤレスダイレクト] を選択します。OK を押します。

画面に  が表示されます。

- Windows パソコンを使用して：
 - a. お使いのパソコンで **Printer Setting Tool** を起動します。
 - b. **通信設定** ボタンをクリックします。
 - c. **全般 > 通信設定** をクリックします。
 - d. **インターフェイスの選択** 設定で **インフラストラクチャ** と **Wireless Direct** または **Wireless Direct** オプションが選択されていることを確認してから、**Wireless Direct** タブを確認します。
 - e. **設定** をクリックすると、プリンターが Wireless Direct モードに設定されます。
 - f. プリンター設定ツールを終了します。

2. 携帯端末の Wi-Fi 設定画面で、無線 LAN ネットワークの SSID とプリンターの SSID を選択し、パスワードを入力します。



- お買い上げ時の SSID とパスワードは次のとおりです。
 - SSID : "DIRECT-*****_TD-4550DNWB"。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。
 - パスワード : 455*****。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。
- 無線 LAN アクセスポイントルーターを経由してインフラストラクチャモードでプリンターを携帯端末に接続できます。

プリンターが正しく接続されると、 が  に変わります。

Bluetooth を使用して接続する

1. **Menu** を押します。

-
2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [Bluetooth]を選択します。OKを押します。
 - b. [Bluetooth (On/Off)]を選択します。OKを押します。
 3. ▲または▼を押して、[オン]を選択します。OKを押します。

画面に  が表示されます。

4. 携帯端末の Bluetooth 設定画面からプリンターを選択します。
プリンターが正しく接続されると、 が  に変わります。

関連情報

- [モバイル端末を使用してラベルを印刷する](#)
-

パソコンで作成したテンプレートを携帯端末を使用してプリンターに転送する

Mobile Transfer Express が携帯端末にインストールされていることを確認します。

P-touch Transfer Manager を使用して、P-touch Editor で作成したテンプレートを BLF および PDZ 形式で保存します。次に、Mobile Transfer Express を使用して、保存したファイルを携帯端末からプリンターに送信し、ファイルを印刷します。

1. P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータを保存します。

 詳細については「関連情報」をご覧ください。

2. 携帯端末でファイルを使用するには、次のいずれかを行います。
 - クラウドストレージサービスを使用してファイルを保存し、携帯端末のオペレーティングシステムの共有機能を使用してファイルを共有します。
 - ファイルを電子メール添付としてパソコンから携帯端末に送信し、ファイルを携帯端末に保存します。
3. プリンターを携帯端末に接続し、Mobile Transfer Express を起動します。
テンプレートのデータが表示されます。
4. 印刷するテンプレートを選択し、テンプレートをプリンターに転送します。

 クラウドストレージサービスから携帯端末にファイルをダウンロードするには、インフラストラクチャモードを使用して携帯端末を接続する必要があります。インフラストラクチャモードを使用して携帯端末をプリンターに接続することで、ダウンロードしたファイル（BLF ファイルのみ）をすばやく転送することもできます。

✓ 関連情報

- [モバイル端末を使用してラベルを印刷する](#)

関連トピック：

- [転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する \(Windows\)](#)

プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows)

- P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows)
- P-touch Transfer Manager を使用せずに、転送するテンプレートをユーザーに配布する (Windows)

P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

- [P-touch Transfer Manager の使用に関する注意事項 \(Windows\)](#)
- [パソコンからプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)
- [プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする \(Windows\)](#)
- [プリンターのデータを削除する \(Windows\)](#)
- [転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する \(Windows\)](#)

P-touch Transfer Manager の使用に関する注意事項 (Windows)

P-touch Editor の一部の機能はプリンターで使用できない機能もあるため、P-touch Editor を使用してテンプレートを作成するときは、以下の点を考慮してください。

作成したテンプレートをプリンターに転送する前に、印刷されるテンプレートのプレビューを確認できます。

テンプレートの作成に関する注意事項

- プリンターに転送されるテンプレート内のテキストの一部は、プリンターに搭載されている類似のフォントと文字サイズで印刷される場合があります。このため、印刷されたラベルが P-touch Editor で作成したテンプレートのイメージとは異なる場合があります。
- テキストオブジェクト設定によっては、文字サイズが自動的に縮小されたり、一部のテキストが印刷されなかったりする場合があります。このような場合は、テキストオブジェクト設定を変更してください。
- P-touch Editor では個々の文字に書式を設定することができますが、プリンターではテキストのブロックにのみ書式を適用できます。また、一部の文字書式はプリンターでは対応していません。
- P-touch Editor で指定した背景は、プリンターでは対応していません。
- P-touch Editor で、分割印刷機能（ラベルを拡大して、それを複数のラベルに印刷する機能）を使用して作成したレイアウトは転送できません。
- 印刷可能範囲内のラベルの部分のみが印刷されます。
- 印刷範囲からはみ出た部分は、完全に印刷されない場合があります。

テンプレートの転送に関する注意事項

- 印刷されたラベルは、P-touch Transfer Manager のプレビューで表示されたイメージと異なる場合があります。
- プリンターが対応していない 2 次元バーコードをプリンターに転送すると、画像に変換されます。変換されたバーコードの画像は編集できません。
- プリンターで編集できないオブジェクトが転送されると、すべて画像に変換されます。
- グループ化されたオブジェクトは、ひとつのビットマップデータに変換されます。

テンプレート以外のデータ転送に関する注意事項

- データベース内のフィールドの数や順序を変更し、その更新のためにデータベース (CSV ファイル) だけを転送すると、データベースがテンプレートと正しくリンクされない場合があります。さらに、転送ファイル内のデータの最初の行は、「フィールド名」としてプリンターに認識させる必要があります。
- プリンターにダウンロードされたロゴ、記号、画像は、すでにプリンターに保存されているフォントや記号に合わせて自動的にサイズ調整されます。

✓ 関連情報

- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

テンプレートやその他のデータをプリンターに転送し、データのバックアップをパソコンに保存することができます。

P-touch Transfer Manager を使用するには、P-touch Editor で作成したテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送しておく必要があります。

✓ 関連情報

- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)
 - [P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する \(Windows\)](#)
 - [P-touch Transfer Manager のメイン画面 \(Windows\)](#)
 - [パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する (Windows)

1. P-touch Editor  を起動します。

- **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**

スタート > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

- **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**

アプリ画面上の P-touch Editor 5.2 アイコンをクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

- **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**

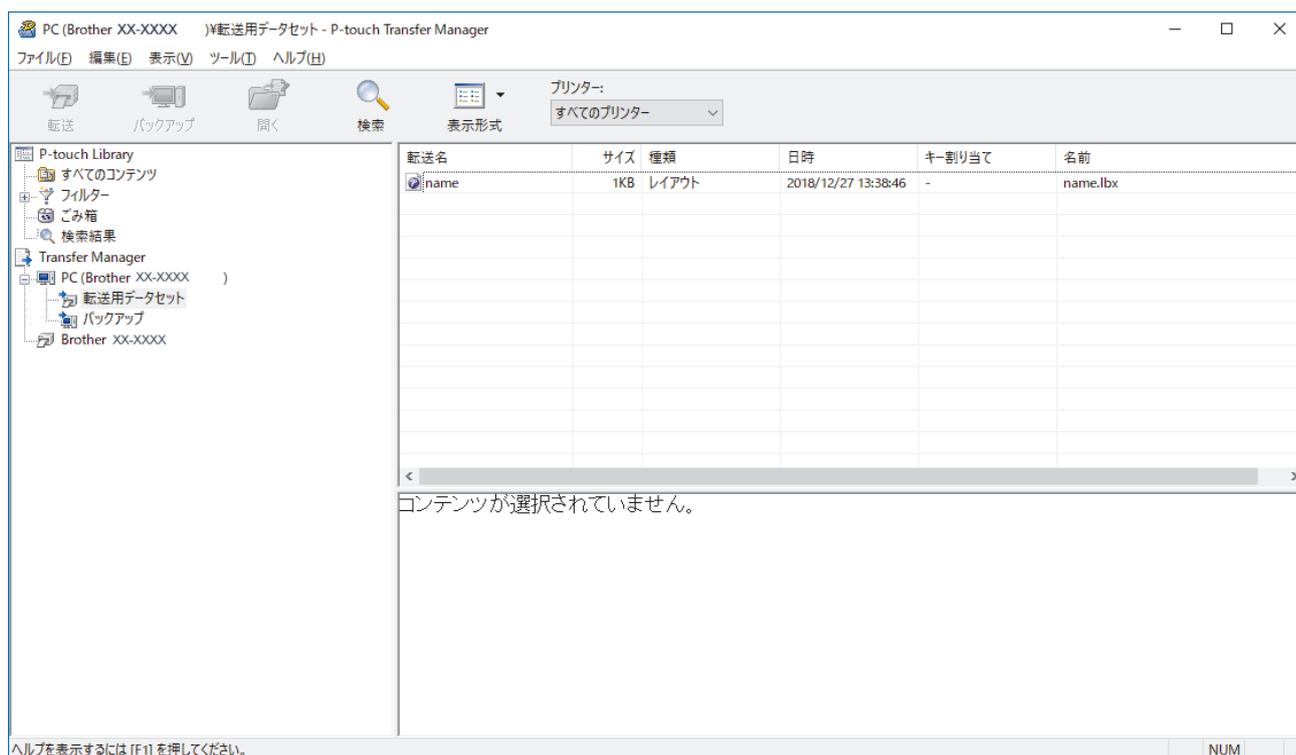
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

P-touch Editor が起動します。

2. テンプレートを開くか、ラベルのレイアウトを作成します。

3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送** をクリックします。

P-touch Transfer Manager の画面が表示されます。テンプレートが**転送用データセット**フォルダーに転送されます。

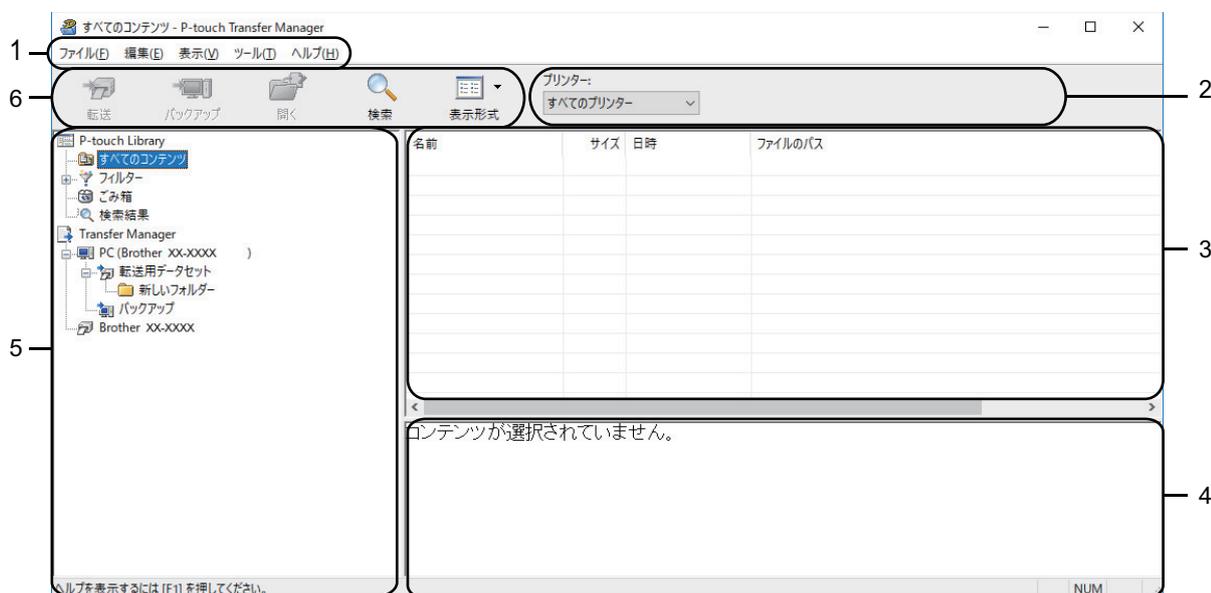


✓ 関連情報

- パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > P-touch Transfer Manager のメイン画面 (Windows)

P-touch Transfer Manager のメイン画面 (Windows)



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（ファイル、編集、表示、ツール、ヘルプメニュー）の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. プリンター選択

データを転送するプリンターを選択できます。プリンターを選択すると、選択したプリンターに送信できるデータのみがデータリストに表示されます。

3. テンプレート一覧

選択したフォルダー内にあるテンプレートの一覧が表示されます。

4. プレビュー

テンプレート一覧内のテンプレートのプレビューが表示されます。

5. フォルダー一覧

フォルダーとプリンターの一覧が表示されます。フォルダーを選択すると、選択したフォルダー内のテンプレートがテンプレート一覧に表示されます。プリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

6. ツールバー

頻繁に使用するコマンドにアクセスできます。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	転送	パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送します。
	転送ファイル保存 (プリンターに接続されていない場合)	他のアプリケーションに転送されるデータのファイル形式を変更します。 マスタストレージモード (USB) を使用してラベルを印刷するときや、BRAdmin Professional (LAN または Wi-Fi) または Mobile Transfer Express (Wi-Fi) を使用してデータを転送するとき、ファイル名の拡張子として BLF を選択します。Transfer Express (USB) を使用してデータを転送するときは、 PDZ を選択します。

アイコン	ボタン名	機能
		使用可能なインターフェイスはお使いの機種によって異なります。
	バックアップ	プリンターに保存されているテンプレートとその他のデータを取得し、パソコンに保存します。
	開く	選択したテンプレートを開きます。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートやその他のデータを検索できます。
	表示形式	ファイルの表示形式を変更します。

✓ 関連情報

- ・ パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

パソコンからプリンターにテンプレートやその他のデータを転送する (Windows)

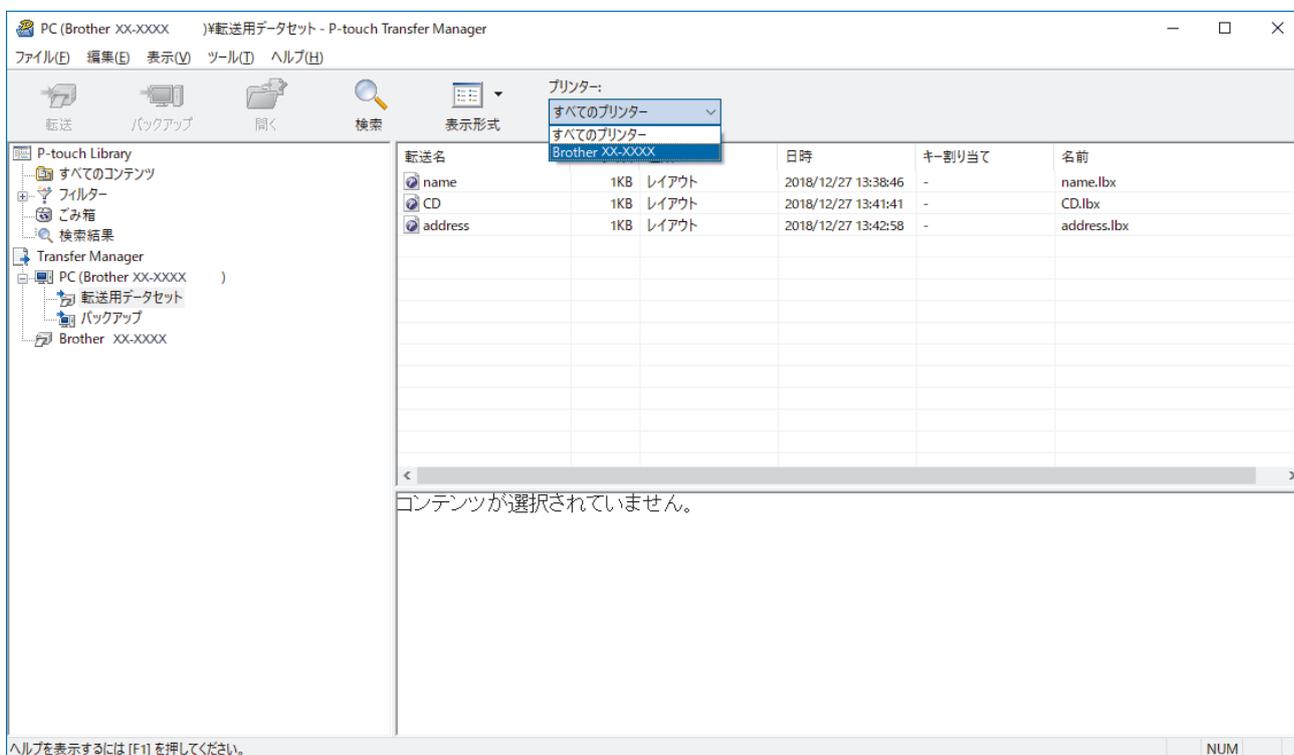
パソコンからプリンターにテンプレート、データベース、画像を転送できます。

 携帯端末からプリンターにテンプレートを転送する方法については、「関連情報」をご覧ください。

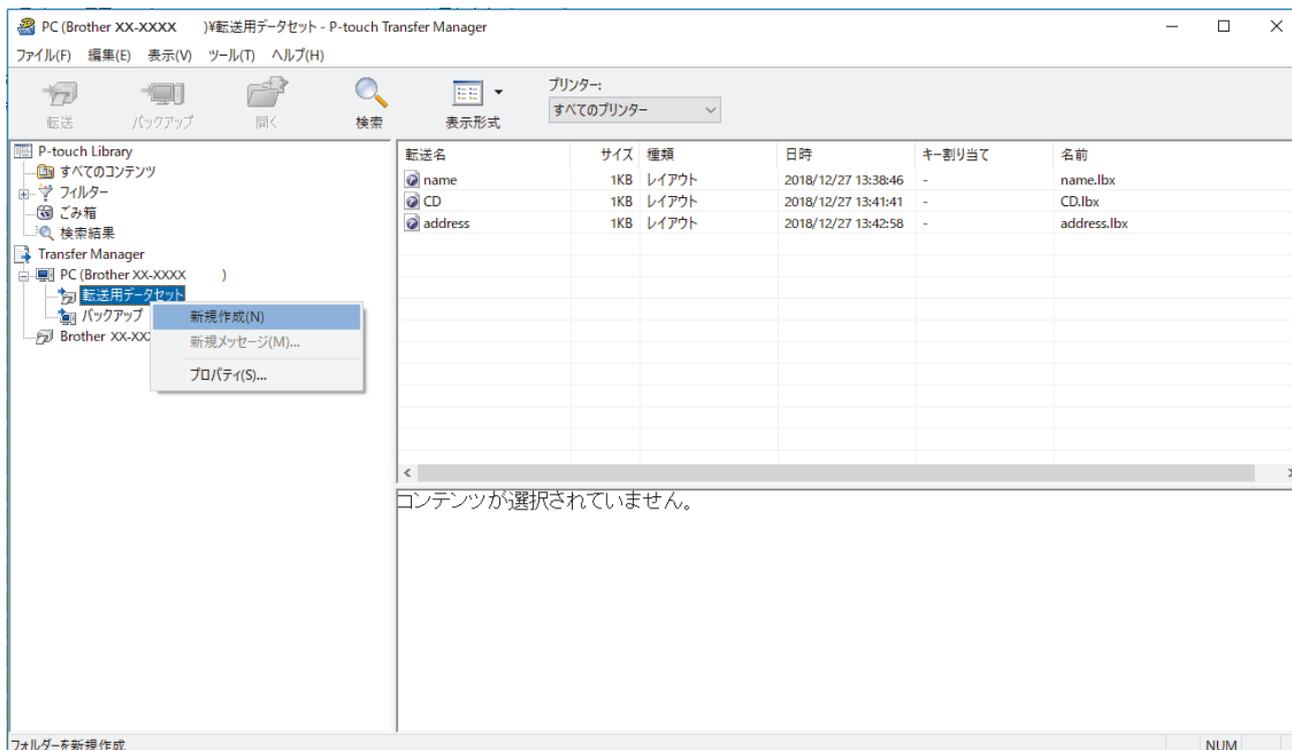
1. USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

 プリンターが接続されていないか、オフラインの場合、フォルダー表示にそれらのデータは表示されません。

2. テンプレートやその他のデータを転送するプリンターを選択します。

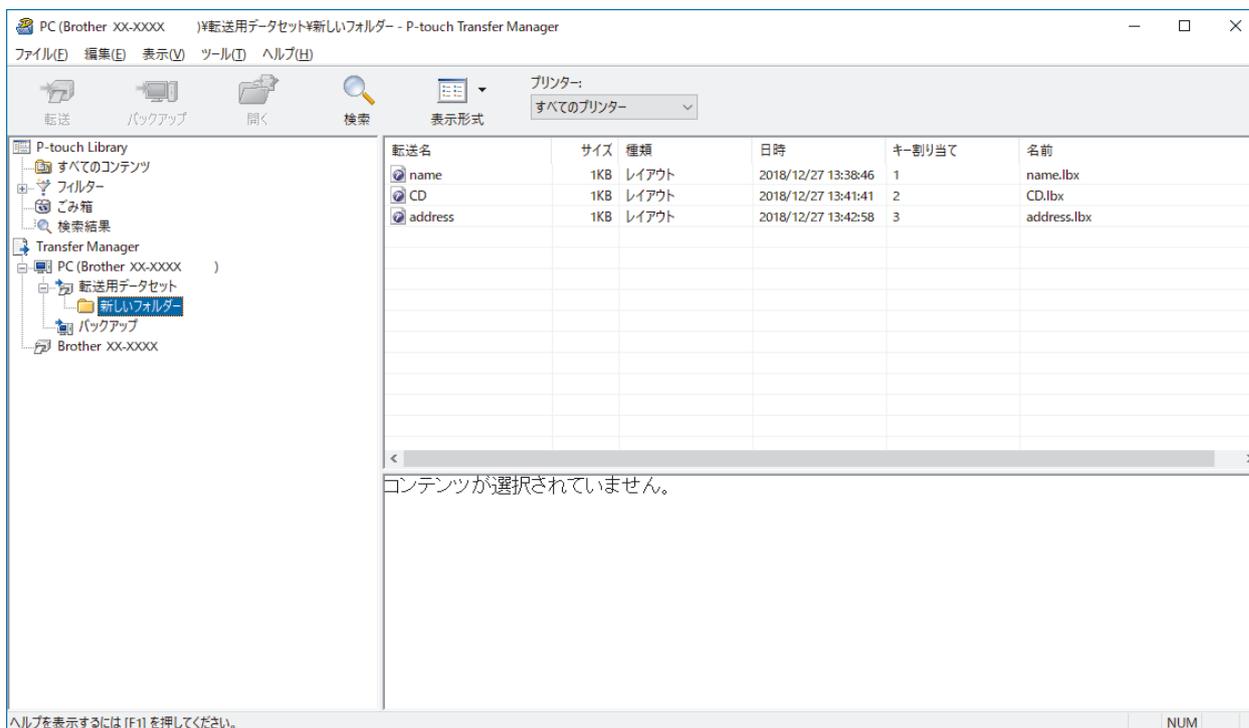


3. 転送用データセットフォルダーを右クリックし、**新規作成**を選択して、新しいフォルダーを作成します。



4. 以下のいずれかを行います。

- 転送するテンプレートやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。
- 複数のテンプレートやその他のデータを転送するには、転送するファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにキー番号（プリンター内のメモリー位置）が割り当てられます。

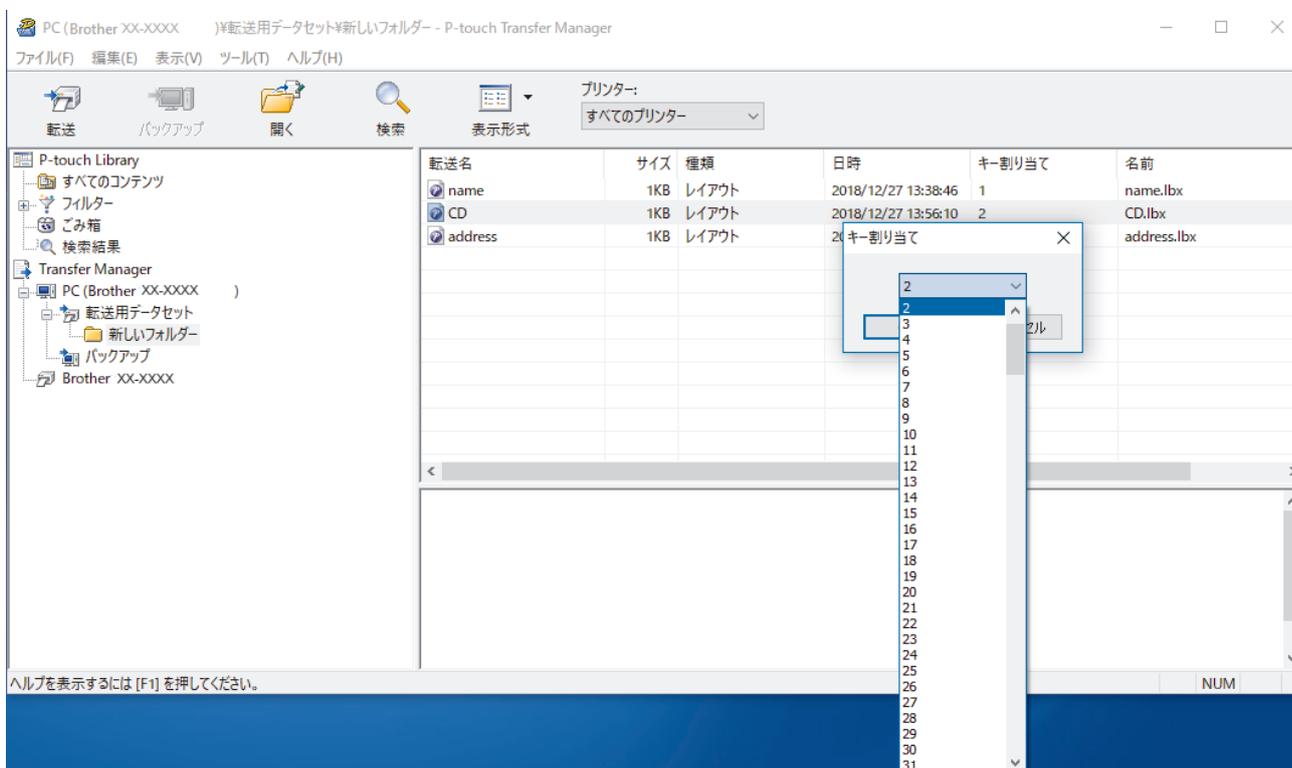


データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
テンプレート	255	各テンプレートには、最大で 255 個のオブジェクトを含めることができます。
データベース	255	<ul style="list-style-type: none"> • CSV ファイルのみを転送できます。 • 各 CSV ファイルには、最大で 65,000 件の値を含めることができます。

データの種類	転送可能な項目の最大数	制限の詳細
画像（ユーザー定義文字）	255	<ul style="list-style-type: none"> BMP ファイルのみを転送できます。 モノクロの BMP ファイルを使用することをお勧めします。 サイズ制限は 2560 x 2560 ピクセルです。 幅広の画像は端が切り取られる可能性があります。

- 
 プリンター設定レポートを印刷して、転送ファイルメモリー内の空き容量を確認できます。空き容量については、レポートの **Available memory (使用可能なメモリ)** を参照してください。 **Available memory: ****B (使用可能なメモリ)** に表示される空き容量は、実際に使用可能な容量と異なる場合があります。
- 以下の項目を選択すると、テンプレートとその他のデータを表示することができます。
 - 転送用データセットフォルダー内のフォルダー
 - すべてのコンテンツ
 - フィルターの下のいずれかのカテゴリー（レイアウトなど）

5. 項目に割り当てられたキー番号を変更するには、項目を右クリックし、**キー割り当て**メニューを選択して、希望のキー番号を選択します。

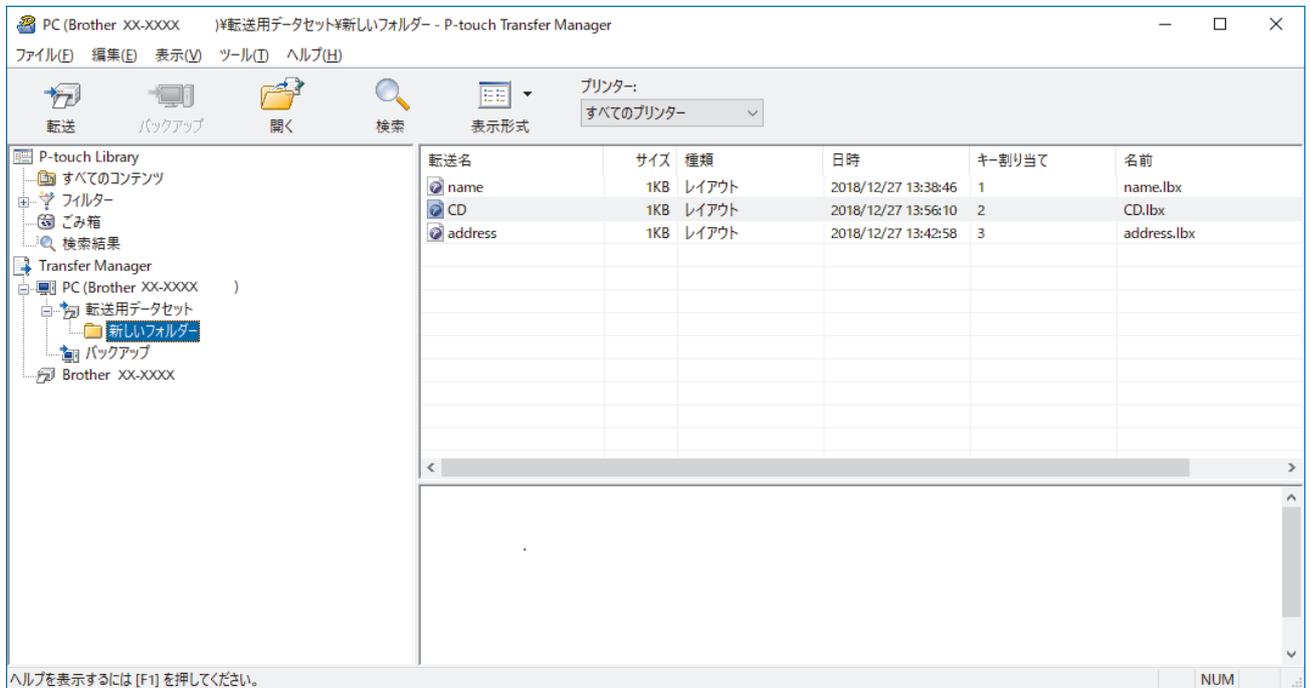


- 
 データベース内のデータを除いて、プリンターに転送されるすべてのデータにキー番号が割り当てられます。
- プリンターに転送されるテンプレートまたはその他のデータに、プリンターにすでに保存されている別のテンプレートと同じキー番号が割り当てられると、新しいテンプレートで古いテンプレートを上書きします。テンプレートやその他のデータをバックアップすることで、プリンターに保存されている割り当て済みのテンプレートのキー番号を確認できます。
- プリンターのメモリーがいっぱいになった場合は、プリンターのメモリーから1つまたは複数のテンプレートを削除してください。

6. 転送するテンプレートやその他のデータの名前を変更するには、変更したい項目をクリックして、新しい名前を入力します。

機種によっては、テンプレート名に使用する文字数が制限されている場合があります。

7. 転送するテンプレートまたはその他のデータが含まれているフォルダーを選択し、**転送**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。



- 項目をフォルダーに追加せずに、個々の項目をプリンターに転送することもできます。転送するテンプレートまたはその他のデータを選択し、**転送**をクリックします。
- 1回の操作で複数の項目とフォルダーを選択して転送できます。

8. **OK** をクリックします。

選択した項目がプリンターに転送されます。

✓ 関連情報

- パソコンからプリンターにテンプレートを転送する (Windows)

関連トピック：

- パソコンで作成したテンプレートを携帯端末を使用してプリンターに転送する

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする (Windows)

プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする (Windows)

プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータを検索し、パソコンに保存できます。

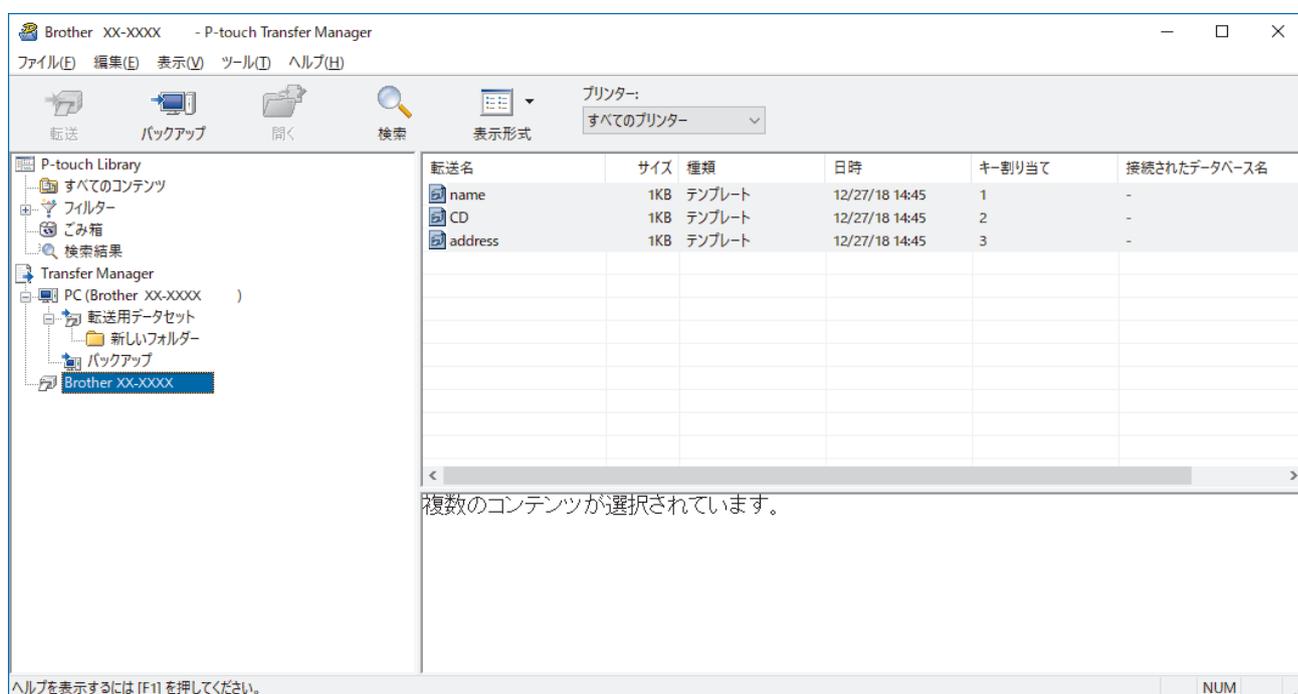


- バックアップされたテンプレートやその他のデータは、パソコン上で編集することはできません。
- プリンターの機種によっては、バックアップされたテンプレートやデータを、異なる機種間で転送できない場合があります。

1. パソコンとプリンターを接続し、プリンターの電源をオンにします。

フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。フォルダー表示でプリンターを選択すると、プリンターに保存されている現在のテンプレートとその他のデータが表示されます。

2. バックアップするプリンターを選択し、**バックアップ**をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

3. **OK** をクリックします。

新しいフォルダーがフォルダー表示のプリンターの下に作成されます。フォルダー名はバックアップの日時に基づいて付けられます。プリンターのテンプレートやその他のデータは、すべて新しいフォルダーに転送され、パソコンに保存されます。



関連情報

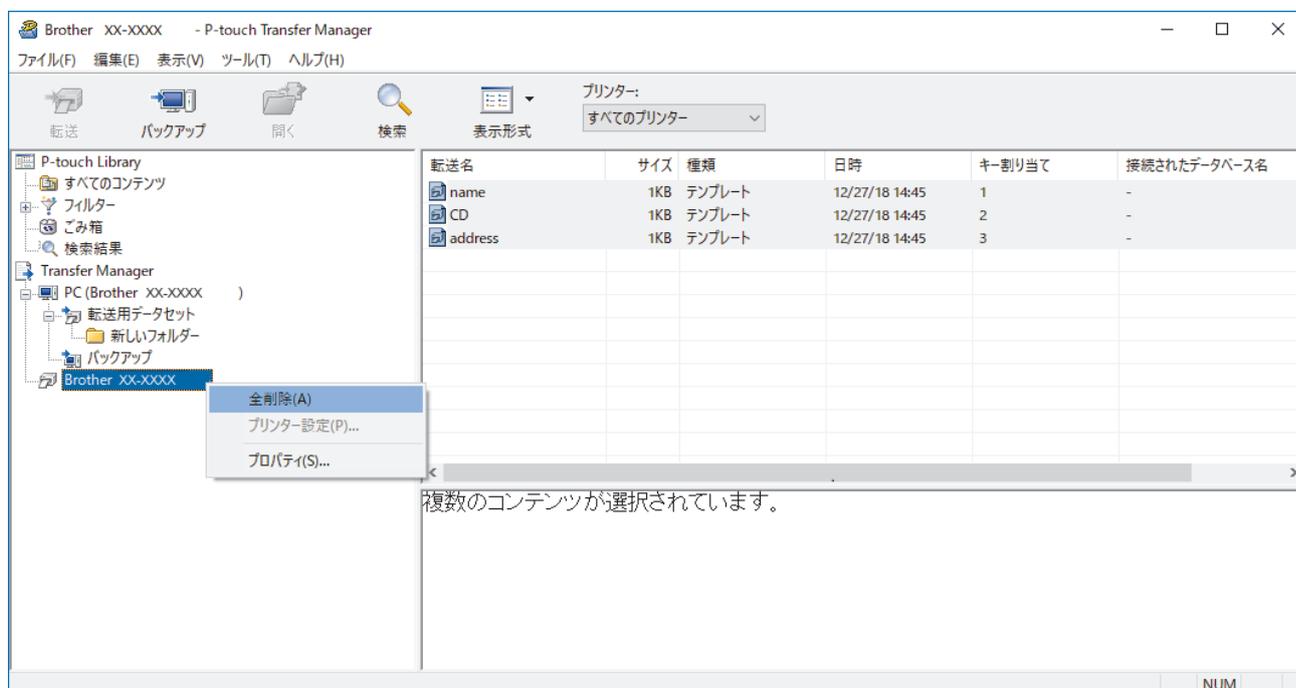
- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > プリンターのデータを削除する (Windows)

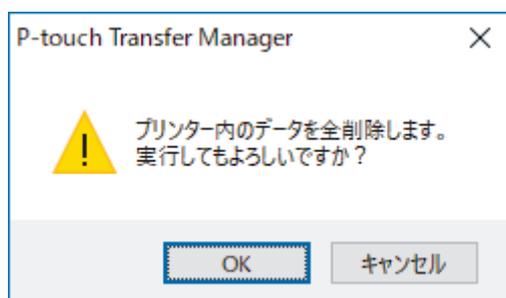
プリンターのデータを削除する (Windows)

プリンターに保存されたすべてのテンプレートまたはその他のデータを削除できます。

1. パソコンとプリンターを接続し、プリンターの電源をオンにします。
フォルダー表示のプリンターアイコンの横に、プリンターの機種名が表示されます。
2. プリンターを右クリックし、**全削除**メニューを選択します。



確認のメッセージが表示されます。



3. **OK** をクリックします。
プリンターに保存されたすべてのテンプレートとその他のデータが削除されます。

✓ 関連情報

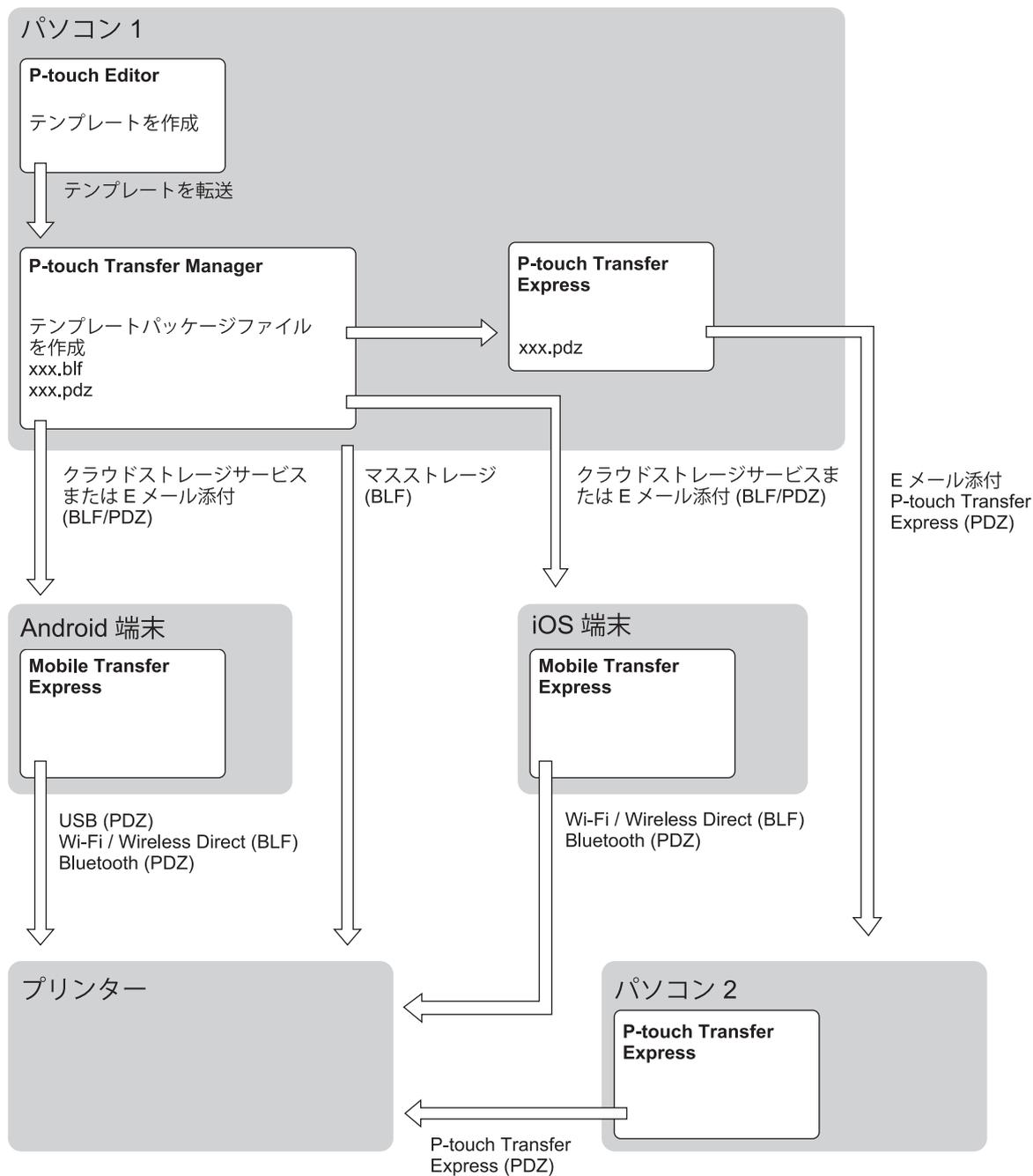
- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する \(Windows\)](#)

▲ ホーム > プリンターにテンプレートを転送する (P-touch Transfer Manager) (Windows) > P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する (Windows) > 転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する (Windows)

転送ファイルと転送パッケージファイルを作成する (Windows)

P-touch Editor で作成されたテンプレートデータを、P-touch Transfer Manager を使用して BLF または PDZ 形式で保存し、ネットワークを介してパソコンまたは携帯端末からプリンターに転送します。

また、マストレージモードを使用して、BLF 形式でファイルを印刷することもできます。



テンプレート転送方法		ファイル形式
携帯端末から (Mobile Transfer Express を使用)	USB を使用	PDZ
	Wi-Fi を使用	BLF
	Wireless Direct を使用	BLF

テンプレート転送方法		ファイル形式
	Bluetooth を使用	PDZ
	マスメージング	BLF
パソコンから	P-touch Transfer Express	PDZ
	マスメージング	BLF

1. P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、P-touch Transfer Manager に転送します。



- 詳細については「関連情報」をご覧ください。
- 新しいテンプレートを転送するときは、現在使用されていないキー割り当て番号を（P-touch Transfer Manager で）指定してください。指定したキー割り当て番号がすでに使用されている場合、既存のテンプレートが新しいテンプレートで上書きされます。

2. プリンターをパソコンに接続せずに、P-touch Transfer Manager 画面で**転送用データセット**フォルダーを選択し、保存するテンプレートを選択します。



同時に複数のテンプレートを選択できます。

3. **ファイル > 転送ファイル保存**をクリックします。

お願い

転送ファイル保存ボタンは、プリンターがパソコンから切断されているか、オフラインの場合に表示されます。



- **転送用データセット**を選択した後に**転送ファイル保存**ボタンをクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートが転送ファイル（BLF）または転送パッケージファイル（PDZ）として保存されます。
- 複数のテンプレートを単一の転送ファイル（BLF）または転送パッケージファイル（PDZ）にまとめることができます。

4. **ファイルの種類**欄でテンプレート形式を選択し、名前を入力してテンプレートを保存します。



関連情報

- [P-touch Transfer Manager を使用してプリンターにテンプレートを転送する（Windows）](#)

関連トピック：

- [P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する（Windows）](#)

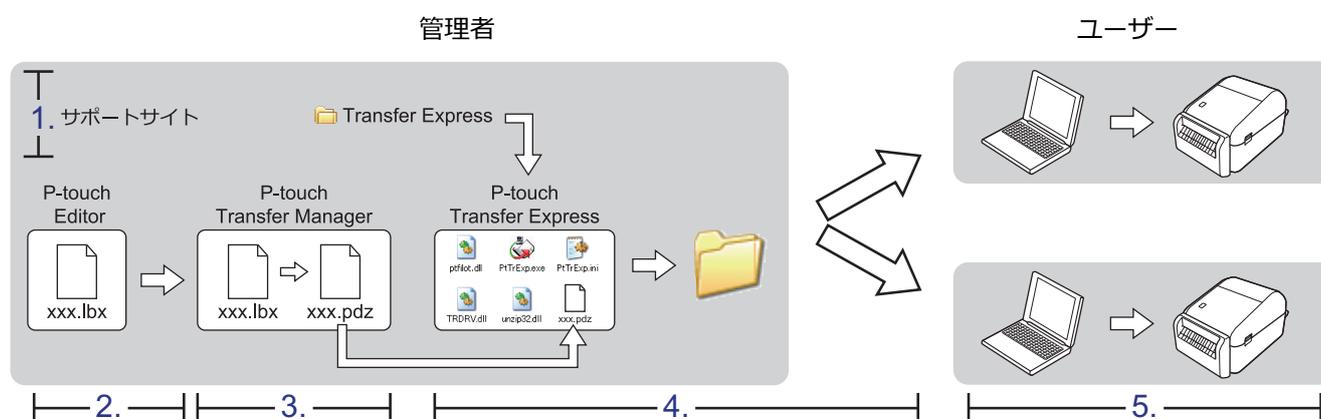
P-touch Transfer Manager を使用せずに、転送するテンプレートをユーザーに配布する (Windows)

P-touch Transfer Express を使用して、プリンターにテンプレートを転送できます。まず、管理者がテンプレートを作成し、次に P-touch Transfer Express と一緒にそのテンプレートを配布します。そうすると、P-touch Transfer Express を使用してテンプレートをプリンターに直接転送できるようになります。

P-touch Transfer Express の最新バージョンをダウンロードするには、サポートサイト (support.brother.co.jp) でお使いの機種種のソフトウェアダウンロードページにアクセスしてください。



- 新しいテンプレートを転送するときは、現在使用されていないキー割り当て番号を (P-touch Transfer Manager で) 指定してください。指定したキー割り当て番号がすでに使用されている場合、既存のテンプレートが新しいテンプレートで上書きされます。
- この機能を利用するには、USB 接続が必要です。



- >> 管理者の作業
- >> ユーザーの作業

管理者の作業

- >> P-touch Transfer Express を準備する
- >> P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する
- >> テンプレートを転送パッケージファイル (PDZ) として保存する
- >> 転送パッケージファイル (PDZ) と P-touch Transfer Express を他のユーザーに配布する

P-touch Transfer Express を準備する

P-touch Transfer Express を使用する前に、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

1. パソコンの任意の場所に P-touch Transfer Express をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイル (ZIP) を解凍します。

P-touch Transfer Manager にテンプレートを転送する

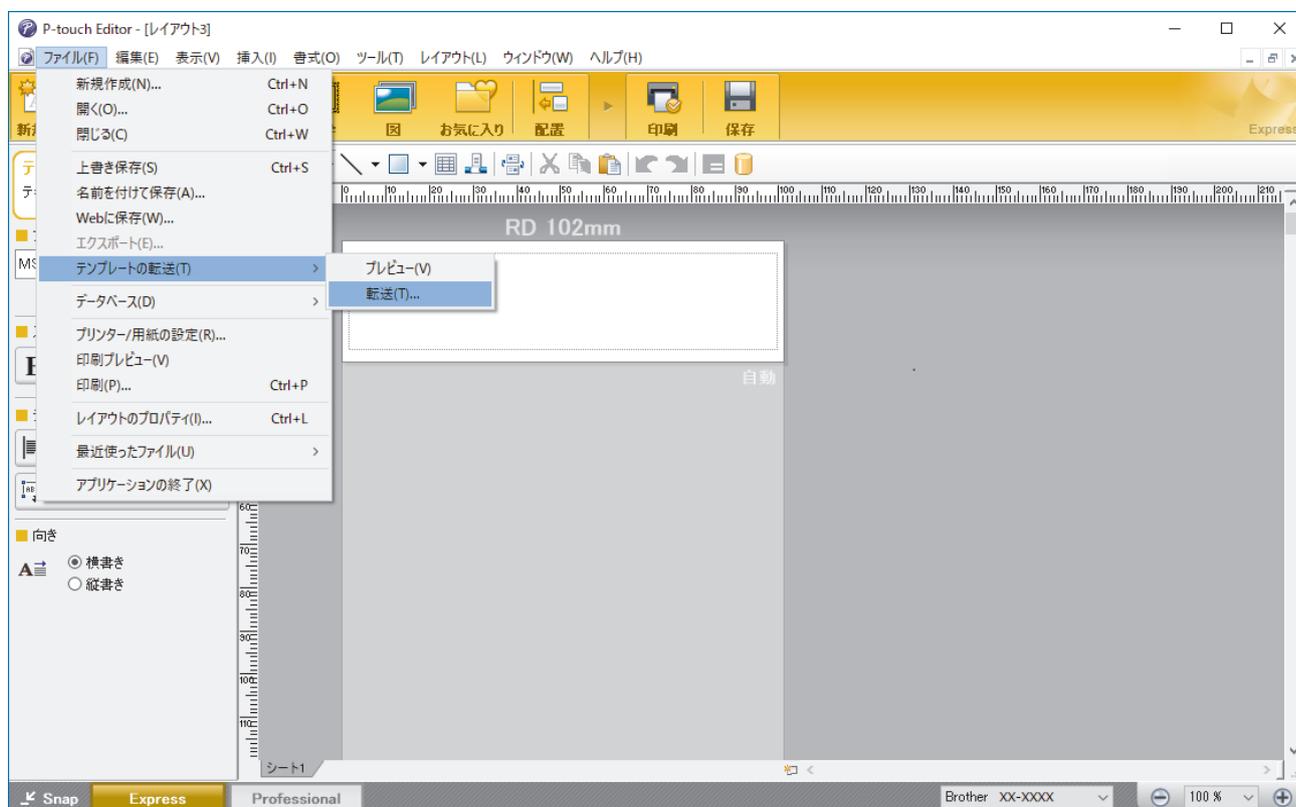
1. P-touch Editor  を起動します。
 - **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。
 - **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面上の P-touch Editor 5.2 アイコンをクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

- Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :

スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Editor 5.2 をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Editor 5.2 アイコンをダブルクリックします。

P-touch Editor が起動します。

2. テンプレートを開きます。
3. **ファイル > テンプレートの転送 > 転送**をクリックします。



テンプレートが P-touch Transfer Manager に転送されます。P-touch Transfer Manager が起動します。

テンプレートを転送パッケージファイル (PDZ) として保存する

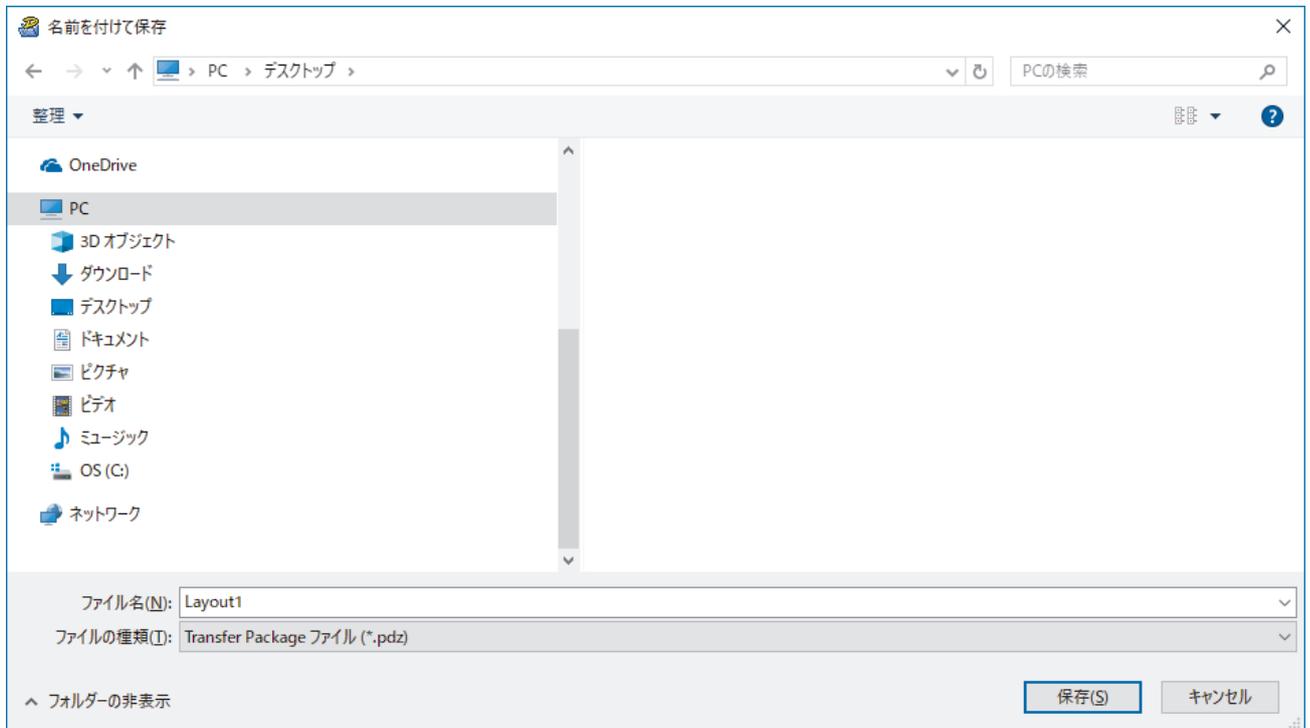
P-touch Transfer Express で使用可能な形式でファイルを作成するために、テンプレートを転送パッケージファイル (PDZ) として保存します。

1. P-touch Transfer Manager の画面で**転送用データセット**フォルダーを選択します。
2. 配布するテンプレートを選択します。
3. **ファイル > 転送ファイル保存**をクリックします。



- **転送ファイル保存**オプションは、プリンターがパソコンから切断されているか、オフラインの場合にのみ表示されます。
- **転送用データセット**フォルダーまたは作成したフォルダーを選択した後に**転送ファイル保存**オプションをクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートが転送パッケージファイル (PDZ) として保存されます。
- 複数のテンプレートをひとつの転送パッケージファイル (PDZ) にまとめることができます。

4. 名前を入力して、**保存**をクリックします。



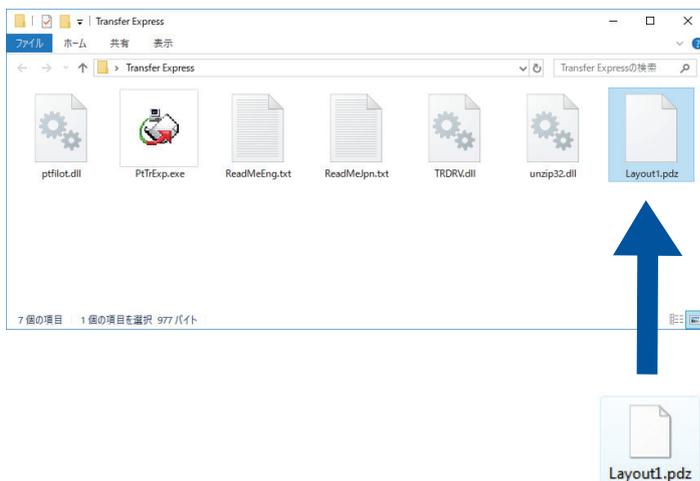
テンプレートが転送パッケージファイル（PDZ）として保存されます。

転送パッケージファイル（PDZ）と P-touch Transfer Express を他のユーザーに配布する



P-touch Transfer Express をすでにダウンロードしている場合、管理者が Transfer Express フォルダを送信する必要はありません。この場合、ユーザーは配布された転送パッケージファイルを、ダウンロードしたフォルダーに移動して、PtTrExp.exe をダブルクリックするだけで実行できます。

1. 転送パッケージファイル（PDZ）をダウンロードフォルダーに移動します。



2. ダウンロードフォルダー内のすべてのファイルを他のユーザーへ配布します。

ユーザーの作業

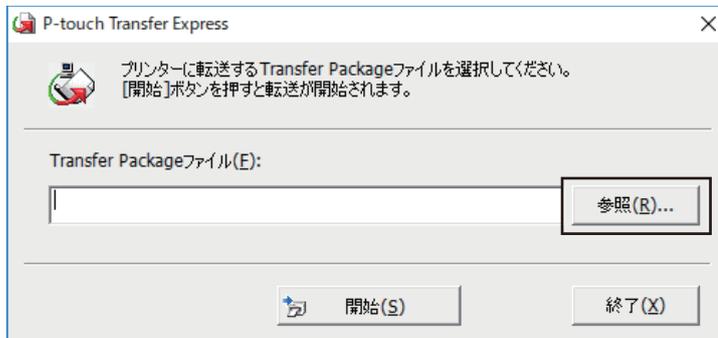
転送パッケージファイル（PDZ）をプリンターに転送する

管理者から受け取った P-touch Transfer Express を使用して、転送パッケージファイル（PDZ）をプリンターに転送できます。



テンプレートの転送中は、電源を切らないでください。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. USB ケーブルを使用して、プリンターをパソコンに接続します。
3. 管理者から受け取った **PtTrExp.exe** ファイルをダブルクリックします。
4. 以下のいずれかを行います。
 - **PtTrExp.exe** ファイルを含むフォルダー内に転送パッケージファイル (PDZ) がひとつあり、それを転送する場合は**開始**をクリックします。
 - **PtTrExp.exe** ファイルを含むフォルダー内に複数の転送パッケージファイル (PDZ) があり、それらを転送するには以下の操作を行います。
 - a. **参照**をクリックします。



- b. 転送する転送パッケージファイルを選択し、**開く**をクリックします。
 - c. **開始**をクリックします。
 - d. **はい**をクリックします。
5. 完了したら、**OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- [プリンターにテンプレートを転送する \(P-touch Transfer Manager\) \(Windows\)](#)

■ テンプレートを保存または管理する (P-touch Library)

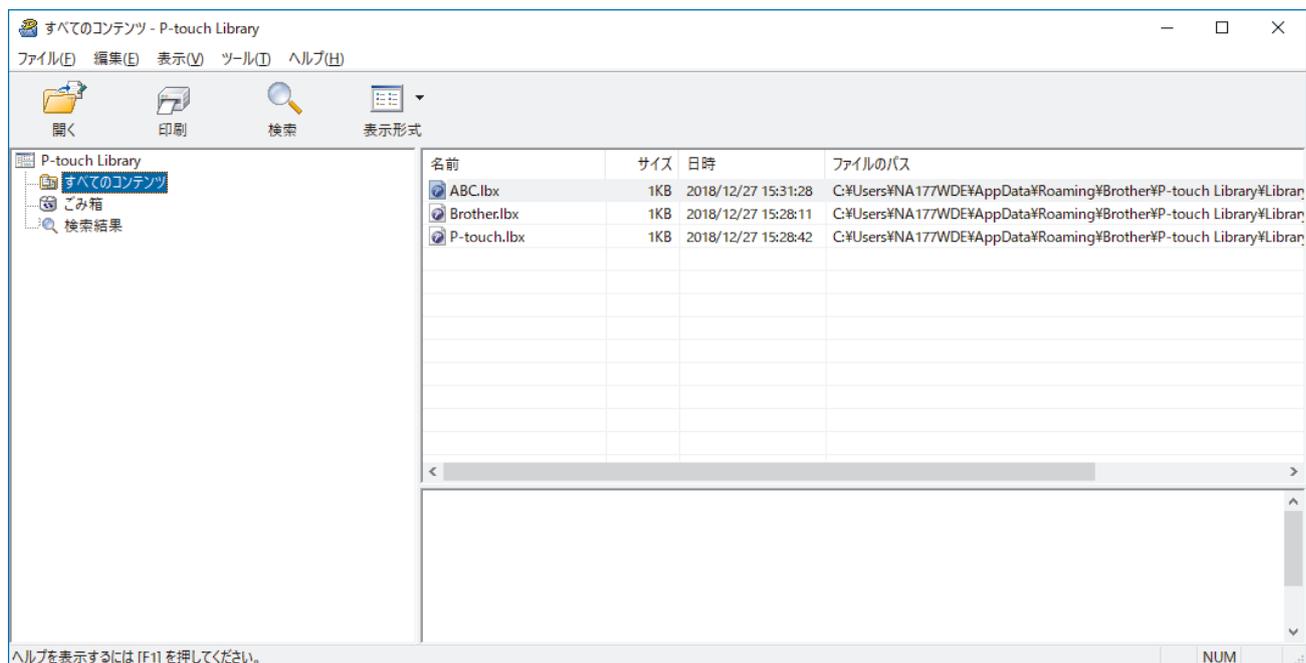
- P-touch Library を使用してテンプレートを編集する (Windows)
- P-touch Library を使用してテンプレートを印刷する (Windows)
- P-touch Library を使用してテンプレートを検索する (Windows)

P-touch Library を使用してテンプレートを編集する (Windows)

1. P-touch Library を開始します。

- **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother P-touch > P-touch Library 2.3 をクリックします。
- **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面の P-touch Library 2.3 アイコンをクリックします。
- **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch ツール > P-touch Library 2.3 をクリックします。

メイン画面が表示されます。



ツールバーアイコンの概要

アイコン	ボタン名	機能
	開く	選択したテンプレートを開きます。
	印刷	プリンターを使用して選択したテンプレートを印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートを検索できます。
	表示形式	ファイルの表示形式を変更します。

2. 編集するテンプレートを選択して、開くをクリックします。

テンプレートに関連付けられたプログラムが起動し、テンプレートを編集できるようになります。

✓ 関連情報

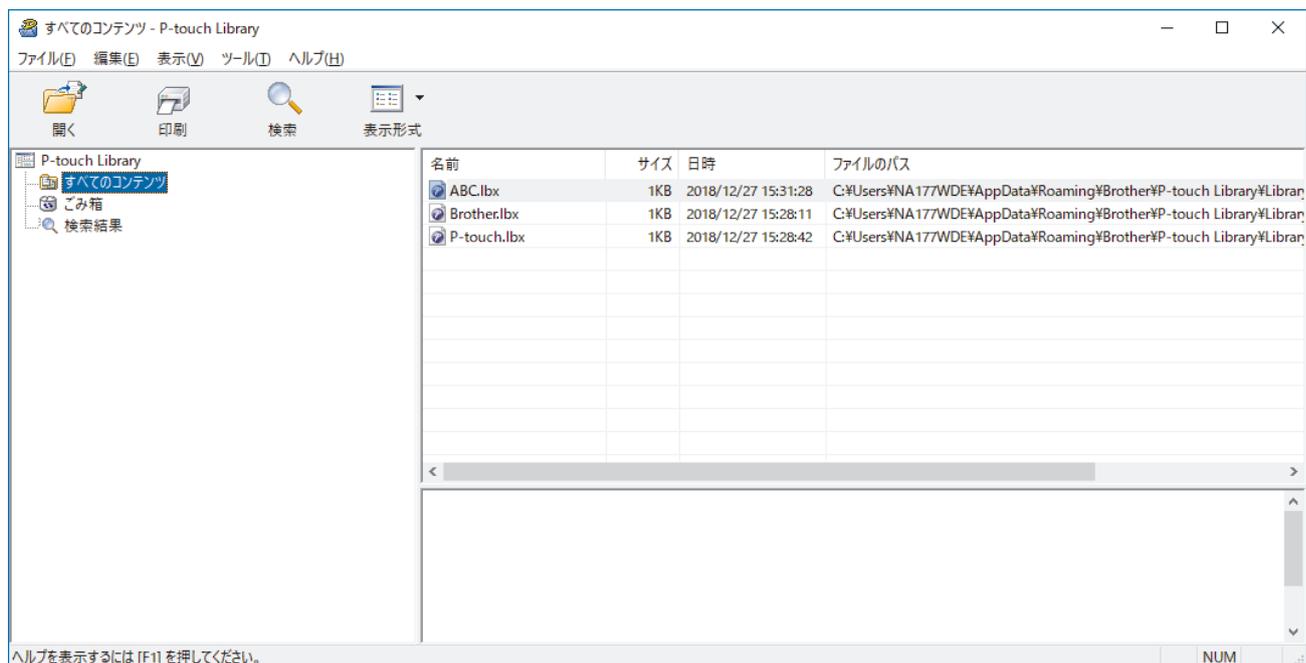
- [テンプレートを保存または管理する \(P-touch Library\)](#)

P-touch Library を使用してテンプレートを印刷する (Windows)

1. P-touch Library を開始します。

- **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother P-touch > P-touch Library 2.3 をクリックします。
- **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面の P-touch Library 2.3 アイコンをクリックします。
- **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch ツール > P-touch Library 2.3 をクリックします。

メイン画面が表示されます。



2. 印刷するテンプレートを選択して、**印刷**をクリックします。
接続されているプリンターでテンプレートが印刷されます。

✓ 関連情報

- [テンプレートを保存または管理する \(P-touch Library\)](#)

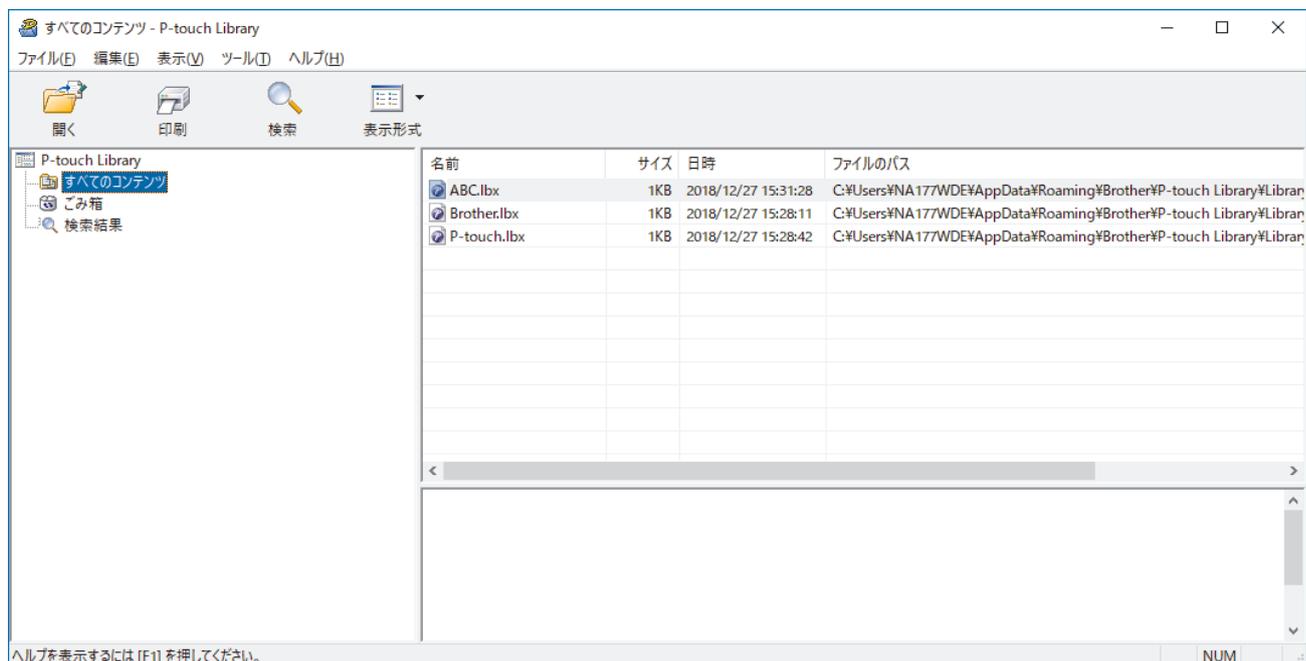
P-touch Library を使用してテンプレートを検索する (Windows)

P-touch Library に登録されているテンプレートを検索できます。

1. P-touch Library を開始します。

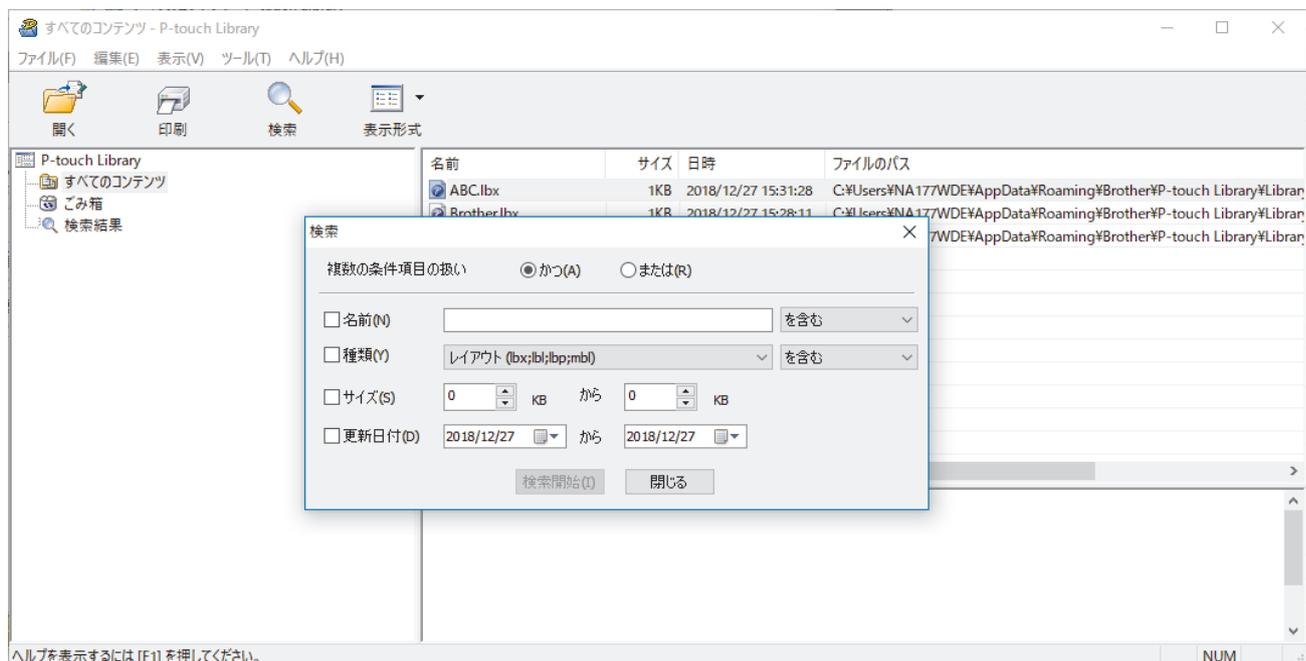
- **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother P-touch > P-touch Library 2.3 をクリックします。
- **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面の P-touch Library 2.3 アイコンをクリックします。
- **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch ツール > P-touch Library 2.3 をクリックします。

メイン画面が表示されます。



2. 検索をクリックします。

検索ダイアログボックスが表示されます。



3. 検索条件を指定します。
以下の検索条件を使用できます。

設定	詳細
複数の条件項目の扱い	複数の条件が指定されている場合に、どのように検索が行われるかを決定します。 かつ を選択すると、すべての条件を満たすファイルが検索されます。 または を選択すると、いずれかの条件を満たすファイルが検索されます。
名前	ファイルの名前を指定してテンプレートを検索します。
種類	ファイルの種類を指定してテンプレートを検索します。
サイズ	ファイルのサイズを指定してテンプレートを検索します。
更新日付	ファイルの日付を指定してテンプレートを検索します。

4. **検索開始**をクリックします。
検索が開始され、検索結果が表示されます。
5. **検索**ダイアログボックスを閉じます。
検索結果を確認するには、フォルダー表示で**検索結果**をクリックします。



テンプレートを**すべてのコンテンツ**フォルダーまたはフォルダー一覧にドラッグ&ドロップして、P-touch Library に登録できます。

✓ 関連情報

- [テンプレートを保存または管理する \(P-touch Library\)](#)

ネットワーク

- ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティーについて
- ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する

ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティーについて

ウェブブラウザによる設定

ウェブブラウザ設定は、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) またはセキュアソケットレイヤー (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザを使用するユーティリティーです。ご使用のウェブブラウザに本製品の IP アドレスを入力して、プリントサーバーの設定値の表示や変更を行います。

BRAdmin Light (Windows)

BRAdmin Light は、ネットワークに接続されたブラザー製プリンターの初期設定を行うためのユーティリティーです。このユーティリティーを使用して、ネットワーク上のブラザー製プリンターの検索、状態の表示、IP アドレスなどのネットワーク基本設定を行うことができます。

サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機器のソフトウェアダウンロードページを開き、BRAdmin Light をダウンロードします。



ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウィルスのソフトウェアを使用している場合は、一時的に無効にしてください。印刷できるようになったら、再度これらを有効にしてください。

BRAdmin Professional (Windows)

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されたブラザー製プリンターを詳細に管理するためのユーティリティーです。このユーティリティーを使用して、ネットワーク上のブラザー製プリンターを検索し、わかりやすい Windows Explorer スタイルの画面からプリンターの状態を確認できます。この画面では、各プリンターの状態を識別するために、色分けされています。LAN に接続された Windows パソコンから、ネットワークやプリンターの設定をしたり、プリンターのファームウェアを更新したりすることができます。BRAdmin Professional では、ネットワーク上にあるブラザー製プリンターのアクティビティを記録したり、記録データをエクスポートしたりすることもできます。

サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの機器のソフトウェアダウンロードページを開き、BRAdmin Professional ユーティリティーの最新版をダウンロードします。



- BRAdmin Professional の現在の画面にノード名が表示されます。
お買い上げ時のノード名は「BRWxxxxxxxxxxxx」または「BRNxxxxxxxxxxxx」です。(「xxxxxxxxxxxx」は、プリンターの MAC アドレス/イーサネットアドレスに基づいています)
- ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウィルスのソフトウェアを使用している場合は、一時的に無効にしてください。印刷できるようになったら、再度これらを有効にしてください。



関連情報

- ネットワーク

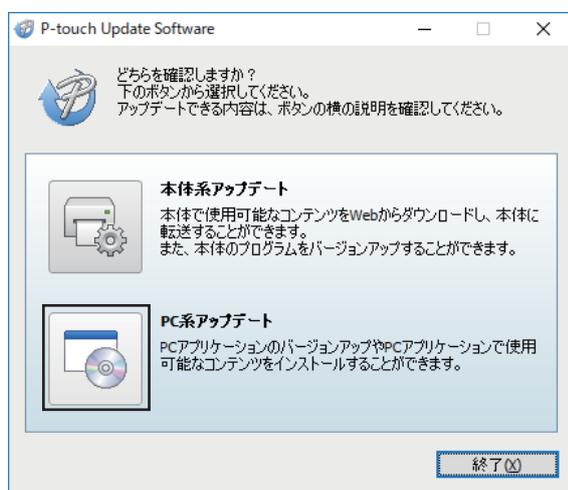
■ アップデート

- P-touch Editor をアップデートする (Windows)
- ファームウェアを更新する

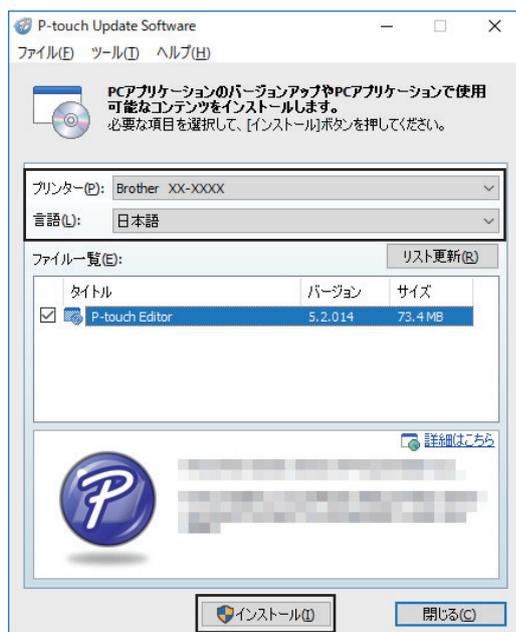
P-touch Editor をアップデートする (Windows)

P-touch Editor をアップデートする前に、プリンタードライバーをインストールしてください。

1. P-touch Update Software を起動します。
 - **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother P-touch > P-touch Update Software をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Update Software アイコンをダブルクリックします。
 - **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面上的 P-touch Update Software アイコンをクリックするか、デスクトップ上の P-touch Update Software アイコンをダブルクリックします。
 - **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Update Software をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Update Software アイコンをダブルクリックします。
2. PC 系アップデートアイコンをクリックします。



3. プリンターおよび言語オプションを選択し、P-touch Editor の横にあるチェックボックスを選択して、インストールをクリックします。



完了したら、確認のダイアログが表示されます。



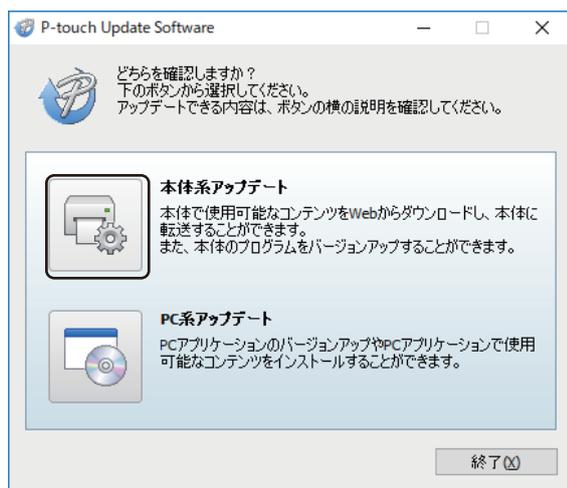
関連情報

- アップデート

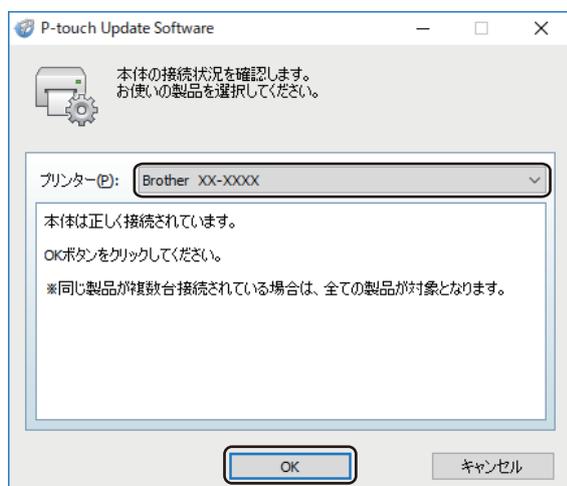
ファームウェアを更新する

- ファームウェアを更新する前に、プリンタードライバーをインストールする必要があります。
- データの転送中やファームウェアの更新中に、電源を切らないでください。
- 別のアプリケーションを実行している場合は終了させてください。

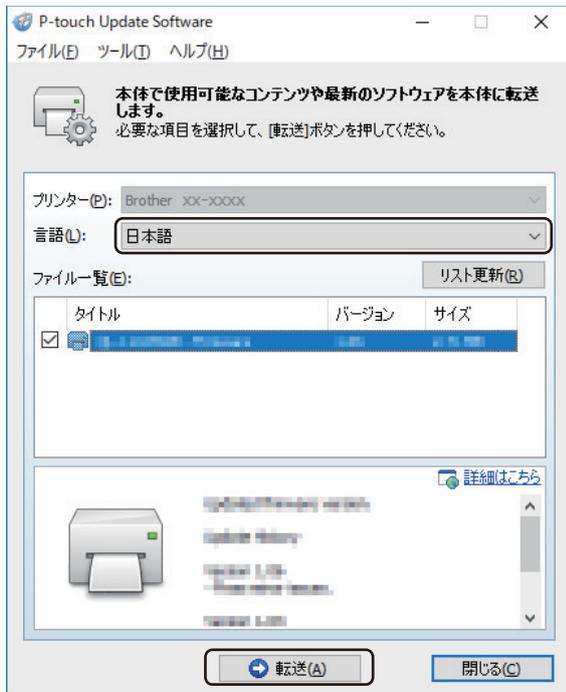
1. プリンターの電源をオンにして、USB ケーブルを接続します。
2. P-touch Update Software を起動します。
 - **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother P-touch > P-touch Update Software をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Update Software アイコンをダブルクリックします。
 - **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面上的 P-touch Update Software アイコンをクリックするか、デスクトップ上の P-touch Update Software アイコンをダブルクリックします。
 - **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother P-touch > P-touch Update Software をクリックするか、デスクトップ上の P-touch Update Software アイコンをダブルクリックします。
3. 本体系アップデートアイコンをクリックします。



4. プリンターオプションを選択し、本製品が正しく接続されていることを確認して、OK をクリックします。



5. 言語オプションを選択し、更新するファームウェアの横にあるチェックボックスを選択して、転送をクリックします。



お願い

データ転送中に、プリンターの電源をオフにしたり、ケーブルを切断したりしないでください。

- 更新する内容を確認し、**開始**をクリックして更新を開始します。
ファームウェアの更新が始まります。

お願い

更新の処理中に、プリンターの電源をオフにしたり、ケーブルを切断したりしないでください。

✓ 関連情報

- アップデート

プリンターの設定

- プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)
- 複数のプリンターに設定の変更を適用する (Windows)
- ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する
- プリンターの設定を確認する
- プリンターを使用してプリンター設定を変更する

プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)

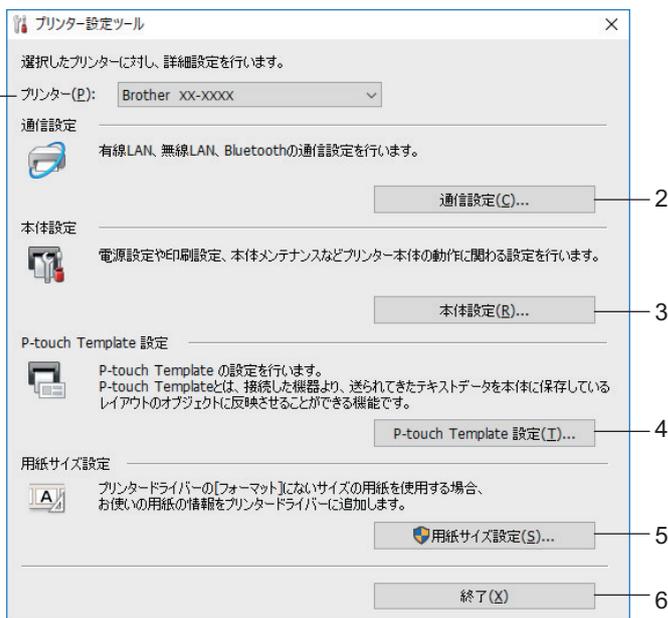
- AC アダプターがプリンターに接続されていること、AC 電源コードが AC 電源コンセントに接続されていることを確認してください。
- プリンタードライバーが正しくインストールされ、印刷できることを確認してください。
- USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続します。



- プリンター設定ツールはインストーラーを使用すると、プリンタードライバーなどの他のソフトウェアと同時にインストールされます。
- プリンター設定ツールは、対応したブラザーのプリンターでのみ使用できます。

1. 設定するプリンターをパソコンに接続します。
2. プリンター設定ツールを起動します。
 - **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother > Printer Setting Tool をクリックします。
 - **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面の Printer Setting Tool アイコンをクリックします。
 - **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother > Label & Mobile Printer > Printer Setting Tool をクリックします。

メイン画面が表示されます。



1. プリンター

接続されているプリンターの一覧を表示します。

2. 通信設定

有線 LAN、無線 LAN、Bluetooth の通信設定を指定します。

3. 本体設定

本体の設定を行います。例：電源設定。

4. P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を指定します。

詳細については「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

5. 用紙サイズ設定

プリンタードライバの**用紙サイズ**一覧にない用紙サイズを使用する場合に、用紙情報と設定をプリンタードライバに追加します。

お願い

用紙サイズ設定を開くには、管理者権限でログオンする必要があります。

6. 終了

画面を閉じます。

3. **プリンター**の横に、設定するプリンターが表示されていることを確認します。
別のプリンターが表示されている場合は、ドロップダウンリストから目的のプリンターを選択します。
4. 変更する設定を選択し、ダイアログボックスで設定を指定または変更します。
5. **設定**をクリックして、プリンターに設定を適用します。
6. メイン画面の**終了**をクリックして設定の指定を終了します。



プリンターがアイドル状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してプリンターを設定します。印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとすると、誤作動する可能性があります。



関連情報

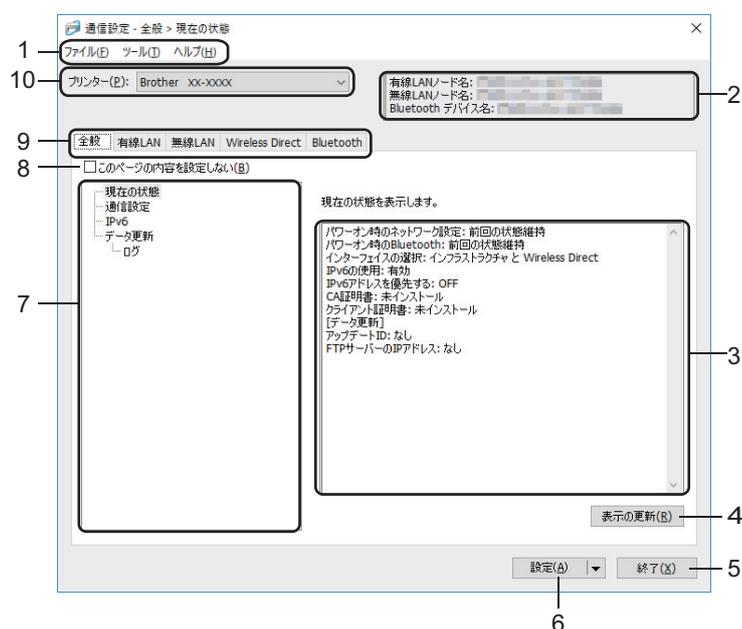
- [プリンターの設定](#)
 - [プリンター設定ツールの通信設定 \(Windows\)](#)
 - [プリンター設定ツールの本体設定 \(Windows\)](#)
 - [プリンター設定ツールの P-touch Template 設定 \(Windows\)](#)
 - [プリンター設定ツールの用紙サイズ設定 \(Windows\)](#)

プリンター設定ツールの通信設定 (Windows)

プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth で接続するときに、プリンター設定ツールの通信設定を使用してプリンターの通信情報を指定または変更します。1台のプリンターの通信設定を変更できるだけでなく、複数のプリンターに同じ設定を適用することもできます。

- >> 設定ダイアログボックス
- >> メニューバー
- >> 全般タブ
- >> 有線 LAN/無線 LAN タブ
- >> Wireless Direct タブ (TD-4550DNWB)
- >> Bluetooth タブ (TD-4550DNWB)

設定ダイアログボックス



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（ファイル、ツール、ヘルプメニュー）の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. ノード名

ノード名を表示します（ノード名は変更できます）。

3. 設定表示/変更エリア

選択した項目の現在の設定を表示します。

4. 表示の更新

表示された設定を最新の情報に更新します。

5. 終了

通信設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。



設定の変更後、**設定**ボタンをクリックせずに**終了**をクリックすると、プリンターに設定が適用されません。

6. 設定

プリンターに設定を適用します。指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。



設定をクリックすると、すべてのタブの全設定がプリンターに適用されます。このページの内容を設定しないチェックボックスを選択した場合、設定は適用されません。

7. 項目

現在の状態メニューを選択すると、現在の設定が設定表示/変更エリアに表示されます。変更する設定項目を選択します。

8. このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

 が表示されているタブの設定は、設定をクリックしてもプリンターに適用されません。また、**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。プリンターに設定を適用するには、またはその設定を保存あるいはエクスポートするには、このチェックボックスの選択を解除してください。

9. 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。タブに  が表示されている場合、その設定はプリンターに適用されません。

10. プリンター

接続されているプリンターの一覧を表示します。

メニューバー

ファイルメニューオプション

• プリンターへ設定する

プリンターに設定を適用します。

• 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定内容をコマンドファイルに保存します。ファイルの拡張子は「BIN」です。保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。



- このページの内容を設定しないチェックボックスが選択されている場合、設定は保存されません。
- 以下の情報はコマンドファイルに保存されません。
 - ノード名
 - IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ（IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合）
- 保存された通信設定コマンドは、プリンターに設定を適用する場合にのみ使用されます。このコマンドファイルを使用してプリンターに設定を適用するには、マストレージモードを使用します。
- 保存されたコマンドファイルには、認証キーとパスワードが含まれています。他のユーザーがアクセスできない場所に保存するなど、保存したコマンドファイルを保護するために必要な対策を講じてください。
- コマンドファイルを異なる機種プリンターに送信しないでください。

• 証明書のインストール

一部のネットワーク認証方式では、証明書が必要な場合があります。

接続されているプリンターに証明書をインストールするか、同じ機種プリンターに配布できるコマンドファイルとして証明書を保存してください。

• インポート

- 現在の PC 無線設定からインポートする

パソコンから設定をインポートします。



- パソコンの無線設定をインポートするときは、パソコンの管理者権限が必要です。
- パーソナルセキュリティー認証設定（オープンシステム、公開鍵認証、WPA/WPA2-PSK）のみインポートできます。エンタープライズセキュリティー認証（EAP-FAST など）、WPA2-PSK (TKIP)、WPA-PSK (AES)設定はインポートできません。
- お使いのパソコンで複数の無線 LAN が有効になっている場合、最初に検出された無線 LAN 設定（個人設定のみ）がインポートデータとして考慮されます。
- **無線 LAN** タブの**無線設定**の設定のみインポートできます（接続モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）。

- プロファイルを選択してインポートする

エクスポートされたファイルをインポートし、その設定をプリンターに適用します。**参照**をクリックし、インポートするファイルを選択します。選択したファイルの設定が設定表示/変更エリアに表示されます。



- ノード名を除いて、すべての設定をインポートできます。
- 選択したプリンターに対応したプロファイルのみをインポートできます。
- インポートされたプロファイルの IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合は、ネットワーク上の既存の構成済みプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて、インポートされたプロファイルの IP アドレスを変更してください。

• エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。**このページの内容を設定しない**チェックボックスが選択されている場合、設定は保存されません。



エクスポートされたファイルは暗号化されていません。

ツールメニューオプション

• オプション設定

- 適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスを選択すると、通信設定が適用された後、プリンターが自動的に再起動します。このチェックボックスを選択していない場合、プリンターを手動で再起動する必要があります。



複数のプリンターを設定する場合、このチェックボックスの選択を解除することで、設定変更に必要な時間を短縮することができます。この場合、各設定が意図したとおりに動作していることを確認できるように、最初のプリンターを設定するときはこのチェックボックスを選択することをお勧めします。

- プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスを選択した場合、プリンターがパソコンに接続されると自動的に検出され、現在の設定値が**現在の状態**項目に表示されます。



接続されているプリンターが**プリンタードロップダウンリスト**に表示されているプリンターと異なる場合、すべてのタブで使用できる設定が、接続されているプリンターと一致するように変更されます。

• ノード名/Bluetooth デバイス名の変更

ノード名と Bluetooth 機器名を変更できます。

• 通信設定を工場出荷時に戻す

通信設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ヘルプメニューオプション

• ヘルプの表示

ヘルプのトピックを表示します。

全般タブ

通信設定

• パワーオン時のネットワーク設定

プリンターの電源がオンになったときに、ネットワーク経由で接続するための条件を指定します。**常に無線 LAN**、**常に有線 LAN**、または**前回の状態維持**のオプションを選択します。

- **インターフェイスの選択**
インフラストラクチャ、インフラストラクチャ と Wireless Direct、または Wireless Direct のオプションを選択します。
- **パワーオン時の Bluetooth**
プリンターの電源がオンになったときに、Bluetooth 経由で接続するための条件を指定します。常に ON、常に OFF、または前回の状態維持のオプションを選択します。

IPv6

- **IPv6 の使用**
有効または無効を選択します。
- **IPv6 アドレスを優先する**
IPv6 アドレスを優先するように選択します。

データ更新

- **FTP サーバーの IP アドレス**
FTP サーバーのアドレスを入力します。
- **ポート番号**
FTP サーバーへのアクセスに使用するポート番号を指定します。
- **ユーザー名**
FTP サーバーへのログイン権限を持つユーザー名を入力します。
- **パスワード**
ユーザー名欄に入力したユーザー名のパスワードを入力します。
- **取得先パス**
ダウンロードしたい更新ファイルがある FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
- **設定ファイル名**
FTP サーバーにある更新ファイル名を指定します。

ログ

- **ログ出力**
更新ログを FTP サーバーにエクスポートするかどうかを選択します。
- **FTP サーバーの出力先パス**
ログデータをエクスポートしたい FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。

有線 LAN/無線 LAN タブ

TCP/IP

- **IP アドレスの設定**
AUTO、BOOTP、DHCP、RARP、または STATIC オプションを選択します。
- **IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス**
さまざまなネットワーク値を指定します。これらの設定は、IP アドレスが STATIC に設定されている場合にのみ入力できます。
- **DNS サーバーの設定**
AUTO または STATIC オプションを選択します。
- **プライマリ DNS サーバーアドレス/セカンダリ DNS サーバーアドレス**
これらの設定は、DNS サーバーが STATIC に設定されている場合にのみ入力できます。

IPv6

- **固定 IPv6 アドレス**
固定 IPv6 アドレスを指定します。
- **このアドレスを有効にする**
指定された固定 IPv6 アドレスを有効にします。

- **プライマリ DNS サーバー IPv6 アドレス/セカンダリ DNS サーバー IPv6 アドレス**
DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定します。
- **IPv6 アドレスリスト**
IPv6 アドレスの一覧を表示します。

有線 802.1x 認証

IEEE 802.1x 認証を設定します。

- **有線 802.1x**
有線 LAN ネットワークの IEEE 802.1x 認証を有効または無効にします。
- **認証方式**
認証方式を選択します。
- **ユーザー ID/パスワード**
EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。さらに、EAP-TLS ではパスワードを登録する必要はありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、ウェブブラウザからプリンターに接続し、証明書を指定します。認証証明書のインストールは、プリンター設定ツールのメニューバー：**ファイル > 証明書のインストール**から実行することもできます。

無線設定

- **接続モード**
通信モードを表示します。
- **SSID(ネットワーク名)**
検索をクリックすると、利用可能な SSID が別のダイアログボックスに表示されます。
- **チャンネル**
選択したチャンネルが自動的に表示されます。
- **認証方式/暗号化方式**
認証方式でサポートされている暗号化方式は、以下の一覧表のとおりです。

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし/WEP
共有キー	WEP
WPA/WPA2-PSK	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES/AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
PEAP/GTC	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES/AES
EAP-TLS	TKIP+AES/AES



より高いレベルのセキュリティ設定を指定するには：EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS 認証方式で証明書検証を実行する場合、プリンター設定ツールで証明書を指定することはできません。プリンターをネットワークに接続するように設定した後に、ウェブブラウザからプリンターにアクセスして証明書を指定します。認証証明書のインストールは、プリンター設定ツールのメニューバー：**ファイル > 証明書のインストール**から実行することもできます。

- **WEP キー**

WEP が暗号化方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

- **PSK (事前共有キー)**

WPA/WPA2-PSK が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

- **ユーザー ID/パスワード**

EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。さらに、EAP-TLS ではパスワードを登録する必要はありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、ウェブブラウザからプリンターに接続し、証明書を指定します。

- **キーとパスワードを画面に表示する**

このチェックボックスを選択すると、キーとパスワードがプレーンテキスト（暗号化されていないテキスト）で表示されます。

Wireless Direct タブ (TD-4550DNWB)

Wireless Direct 設定

- **SSID/ネットワークキーの生成**

AUTO または STATIC オプションを選択します。

- **SSID(ネットワーク名)/ネットワークキー**

Wireless Direct モードで使用する SSID (アスキー 25 文字以下) とネットワークキー (63 文字以下) を指定します。



- お買い上げ時の SSID とパスワードは次のとおりです。

- SSID : "DIRECT-*****_TD-4550DNWB"。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。
- パスワード : 455*****。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。

- **チャンネル**

Wireless Direct モードに使用するチャンネルを指定します。

Bluetooth タブ (TD-4550DNWB)

Bluetooth 設定

制御モード

Bluetooth が有効なときに制御モードを選択します。

クラシック

- **他のデバイスからの検索**

他の Bluetooth 機器によってプリンターが「検出」されることを許可します。

- **PIN コードを変更する**

PIN を変更します。

- **PIN コードを画面に表示する**

パソコンに PIN を表示します。

- **ペアリング時に本体キーの操作を要求する**

クラシック Bluetooth モード使用時にこのチェックボックスを選択すると、Bluetooth 2.1 以降を実行する機器とペアリングする際にプリンターのボタン操作が必要になります。

- **自動再接続**

以前に接続した Apple 製品 (iPad、iPhone、または iPod touch) と自動的に再接続するかどうかを設定します。

Low Energy

- **最小セキュリティ**

Low Energy のみモード使用時の最小セキュリティーレベルを選択します。

- **ペアリング時に本体キーの操作を要求する**

Low Energy のみモード使用時にこのチェックボックスを選択すると、Low Energy 互換機器とペアリングする際にプリンターのボタン操作が必要になります。

関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)
-

プリンター設定ツールの本体設定 (Windows)

プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth (使用可能な機種のみ) で接続するときに、プリンター設定ツールの本体設定を使用して、プリンターの設定を指定または変更します。1 台のプリンターの本体設定を変更できるだけでなく、同じ設定を複数のプリンターに適用することもできます。パソコンのアプリケーションから印刷する場合、プリンタードライバからさまざまな印刷設定を指定できますが、プリンター設定ツールの本体設定ツールを使用すれば、より詳細な設定を行うことができます。**本体設定**画面を開くと、プリンターの現在の設定が取得されて表示されます。現在の設定を取得できない場合、以前の設定が表示されます。現在の設定を取得できず、以前の設定が指定されていなかった場合、プリンターのお買い上げ時の設定が表示されます。

- >> 設定ダイアログボックス
- >> メニューバー
- >> 基本設定タブ
- >> 拡張設定タブ
- >> 印字位置 / センサータブ
- >> 画面設定タブ (TD-4550DNWB)
- >> 管理設定タブ

設定ダイアログボックス



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル (ファイル、メンテナンス、バージョン情報メニュー) の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. 現在値を取得

現在接続されているプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。🔧🚫 がついたタブのパラメーター設定も取得されます。

3. このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに 🔧🚫 が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

🔧🚫 が表示されているタブの設定は、**設定**をクリックしてもプリンターに適用されません。また、**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

4. パラメーター

現在の設定を表示します。

5. 終了

本体設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

6. 設定

プリンターに設定を適用します。指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。

保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。

7. 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。



タブに  が表示されている場合、設定を変更することはできません。また、**設定**をクリックしても、タブの設定はプリンターに適用されません。**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

8. プリンター

設定するプリンターを指定します。

メニューバー

ファイルメニューオプション

- **プリンターへ設定する**

プリンターに設定を適用します。

- **設定の確認**

現在の設定を表示します。

- **設定内容をコマンドファイルに保存する**

指定した設定内容をコマンドファイルに保存します。

- **インポート**

エクスポートされたファイルをインポートします。

- **エクスポート**

現在の設定をファイルに保存します。

- **終了**

本体設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

メンテナンスメニューオプション



一部の項目を表示するには、パソコンまたはプリンターの管理者権限を持っている必要があります。プリンターに対して管理者権限を持っているかどうかを確認するには、**プリンターのプロパティ**メニューをクリックしてから、**セキュリティ**タブをクリックします。

- **印刷履歴をファイルに保存する**

印刷ログを CSV 形式でファイルに保存します。

- **本体設定印刷**

現在のファームウェアバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。



このレポートを印刷するときは、62mm 以上の幅の RD ロールを使用することをお勧めします。

- **印字ヘッドの状態を確認する**

印字ヘッドに問題がないかをチェックします。

- **工場出荷状態に戻す**

本体設定、転送されたデータ、ネットワーク設定を含むすべての設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

- **本体設定のみを工場出荷設定に戻す**

本体設定で変更された設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

- **テンプレートとデータベースの内容を削除する**

プリンターに保存されているテンプレートとデータベースを削除します。

- **印刷履歴を削除する**

プリンターに保存されている印刷ログを削除します。

- **オプション設定**

起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しないチェックボックスを選択すると、次回はメッセージが表示されなくなります。

基本設定タブ

- **自動電源オン**

AC 電源コードを AC 電源コンセントに差し込んだときに、プリンターの電源が自動的にオンになるかどうかを指定します。

- **オートスリープ**

プリンターが自動的にスリープモードになるまでの時間を指定します。



- 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、プリンターは自動的にスリープモードになります。
 - プリンターがデータを受信しない。
 - LAN ケーブルが接続されていない。
 - アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。
 - USB ホストポートに機器が接続されていない場合。
 - シリアルポートで通信を行っていない場合。
- 下記の操作が行われると、スリープモードが解除されます。
 - プリンターのいずれかのボタンが押される。
 - ロールカバーが開け閉めされる。
 - プリンターがデータを受信する。(シリアルポート経由を除く)
 - USB ケーブルが抜き差しされる。

- **オートパワーオフ**

AC 電源コンセントに接続されているときに、プリンターの電源が自動的にオフになるまでの時間を指定します。



- 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、プリンターは自動的にパワーオフモードになります。
 - プリンターがデータを受信しない。
 - LAN ケーブルが接続されていない。
 - アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。
 - USB ホストポートに機器が接続されていない場合。
 - シリアルポートで通信を行っていない場合。
- 下記の操作が行われると、パワーオフモードが解除されます。
 - プリンターのいずれかのボタンが押される。
 - ロールカバーが開け閉めされる。
 - プリンターがデータを受信する。(シリアルポート経由を除く)
 - USB ケーブルが抜き差しされる。

- **印刷の向き**

印刷の向きを選択します。

- **印刷速度**

プリンターの印刷速度を選択します。

- **印刷の濃さ**
プリンターの印字濃度を選択します。
- **カバークローズ時の用紙先端合わせ**
カバーが閉じられると用紙が自動的に給紙されるかどうかを選択します。
- **発行方式**
用紙の排紙先を選択します。
- **カット設定**
複数のラベルを印刷する場合のカット方法を設定します。
- **速度自動調整モード**
印刷速度を自動的に調整し、最適な印字濃度で印刷します。

拡張設定タブ

- **フィードキー機能設定**
が押されたときに実行される操作を選択します。**プログラム設定**が選択されている場合は、**ファイル**をクリックし、コマンドファイルを選択します。
- **本体情報を印刷する**
プリンターの情報レポートに含める情報を選択します。
- **JPEG 印刷設定**
JPEG 画像を印刷するときの画像処理方法を選択します。
- **連番モード**
印刷するラベルを連番にする（ナンバリング）方法を指定します。
- **本体の印刷履歴保存**
プリンターの印刷ログを保存するかどうかを選択します。**無効**を選択すると、**印刷履歴をファイルに保存するオプション**は使用できなくなります。
- **印刷後の印字データ**
印刷後に印刷データを消去するかどうかを指定します。

印字位置 / センサータブ

RD ロールが使用されている場合、センサーを調整する必要はありません。

- **印字基点補正**
基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、プリンター機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。
ラスタ印刷の場合、基準点を調整することはできません。
- **ティアバー位置補正**
ティアバーの用紙カット位置を調整します。
- **用紙センサー(透過型/ギャップ)**
 - **セパレーター検出レベル補正**
プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）検知感度を調整します。
 - **発光量の補正**
透過型/ギャップセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー(反射型/バー)**
 - **黒マーク検出レベル補正**
黒マーク検出の感度を調整します。
 - **発光量の補正**
反射型/黒マークセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー(ハクリ)**

ハクリユニット（オプション）が使用されている場合の設定を指定します。

- **ハクリ検出レベル補正**

ラベルが剥離されたかどうかを検出するセンサーの精度を調整します。

画面設定タブ（TD-4550DNWB）

• **時計設定**

日時を設定します。

• **画面の濃さ**

画面のコントラストを設定します。

• **消灯までの時間**

プリンターが使用されていない場合にバックライトをオフにするまでの経過時間を設定します。

• **テンプレートモード**

プリンターを P-touch Template モードで動作させるかどうかを指定します。

P-touch Template モードでは、以前に設定したテンプレートを使用して、テキストだけを入力してラベルを印刷することができます。

• **印刷前の確認**

印刷枚数を確認できるように、印刷前にメッセージを表示させるかどうかを指定します。

• **印刷枚数初期値**

印刷枚数の初期値を指定します。

• **QR コードデータ**

好みのテキストやウェブページを紐づけた QR コードデータを作成し、プリンターの画面に表示します。表示された QR コードを携帯端末で読み取って、情報を取得できます。

管理設定タブ



このタブを表示するには、パソコンまたはプリンターに対する管理者権限を持っている必要があります。プリンターに対して管理者権限を持っているかどうかを確認するには、**プリンターのプロパティメニュー**をクリックしてから、**セキュリティタブ**をクリックします。

• **日時表示有無**

プリンターの画面に日時を表示するかどうかを選択します。

• **単位**

初期単位を指定します。

• **言語**

画面に表示される言語を指定します。

• **Bluetooth/WLAN 完全無効モード**

Bluetooth または Wi-Fi のインターフェイスを無効にすることができます。この機能は、信号の送信が許可されていない場所でプリンターを使用する場合に便利です。

• **設定キー禁止**

メニュー設定をロックして、変更できないようにします。

• **管理パスワード**

管理者モードを設定する場合は、**オン**を選択します。メニュー設定を変更するために必要となる 4 桁のパスワードを設定します。

• **コマンド系**

コマンドモードの種類を選択します。

• **日付形式**

時計の日付形式を選択します。

• **時刻形式**

時計の時間形式を選択します。

- **電源 ON 時ヘッドチェック**

プリンターの電源をオンにしたときに印字ヘッドの状態をチェックするかどうかを設定します。



関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)
-

プリンター設定ツールの P-touch Template 設定 (Windows)

P-touch Template モードでは、プリンターに接続されたその他の機器を使用して、ダウンロードしたテンプレートからテキストやバーコードオブジェクトにデータを挿入できます。ご利用できるオプションや付属品は国によって異なる場合があります。プリンター設定ツールの P-touch Template 設定を使用して、P-touch Template の機能を指定または変更します。



- P-touch Template モードは、測量機、試験機、コントローラー、プログラマブルロジック機器など、その他の入力機器とも互換性があります。
- P-touch Template 設定の詳細については「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

1 コマンドモード(E): P-touch Template

2 テンプレート番号初期値(T): 1

3 区切り記号(C): ¥09

4 印刷開始トリガ

● 印刷開始コマンド文字列(O): ^FF

○ すべてのオブジェクトのデータ取得後(U)

○ 指定データサイズ受け取り後(U): 10 バイト

5 文字コードセット(H): JIS X 0201

6 国際文字(N): Japan

7 プレフィックス文字(U): ^

8 読み捨て文字列(U):

9 改行コード(H): ^CR

10 FNC1置換(L)

印刷オプション

11 印刷枚数(E): 1

12 オートカット(A): 1 枚ごとにカット 最後をカット(U)

13 180度回転(S)

14 通信設定(M)...

既定値に戻す(D)

設定(S)

キャンセル

17

16

1. コマンドモード

P-touch Template モードを初期モードとして指定します。モードを変更するには、**本体設定画面の管理設定** タブにアクセスしてモードを選択します。

2. テンプレート番号初期値

プリンターがオンになったときに設定されるテンプレート番号の初期値を指定します。テンプレートをプリンターに転送したくない場合は、テンプレート番号を指定しないでください。

3. 区切り記号

ファイル内のデータのグループ間の境界を示す記号を表示します (最大 20 文字)。

4. 印刷開始トリガ

印刷を開始するトリガーを複数のオプションから指定します。

- **印刷開始コマンド文字列** : ここで指定したコマンド文字を受信すると、印刷を開始します。
- **すべてのオブジェクトのデータ取得後** : 最後のオブジェクトの区切り文字を受信すると、印刷を開始します。

- **指定データサイズ受け取り後**：ここで指定した文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は文字数に含まれません。

5. 文字コードセット

いずれかの文字コードセットを選択します。

6. 国際文字

特定の地域用の文字セットの一覧を表示します。次のコードは、選択した国によって異なります。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

文字を変更するには「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

7. プレフィックス文字

P-touch Template モードで使用されるコマンドを識別する接頭文字コードを指定します。

8. 読み捨て文字列

ここで指定した文字は、データが受信されても印刷されません (最大 20 文字)。

9. 改行コード

改行コードは、後続のデータをテキストオブジェクトの次の行に移動する必要があることを示すために、データを送るときに使用されます。4 つの改行コードのいずれかを選択するか、好みの改行コードを入力します (最大 20 文字)。

10. FNC1 置換

GS コードを FNC1 に置き換えます。

11. 印刷枚数

印刷枚数を設定します (最大 99 枚)。

12. カット設定

プリンターでラベルをカットするかどうか、およびカット前に印刷されるラベルの数を指定します (最大 99 枚)。

13. 180 度回転

このチェックボックスを選択すると、データを 180 度回転させた後印刷します。

14. 通信設定

シリアル通信のパラメーターを設定します。

15. 既定値に戻す

P-touch Template 設定ダイアログボックス内のすべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。

16. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定は変更されません。

17. 設定

プリンターに設定を適用します。将来再利用できるように、指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。

保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。

✓ 関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [USB インターフェイスを使用して印刷する \(マストレージモード\)](#)

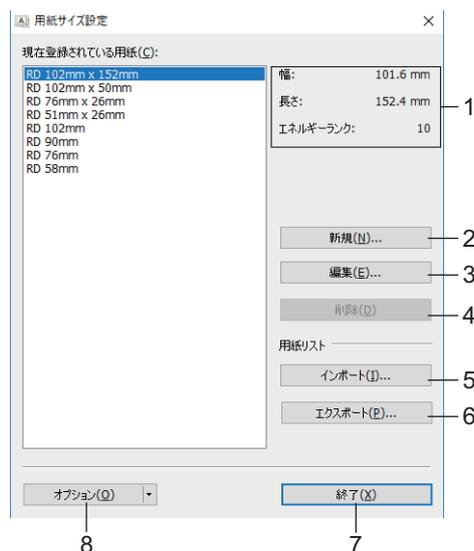
プリンター設定ツールの用紙サイズ設定 (Windows)

プリンター設定ツールの用紙サイズ設定を使用すると、プリンタードライバーの用紙サイズ一覧にない用紙サイズを追加できます。

使用可能な用紙サイズ以外の用紙サイズで印刷する前に、新しい用紙サイズをプリンターに送信して登録する必要があります。

プリンターに登録されていない用紙サイズを使用して印刷すると、意図した印刷結果を得られないことがあります。

用紙サイズ設定ダイアログボックス



1. 現在の設定

選択した用紙形式の現在の設定が表示されます。

2. 新規

このボタンをクリックすると、**新規**ダイアログボックスが表示され、新しい用紙サイズを登録できます。

お願い

登録済みのもと同じ用紙サイズは登録しないでください。意図しない印刷結果になることがあります。現在登録されているものと同じサイズの用紙を使用するには、**用紙サイズ設定**ダイアログボックスの**現在登録されている用紙**一覧から必要なサイズを選択し、**編集**ダイアログボックスで設定を変更および上書きしてください。

3. 編集

選択した用紙形式の設定を編集します。

選択した用紙形式を新しい設定で保存する場合は、**上書き**をクリックします。新しい設定の用紙形式を追加するには、**用紙名**で名前を変更し、**追加**をクリックします。

4. 削除

選択した用紙形式を削除します。削除した用紙形式は復元できません。

5. インポート

用紙形式の設定が含まれるテキストファイルを読み込んで、**現在登録されている用紙**一覧の内容を置き換えます。

お願い

一覧をインポートすると、**現在登録されている用紙**一覧の内容すべてが、インポートした用紙形式で置き換えられます。

6. エクスポート

現在登録されている用紙一覧の用紙形式をファイルにエクスポートします。エクスポートした形式は、他のパソコンに配布できます。

7. 終了

用紙サイズ設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

8. オプション

▼をクリックし、操作を選択します。

本体に用紙を登録をクリックすると、選択した用紙形式の設定がプリンターに登録されます。

コマンドファイルに保存をクリックすると、用紙設定がコマンドファイルとしてエクスポートされます。(ファイルの拡張子は「BIN」です。)

お願い

プリンターに用紙形式を登録し、**終了**をクリックすると、**用紙サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、**現在登録されている用紙**一覧には追加した用紙サイズが表示されます。ソフトウェアが実行中の場合は、ソフトウェアを終了して再起動すると、新しい用紙形式が一覧に表示されます。

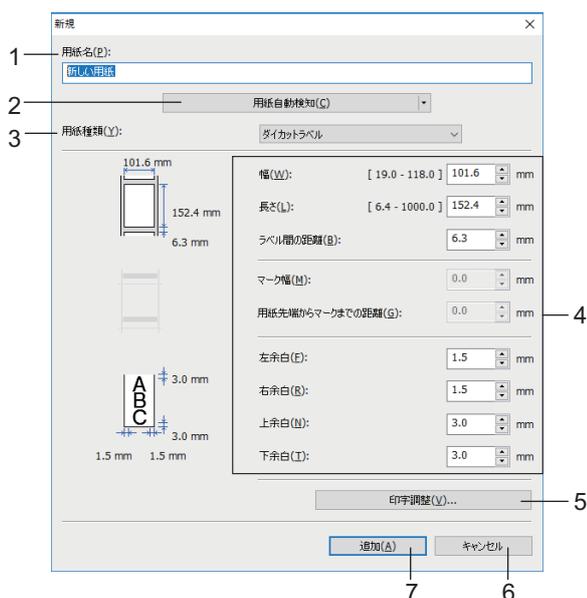


- 次の機能を使用すると、これらの設定を簡単にプリンターに適用できます。
 - マスストレージ機能
 - Bluetooth (Object Push Profile (OPP))
 - Wi-Fi (File Transfer Protocol (FTP))
- これらのコマンドは、設定をプリンターに適用するために使用します。これらのコマンドは用紙サイズ設定にインポートできません。

>> [新規ダイアログボックス](#)

>> [印字調整ダイアログボックス](#)

新規ダイアログボックス



1. 用紙名

追加する用紙設定の名前を入力します。

2. 用紙自動検知

プリンターにセットされている用紙の情報を取得し、表示します。詳細については「関連情報」をご覧ください。



このオプションを使用する場合はプリンターをアイドル状態にします。印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとすると、誤作動する可能性があります。

3. 用紙種類

用紙種類を選択します。

4. 詳細設定

追加する用紙形式の詳細を指定します。

5. 印字調整

このボタンをクリックすると、**印字調整**ダイアログボックスが表示され、用紙形式ごとに詳細な印刷調整を行うことができます。

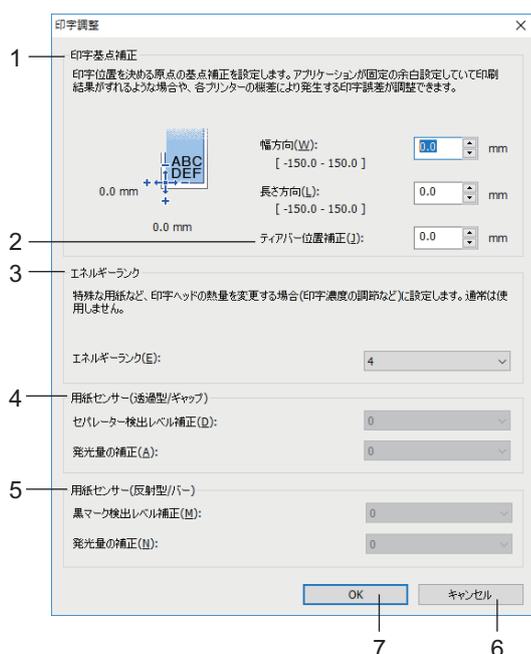
6. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

7. 追加

このボタンをクリックすると、用紙形式を追加し、設定を適用します。

印字調整ダイアログボックス



1. 印字基点補正

基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、プリンター機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。

2. ティアバー位置補正

ティアバーで用紙をカットする際のカット位置を調整します。

3. エネルギーランク

特殊な用紙などを使用する場合に、印字ヘッドの熱量（エネルギー）を調整します。



お使いの環境や用紙によって、印字結果に濃淡の差が発生する場合があります。必要に応じて設定を変更してください。

4. 用紙センサー(透過型/ギャップ)

透過型/ギャップセンサーがプレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

用紙種類が**ダイカットラベル**に設定されている場合に設定できます。



本体設定ダイアログボックスの**用紙センサー(透過型/ギャップ)**の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

5. 用紙センサー(反射型/バー)

反射型/黒マークセンサーが黒マークを検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

用紙種類が**マーク付きメディア**に設定されている場合に設定できます。



本体設定ダイアログボックスの**用紙センサー(反射型/バー)**の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

6. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

7. OK

設定を保存し、前のダイアログボックスに戻ります。



関連情報

- プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)
 - 他のパソコンに用紙形式を配布する (Windows)

関連トピック：

- 用紙自動検知

他のパソコンに用紙形式を配布する (Windows)

用紙サイズ設定ダイアログボックスの現在登録されている用紙リストからエクスポートした用紙形式を他のパソコンに配布できます。プリンタードライバーが受信側パソコンにインストールされている場合、用紙形式を配布するだけで済みます。

1. 送信側パソコンで用紙形式の設定を指定し、**エクスポート**をクリックします。

次のファイルが作成されます。

TD-4550DNWB	bst455ed.ptd bst455ed.txt pdt4235.bin
-------------	---

2. 受信側パソコンの任意の場所に TXT ファイルを保存します。
3. 受信側パソコンで**インポート**をクリックします。
インポートされた形式で用紙形式が置き換えられます。

✓ 関連情報

- [プリンター設定ツールの用紙サイズ設定 \(Windows\)](#)

複数のプリンターに設定の変更を適用する (Windows)

>> 通信設定 (TD-4550DNWB)

>> 本体設定

通信設定 (TD-4550DNWB)

1. 最初のプリンターに設定を適用した後、そのプリンターをパソコンから切断し、2 台目のプリンターをパソコンに接続します。
2. **プリンター**ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。

オプション設定ダイアログボックスの**プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する**チェックボックスを選択すると、USB ケーブルで接続されたプリンターが自動的に選択されます。

3. **設定**をクリックします。

新しい設定で無線 LAN ルーター/アクセスポイントと正しく接続されていることを確認できるように、最初のプリンターを設定するときは**適用後、プリンターを自動的に再起動する**チェックボックスを選択することをお勧めします。

最初のプリンターに適用されたのと同じ設定が 2 台目のプリンターに適用されます。

4. 設定を変更したいすべてのプリンターに対してこの手順を繰り返します。



- IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合は、後のプリンターの IP アドレスは最初のプリンターと同じアドレスに変更されます。必要に応じて IP アドレスを変更します。
- 現在の設定をファイルに保存するには、**ファイル > エクスポート**をクリックします。**ファイル > インポート**をクリックして、エクスポートされた設定ファイルを選択すると、同じ設定を別のプリンターに適用することができます。

本体設定

1. 最初のプリンターに設定を適用した後、パソコンから切断し、2 台目のプリンターを接続します。
2. **プリンター**ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。
3. **設定**をクリックします。最初のプリンターに適用されたのと同じ設定が 2 台目のプリンターに適用されます。
4. 設定を変更したいすべてのプリンターに対してこの手順を繰り返します。



現在の設定をファイルに保存するには、**ファイル > エクスポート**をクリックします。**ファイル > インポート**をクリックして、エクスポートされた設定ファイルを選択すると、同じ設定を別のプリンターに適用することができます。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)

ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する

標準的なウェブブラウザを使用して、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) または SSL(セキュアソケットレイヤー)上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) でプリントサーバーの設定を変更できます。

ウェブブラウザによる設定では、次の操作が可能です。

- プリンターのステータス情報の表示
- TCP/IP 情報などのネットワーク設定の変更
- プリンターとプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の表示
- ネットワークとプリンターの詳細設定の変更



- Windows の場合は、Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge をお勧めします。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。
- プリンターの設定を管理するための初期のログインパスワードは **initpass** です。この設定は、権限のないアクセスからプリンターを保護するために変更することをお勧めします。

ウェブブラウザによる設定を使用するには、ネットワーク上で TCP/IP を使用し、プリンターとパソコンに有効な IP アドレスが設定されている必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

https://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

- 例：

https://brnxxxxxxxxxxxx

3. パスワードの入力を求められたら入力し、 をクリックします。
4. プリントサーバーの設定を変更します。

ウェブブラウザによる設定にアクセスするたびに、**ログイン**欄にパスワードを入力して、 をクリックします。設定後、 をクリックしてログアウトします。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)
 - [ウェブブラウザのログインパスワードを設定または変更する](#)

ウェブブラウザのログインパスワードを設定または変更する

ウェブブラウザへの不正アクセスを防止するため、初期ログインパスワードは変更することをお勧めします。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

https://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

- 例：

https://brnxxxxxxxxxxxxx

3. 以下のいずれかを行います。
 - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、 をクリックします。
 - 事前にパスワードを設定していない場合は、**initpass** を入力し、 をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. **新しいパスワードの入力欄**に、使用するパスワードを入力します（最大 32 文字）。
6. **新しいパスワードの確認欄**に、パスワードをもう一度入力します。
7. **OK** をクリックします。



関連情報

- [ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する](#)

プリンターの設定を確認する

プリンターをパソコンや携帯端末に接続しなくても、プリンター設定レポートを印刷することができます。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンターに 102mm 以上の幅の RD ロールを取り付けます。
3. **Menu** を押します。
4. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [本体情報]を選択します。**OK** を押します。
 - b. [本体情報印刷]を選択します。**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[すべて]、[印刷履歴]、[本体設定]、または[転送データ]オプションを選択し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、[実行]を選択します。**OK** を押します。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)

プリンターを使用してプリンター設定を変更する

プリンターの設定は、プリンターから設定するか、またはプリンターに接続されているパソコンでプリンター設定ツールを使用して設定できます。

1. **Menu** を押します。
2. ▲または▼を押して、メニューオプションを選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、オプションを選択し、**OK** を押します。



- a. 現在の選択内容が強調表示されます。
- b. スクロールバーに、リスト上で強調表示されたオプションの位置が表示されます。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)
 - [メニューのセキュリティーを設定する](#)
 - [設定一覧](#)

関連トピック：

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

メニューのセキュリティを設定する

メニューのセキュリティを設定すると、パスコードを設定することで管理者モードへのアクセスを制限できます。

1. **Menu** を押します。
 2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定]を選択します。**OK** を押します。
 - b. [パスワード]を選択します。**OK** を押します。
 3. ▲または▼を押して、[有効]を選択します。**OK** を押します。
 4. ▲または▼を押して最初の数字を指定し、**OK** を押して次の数字に進みます。
この手順を繰り返して、残りの3つの数字を指定します。
- パスコードを設定すると、[管理者設定]メニューを選択すると必ずパスコードの入力画面が表示されるようになります。▲または▼を押して指定した4桁のパスコードを入力し、**OK** を押します。
 - パスコードの設定を取り消すには、[管理者設定]メニューを選択して、パスコードを入力します。次に、[パスワード] > [無効]を選択します。
 - パスコードを忘れた場合は、プリンター設定ツールの本体設定ツールを使用して、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すか、パスコードをもう一度設定します。

✓ 関連情報

- [プリンターを使用してプリンター設定を変更する](#)

関連トピック：

- [プリンター設定ツールの本体設定 \(Windows\)](#)

設定一覧

設定一覧で、メニューおよびオプションを確認することができます。



一部の設定は、ファームウェア（プリンターソフトウェア）によって異なる場合があります。

- >> [本体設定]
- >> [テンプレート設定]
- >> [本体情報]
- >> [管理者設定]
- >> [有線 LAN]
- >> [無線 LAN]
- >> [Bluetooth]
- >> [用紙設定]
- >> [データ更新] (ネットワーク)
- >> [データ更新] (USB フラッシュメモリー)
- >> [カスタム QR]

[本体設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[印刷の濃さ]	-	プリンターの印字濃度を調整します。
[カット設定]	-	複数のラベルを印刷する場合のカット方法を設定します。
[印刷調整 (X)]	-	印刷位置を調整します。
[印刷調整 (Y)]	-	印刷位置を調整します。
[発行方式]	-	用紙の排出先を選択します。
[ティアオフ位置]	-	カット位置を調整します。
[印刷速度]	-	プリンターの印刷速度を選択します。
[印刷の向き]	-	印刷の向きを選択します。
[時計設定]	-	日時を指定します。
[オートパワーオフ]	-	プリンターの電源が自動的にオフになるまでの時間を指定します。
[オートスリープ]	-	プリンターが自動的にスリープモードになるまでの時間を指定します。
[画面の濃さ]	-	画面のコントラストを設定します。数が大きくなるほど、コントラストが強くなります。
[バックライト設定]	-	バックライトのオンまたはオフを切り替えます。
[透過センサー]	[検出レベル補正 (透過)]	プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出するセンサーの精度を調整します。
	[発光量の補正 (透過)]	透過型/ギャップセンサーが放つ光量を調整します。
[反射センサー]	[検出レベル補正 (反射)]	黒マークを検出するセンサーの精度を調整します。
	[発光量の補正 (反射)]	反射型/黒マークセンサーが放つ光量を調整します。

[テンプレート設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[テンプレートモード]	-	プリンターの電源がオンになったときに、テンプレートモードを開始するかどうかを選択します。

設定項目 1	設定項目 2	説明
		テンプレートモードでは、プリンターに保存されているテンプレートの内容を置き換えて印刷することができます。
[印刷前の確認]	-	印刷枚数を確認できるように、印刷前にメッセージを表示させるかどうかを指定します。
[連番後の値]	[維持する]	最後に印刷された番号から連番を続ける場合に選択します。
	[初期値に戻す]	印刷するたびに初期値の番号から連番を始める場合に選択します。
[連番リセット]	-	連番を初期値の番号にリセットします。
[印刷枚数初期値]	-	印刷枚数の初期値を指定します。
[日付直接入力]	-	テンプレートに日付を直接入力します。
[時刻直接入力]	-	テンプレートに時刻を直接入力します。

[本体情報]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[本体情報表示]	-	プリンター情報を表示します。
[本体情報印刷]	[すべて]	プリンターの設定情報を印刷します（ドット抜け確認パターン、印刷履歴、印刷設定、無線設定情報、転送データ）。
	[印刷履歴]	プリンターの印刷履歴を印刷します。
	[本体設定]	本体設定を印刷します。
	[転送データ]	転送データを印刷します。

[管理者設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[コマンドモード]	-	コマンドモードの種類を選択します。
[日付形式]	-	時計の日付形式を選択します。
[時刻形式]	-	時計の時間形式を選択します。
 [言語]	-	画面の言語を選択します。
[単位]	-	表示されている設定の測定単位を選択します。
[初期化]	[工場出荷状態に戻す]	通信設定や本体設定など、プリンターのすべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。プリンターに保存されているテンプレートとデータベースも削除されます。
	[登録データ初期化]	すべての本体設定をお買い上げ時の設定に戻します。プリンターに保存されているテンプレートとデータベースも削除されます。
	[ネットワーク初期化]	通信設定をお買い上げ時の設定に戻します。
[通信用電波の遮断]	-	機内モードをオン、またはオフに切り替えます。オンに設定すると、WLAN アイコンと Bluetooth アイコンが画面に表示されなくなります。
[日時表示有無]	-	画面に日時を表示するかどうかを選択します。

設定項目 1	設定項目 2	説明
[ヘッドチェック]	-	印字ヘッドの状態をチェックします。
[ロック]	-	プリンターの画面から変更できないようにするオプションのチェックボックスを選択します。 チェックボックスを選択したら、▲または▼を押して[完了]を選択し、OK を押して設定を完了します。 メニューロックが設定されている場合、選択できない項目にロックアイコンが表示されます。
[パスワード]	-	管理者モードに入るのにパスコードの入力を求めるかどうかを選択します。オンに設定した場合は、4桁のパスワードを指定します。

[有線 LAN]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[有線 LAN TCP/IP 設定]	-	TCP/IP の設定を指定します。
[有線 LAN ステータス]	-	有線 LAN の状態を表示します。

[無線 LAN]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[無線 LAN (On/Off)]	-	WLAN 機能をオンまたはオフに切り替えます。
[ネットワークモード]	-	WLAN 機能をオンに設定した場合に、ネットワークモードを選択します。
[WPS ボタンプッシュ]	-	近くの無線 LAN アクセスポイント/ルーターへの接続を試みます。
[WPS PIN コード]	-	プリンターの 8 桁の PIN を表示します。
[インフラ手動設定]	-	近くの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの SSID を表示します。 SSID を選択し、OK を押すと、パスワード入力画面が表示されます。
[ダイレクト手動設定]	-	接続する無線 LAN アクセスポイント/ルーターの SSID とパスワードを手動で入力します。
[TCP/IP 設定]	-	TCP/IP の設定を指定します。
[接続アシスタント]	-	WLAN 接続アシスタント機能を使用して、無線ネットワーク設定を行います。
[無線 LAN ステータス]	[インフラストラクチャ] [ワイヤレスダイレクト]	WLAN の状態を表示します。

[Bluetooth]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[Bluetooth (On/Off)]	-	Bluetooth 機能をオンまたはオフに切り替えます。
[モード選択]	-	Bluetooth モードを選択します。
[BT バーコード印刷]	-	Bluetooth アドレスと、対応するバーコードを印刷します。
[Bluetooth 自動再接続]	-	自動再接続モードに切り替えます (Apple 製品の iPad、iPhone、または iPod touch のみ)。
[再接続先削除]	-	プリンターに保存されている自動再接続機器の情報を削除します。
[Bluetooth ステータス]	-	Bluetooth 機能の状態を表示します。

[用紙設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[用紙一覧選択]	-	用紙サイズと用紙種類を選択します。
[用紙自動検知]	-	セットされた用紙のサイズを検出します。
[用紙幅で選択]	-	セットされた用紙の幅を検出します。プリンター設定ツールで登録された用紙設定の中から、検出結果と一致する用紙設定を [用紙一覧選択] オプションに表示します。

[データ更新] (ネットワーク)

設定項目 1	設定項目 2	説明
[更新しますか]	-	プリンターが FTP サーバーに接続されている場合、およびテンプレート、データベース、その他のファイルを更新する必要がある場合にのみ使用できます。

事前にプリンター設定ツールの**通信設定**を使用して、FTP サーバーの情報を設定してください。

[データ更新] (USB フラッシュメモリー)

設定項目 1	設定項目 2	説明
[更新しますか?]	-	更新が必要なテンプレート、データベース、およびその他のファイルが保存された USB フラッシュメモリーをプリンターに接続した場合にのみ使用できます。

[カスタム QR]

プリンター設定ツールで設定されたカスタム QR コードを表示します。

✓ 関連情報

- [プリンターを使用してプリンター設定を変更する](#)

日常のお手入れ

- プリンターを清掃する
- ボタン電池を交換する

プリンターを清掃する

性能を適切に発揮させるため、プリンターを定期的に清掃することをお勧めします。

清掃を行う前に、必ずプリンターを電源から切断してください。

- >> 本体外面を清掃する
- >> ラベル出カスロットを清掃する
- >> ローラーを清掃する
- >> 印字ヘッドを清掃する

本体外面を清掃する

- 乾いた柔らかい布を使用して、本機のほこりや汚れを拭き取ります。汚れがひどいときは、水でほんの少し湿らせた布を使用します。

重要

塗料用シンナー、ベンゼン、アルコール、その他の有機溶剤は使用しないでください。これらを使用すると、プリンターの筐体に変形したり、損傷したりすることがあります。

ラベル出カスロットを清掃する

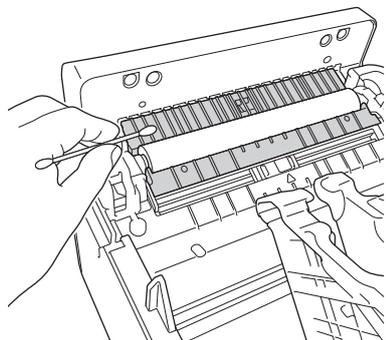
- ラベル出カスロットに粘着物が残っていると、ラベル詰まりの原因となることがあります。乾いた綿棒でラベル出カスロットを清掃します。

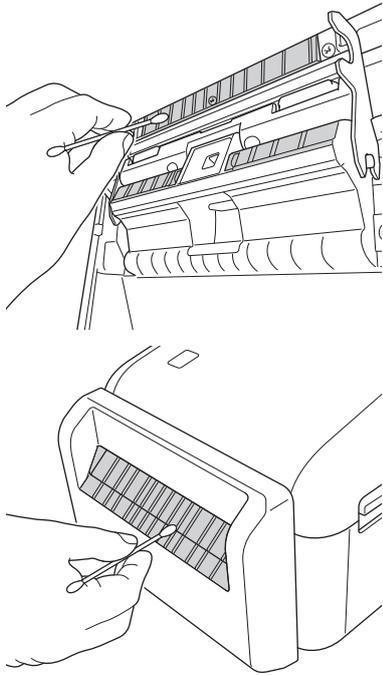
重要

ラベル出カスロットの清掃にアルコールを使用しないでください。

お願い

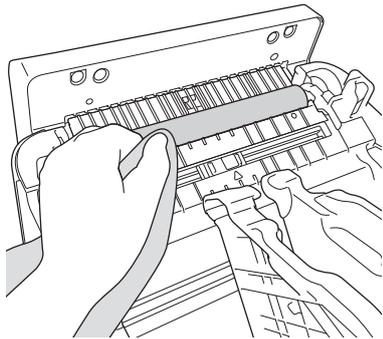
- ラベル出カスロットから排出されたラベルは必ず取り除いてください。スロットがふさがれると、ラベルが詰まる恐れがあります。
- ミシン目や折り目付きのラベルの場合、カットの精度は保証できません。





ローラーを清掃する

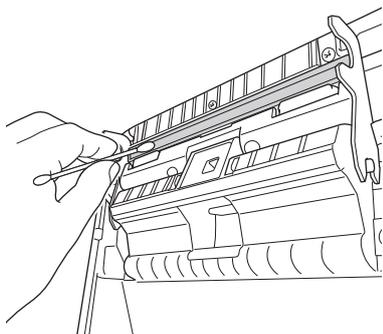
- イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。ローラーを清掃した後に、糸くずやその他の物質がローラーに残っていないことを確認します。



イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

印字ヘッドを清掃する

- イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた、糸くずの出ない布または綿棒で印字ヘッドを拭きます。
 - 印字ヘッドは毎月清掃することをお勧めします。



イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。



関連情報

- 日常のお手入れ

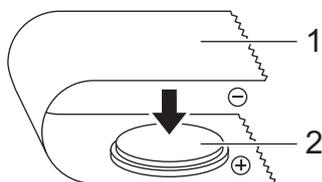
ボタン電池を交換する

ボタン電池は、内部時計の設定を維持するための予備電源として使用されます。プリンターが使用されていない場合でも、電池の電力は消費されます。

- 長期間プリンターを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池は2年ごとに交換することをお勧めします。
- 本製品に電力が供給されている間に時計がリセットされる場合、電池を交換してください。電池を交換するときは、CR2032 ボタン電池を使用してください。
- 電池は一般廃棄処理ではなく、適切な回収場所に廃棄してください。国および自治体の条例がある場合は、その定めに従ってください。

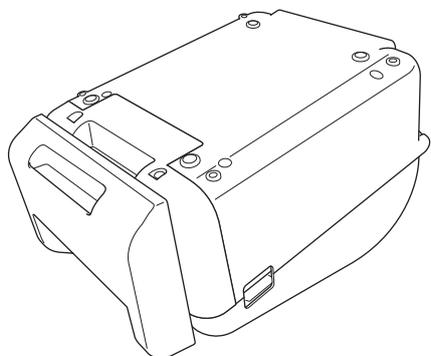
重要

- 推奨電池のみを使用してください。その他の電池を使用すると、プリンターが破損する恐れがあります。
- 電池を保存または廃棄するときは、セロハンテープを巻いて、ショートを起こさないようにしてください。

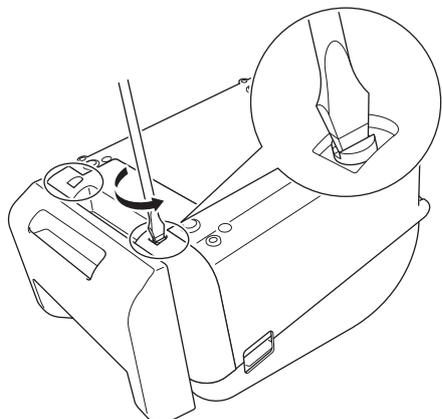


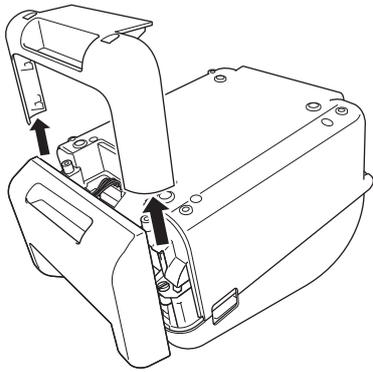
1. セロハンテープ
2. ボタン電池

1. プリンターを AC 電源コンセントから切断します。
2. プリンターをひっくり返します。

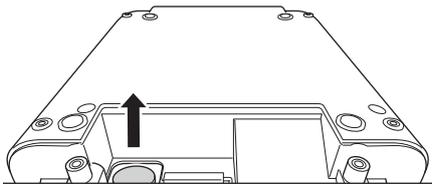


3. マイナスドライバーを使用して、フロントカバーベースを取り外します。

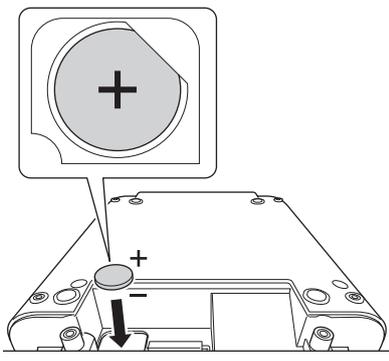




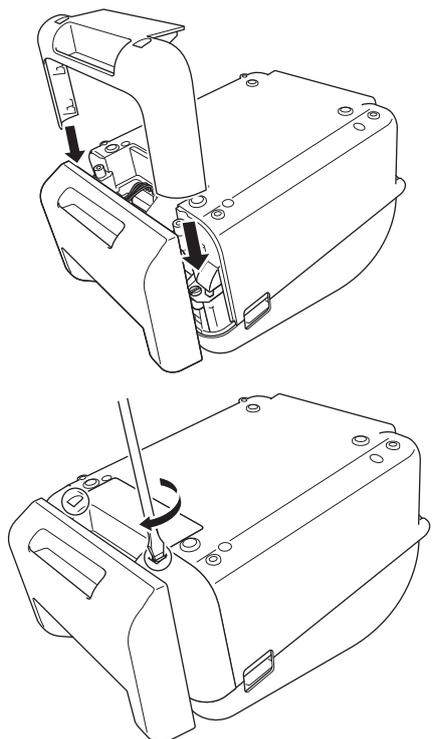
4. 電池を取り外します。



5. 新しい電池を電池スロットに取り付け、電池が水平で、正極が上を向いていることを確認します。



6. マイナスドライバーを使用して、フロントカバーベースを再度取り付けます。



7. AC 電源コードを AC 電源コンセントに再度差し込みます。

 **関連情報**

- [日常のお手入れ](#)

関連トピック：

- [日時を設定する](#)
-

困ったときは

- 本製品に問題がある場合は
- エラーとメンテナンスの表示
- 印刷の問題
- バージョン情報
- プリンターをリセットする

本製品に問題がある場合は

この章では、プリンターの使用中に発生する可能性のある一般的な問題の対処方法について説明します。プリンターに問題がある場合、まず、次の作業を正しく行ったかを確認してください。

- プリンターを AC 電源コンセントに接続する。詳細については「関連情報」をご覧ください。
- プリンターからすべての保護用梱包材を取り外す。
- 正しいプリンタードライバーをインストールして選択する。詳細については「関連情報」をご覧ください。
- パソコンまたは携帯端末にプリンターを接続する。詳細については「関連情報」をご覧ください。
- ロールカバーを完全に閉じる。
- RD ロールを正しく挿入する。詳細については「関連情報」をご覧ください。

上記を実行しても問題が解決されない場合は「関連情報」をご覧ください。関連するトピックを確認しても、問題を解決できない場合は、サポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

✓ 関連情報

- [困ったときは](#)

関連トピック：

- [電源コードを接続する](#)
- [プリンタードライバーおよびソフトウェアをパソコンにインストールする](#)
- [プリンターをパソコンに接続する](#)
- [プリンターを携帯端末に接続する](#)
- [RD ロールをセットする](#)

エラーとメンテナンスの表示

インジケータが点灯および点滅し、プリンターの状態を示します。

 または  または 	表示色でインジケータが点灯します。
 または  または 	表示色でインジケータが点滅します。
	いずれかの色でインジケータが消灯、点灯、または点滅します。
	インジケータが消灯しています。

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態	対処方法
			電源オフ	-
			給紙モード	-
			印刷モード	-
			カットモード	-
			アイドルモード	-
			マスマストレージモード	-
			用紙サイズの検出中	-
		 (3 秒間に 1 回)	印刷一時停止	-
		 (2 秒間に 1 回)	データ受信中	-
		 (1 秒間に 1 回)	印刷ジョブのキャンセル中	-
			印刷準備モード	-
			ダウンロードモード	-
		 (1 秒間に 1 回)	冷却モード	-
		 (2 秒間に 1 回)	カバーオープンエラー	所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。
BLF ファイルエラー			▲ または ▼ 以外のボタンを押して、エラーを解除します。	
通信エラー				
データベース検索エラー				
テンプレートなしエラー				
メモリー容量オーバーエラー				
ESC/P メモリー容量オーバーエラー				
JPEG ファイルエラー				
データ更新未完了エラー				
無線 LAN アクセスポイントルーター検索エラー				

電源 LED	ロール LED	ステータス LED	状態	対処方法
		 (2秒間に1回)	無線 LAN アクセスポイントルーター接続エラー	▲または▼以外のボタンを押して、エラーを解除します。
			セキュリティーエラー	
	 (2秒間に1回)	 (2秒間に1回)	ロール切れエラー	 を押して、エラーを解除します。 用紙設定に合った、十分な残量があるロールを挿入します。
			給紙エラー	 を押して、エラーを解除します。 用紙設定に合ったロールを挿入します。
 (3秒間に1回)			スリープモード	-
 (1秒間に1回)		 (1秒間に1回)	マスマストレージモードに切り替え中	-
			データ上書きモード	-
			システムオフモード	-
			初期化モード	-
		 (2秒間に2回)	マスマストレージエラー	 を長押しして、エラーを解除します。
			カッターエラー	
			印字ヘッド未検知エラー	
			USB ホスト非対応機器接続エラー	
		USB ホスト HUB 接続エラー		
	 (2秒間に3回)	USB ホスト電源供給オーバーエラー		
			ブートモード	ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
 (急速に点滅)	 (急速に点滅)	 (急速に点滅)	システムエラー	ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
			ロールカバーが開いています。	所定の位置で固定されるまで、ロールカバーを閉じます。

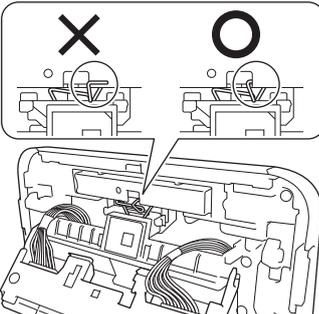
関連情報

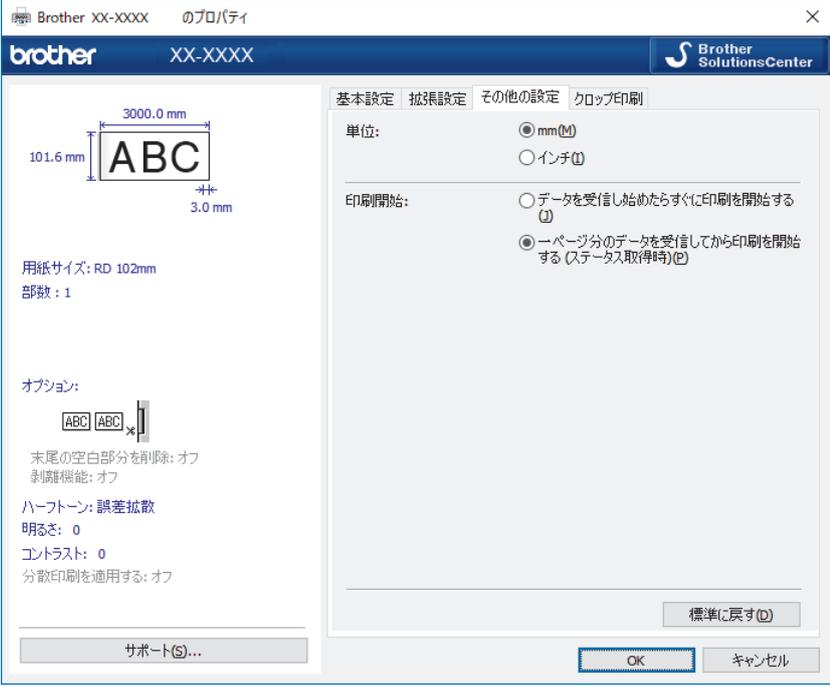
- 困ったときは

印刷の問題

印刷の問題

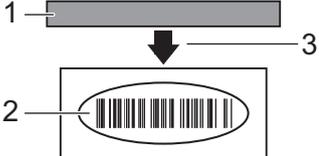
問題	解決方法
LED インジケーターまたは液晶ディスプレイが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> アダプターのコードは正しく差し込まれていますか？ コードが正しく差し込まれていることを確認してください。 それでも、LED インジケーターまたは液晶ディスプレイが点灯しない場合は、ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。
印刷できない、または印刷エラーになる。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが外れていませんか？ ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。 ロールは正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、ロールを取り外してセットしなおしてください。 ロールを使い切っていませんか？ 新しいロールをセットしてください。 ロールカバーが開いていませんか？ ロールカバーが閉じているか確認してください。 印刷エラーや送信エラーが発生していませんか？ プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。問題が解消されない場合は、ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。 プリンターが USB ハブ経由でパソコンに接続されている場合は、パソコンに直接接続してください。パソコンに直接接続されている場合は、別の USB ポートに接続してみてください。
データ送信エラーがパソコンに表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいポートが選択されていますか？ 正しいポートが選択されているか確認してください。 プリンターが冷却モードになっていませんか？ 電源 LED が緑色で点灯、およびステータス LED がオレンジ色で点滅している場合、ステータス LED の点滅が停止するまで待ち、再度印刷してください。 完了していない印刷ジョブはありませんか？ 他のユーザーが大量のデータを印刷しているときに印刷しようとする、プリンターは現在の印刷ジョブが完了するまで新しい印刷ジョブを受け付けることができません。その場合は、他のジョブが完了した後に再度印刷ジョブを送ってください。
現在の印刷ジョブをキャンセルしたい。	印刷の一時停止中に  を押します。
印刷品質が悪い。	<p>印字ヘッドやローラーにほこりや汚れが付着し、ローラーの回転を妨げていませんか？</p> <p>印字ヘッドまたはローラーを清掃してください。詳細については「関連情報」をご覧ください。</p>
用紙が送り込まれない。	<ul style="list-style-type: none"> ローラーに汚れや糸くずが付着し、ローラーの回転を妨げていませんか？ ローラーを清掃してください。詳細については「関連情報」をご覧ください。 用紙の排出経路がふさがっていないか確認してください。 ロールを取り外してセットしなおしてください。詳細については「関連情報」をご覧ください。 ロールカバーが完全に閉じているか確認してください。

問題	解決方法
断続的に用紙送りされる。	<ul style="list-style-type: none"> • ロールカバーを開けてください。 • いずれかのボタンを押して、用紙送りを停止してください。 印刷の一時停止中にを押すと、印刷ジョブをキャンセルします。 印刷の一時停止中に、▲、▼以外のいずれかのボタンを押すと、印刷を再開します。
ラベルとラベルの間で停止しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙情報が正しく入力されているかどうかを確認してください。用紙情報は、プリンター設定ツールの用紙サイズ設定で設定できます。 • センサーが汚れている場合は、乾いた綿棒で拭いてください。 • センサーを妨げているものがないか確認してください。
用紙の頭出しができず、エラーが起きる。	<p>給紙エラーが発生している場合は、プリンター設定ツールの用紙サイズ設定で、プリンターに正しい用紙設定を指定してください。</p> <p>RD ロールを使用している場合は、Menu を押してから [用紙設定] > [用紙一覧選択] を押して、プリンターに正しい用紙がセットされているか確認してください。</p>
冷却モードになっている。	<p>サーマルヘッドが熱すぎます。</p> <p>プリンターが停止して、サーマルヘッドの冷却が完了した後に印刷を再開します。多量のラベルを印刷すると、サーマルヘッドが過熱することがあります。</p> <p>サーマルヘッドが過熱すると、印刷範囲の外に印刷されることがあります。過熱を回避または遅らせるには、プリンターを密閉された場所ではなく、十分な換気を行える環境でご使用ください。</p> <p>使用しているロールの種類やラベルの内容によっては、プリンターが過熱して冷却が必要になり、通常よりも印刷に時間がかかることがあります。</p> <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お願い</p> <p>高所など空気濃度の薄いところ（3,048m 以上）では、プリンターの冷却に利用できる空気が薄いため、このような現象が起こりやすくなります。</p> </div>
プリンターをリセットしたい/パソコンから転送したデータを削除したい。	「関連情報」をご覧ください。
印字ヘッドを取り付けられない。	<p>印字ヘッドのばねがはみ出していると、印字ヘッドを取り付けることができません。印字ヘッドのばねを正しく取り付け、再度試してください。</p> 
オプションのハクリユニットを使用しているときに、用紙が正しく排紙されない。	<p>ハクリユニットのセンサーに直射日光が当たっていませんか？</p> <p>ハクリユニットのセンサーに直射日光が当たっていると、セットされている用紙が正しく検出できない場合があります。直射日光が当たらない場所でプリンターを使用してください。</p>

問題	解決方法
<p>USB ケーブル経由で印刷すると、プリンターがたびたび一時停止して印刷を続ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プリンターが連続印刷に設定されていませんか？ その場合は、印刷モードをバッファ印刷に設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> - Windows 10/Windows Server 2016 の場合： スタート > 設定 > デバイス > プリンターをクリックします。設定するプリンターをクリックし、キューを開くをクリックします。プリンター > 印刷設定をクリックします。 その他の設定タブをクリックし、一ページ分のデータを受信してから印刷を開始するオプションを選択します。 - Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合： アプリ画面でコントロール パネルをクリックします。ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンターをクリックします。設定するプリンターを右クリックし、印刷設定メニューをクリックします。 その他の設定タブをクリックし、一ページ分のデータを受信してから印刷を開始するオプションを選択します。 - Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合： スタート > デバイスとプリンターをクリックします。設定するプリンターを右クリックし、印刷設定メニューをクリックします。 その他の設定タブをクリックし、一ページ分のデータを受信してから印刷を開始するオプションを選択します。 • または、USB 印刷が完了するまで LAN ケーブルを外しておきます。 <p>Windows の場合</p> 

問題	解決方法
P-touch Editor 以外のアプリケーションから印刷したバーコードを読み取れない。	<p>バーコードデータが横長で作成されている場合は、プリンタードライバーの基本設定タブの用紙方向設定を横方向に変更して再度お試しください。</p> 

印刷結果の問題

問題	解決方法
印刷した用紙に筋が入る、文字の印字品質が悪い、用紙が正しく送られない。	<p>印字ヘッドまたはローラーが汚れていませんか？ 印字ヘッドは通常の使用では汚れませんが、ローラーの糸くずや汚れが印字ヘッドに付着することがあります。このような場合は、ローラーを清掃してください。詳細については「関連情報」をご覧ください。</p>
印刷したバーコードを読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> 以下のように、バーコードが印字ヘッドに揃うようにラベルを印刷してください。  <ol style="list-style-type: none"> 1. 印字ヘッド 2. バーコード 3. 印刷の向き <ul style="list-style-type: none"> バーコードは、縮小または拡大すると、読み取ることができない場合があります。 別のバーコードスキャナーを使用してみてください。

ネットワークの問題

問題	解決方法
セキュリティーソフトウェアを使用している。	<ul style="list-style-type: none"> インストールダイアログボックスの設定を確認してください。 プリンターのインストール中にセキュリティーソフトウェアの警告メッセージが表示された場合は、アクセスを許可してください。
セキュリティーの設定 (SSID/ネットワークキー) が正しくない。	<p>正しいセキュリティー設定を再確認および選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無線 LAN アクセスポイントルーターのセキュリティー設定には、お買い上げ時の設定として製造元メーカーの名前や機種名が使用されている場合があります。

問題	解決方法
	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ設定の確認方法については、無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書をご覧ください。 無線 LAN アクセスポイントルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
Wi-Fi または Bluetooth を使用してプリンターをホスト機器に接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi ネットワーク設定を行うときに、プリンターと携帯端末を約 1 メートル以内まで近づけてください。 障害物のない場所にプリンターを移動してください。
Wi-Fi または Bluetooth を使用して印刷できない。	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスパソコン、Bluetooth 搭載機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話、またはその他の機器がプリンターや無線 LAN アクセスポイントルーターの近くにある場合は、機器を離してください。
プリンターと携帯端末の間に、障害物（壁や家具など）がありませんか？	障害物のない場所にプリンターを移動してください。
MAC アドレスのフィルタリング機能を使用している。	プリンター設定レポートを印刷すると、MAC アドレスを確認できます。詳細については「関連情報」をご覧ください。
プリンターがネットワークに正しく接続されない。	<ul style="list-style-type: none"> プリンターが、接続先のモードに設定されているか確認してください。 プリンターがまだ接続されない場合は、以下の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi 接続の場合 <ul style="list-style-type: none">  : ネットワークを検索中。検索が完了するまでお待ちください。 Wireless Direct の場合 <ul style="list-style-type: none"> 画面に Wireless Direct アイコンが表示されている場合、接続したい機器からプリンターを検索してください。 有線 LAN の場合 <ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 Bluetooth の場合 <ul style="list-style-type: none"> 画面に Bluetooth アイコンが表示されている場合、接続したい機器からプリンターを検索してください。
上記をすべて試しても、Wi-Fi/Bluetooth 機能を設定できない。	プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。その後、Wi-Fi と Bluetooth の設定を再度行ってください。
Apple 製品 (iPad、iPhone、iPod touch) との Bluetooth 接続が切れると、プリンターが接続されない。	自動再接続機能をオンにしてください。この機能は、プリンター設定ツールから設定できます。詳細については「関連情報」をご覧ください。 プリンターの画面で Bluetooth メニューを使用して設定することもできます。
使用可能な IP アドレスがプリンターに割り当てられていない。	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。お使いのパソコンとプリンターの、IP アドレスとサブネットマスクがいずれも正しく、同じネットワーク上にあることを確認してください。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法については詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 プリンター設定ツールを使用して、IP アドレス、サブネットマスク、その他のネットワーク設定を確認してください。詳細については「関連情報」をご覧ください。 ネットワーク設定は、プリンターの画面で確認することもできます。
以前の印刷ジョブが失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> 完了していない印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除してください。 例：Windows 10 を使用している場合： スタート > 設定 > デバイス > プリンター をクリックします。設定するプリンターをクリックし、キューを開く をクリックします。プリンター > すべてのドキュメントの取り消し をクリックします。
上記をすべて確認したが、プリンターで印刷できない。	プリンタードライバーとソフトウェアをアンインストールしてから再インストールしてください。

問題	解決方法
標準インストール、BRAdmin Light インストール、または印刷中にセキュリティ警告のダイアログボックスが表示されたときに、アクセスの許可を選択しなかった。	セキュリティ警告のダイアログボックスが表示されたときにアクセスの許可を選択しなかった場合は、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能によってアクセスがブロックされている可能性があります。一部のセキュリティソフトウェアでは、セキュリティ警告のダイアログボックスを表示せずにアクセスをブロックすることがあります。アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの取扱説明書をご覧になるか、セキュリティソフトウェアの提供元にお問い合わせください。
ブラザーのネットワーク機能に、正しくないポート番号が使用されている。	<p>ブラザーのネットワーク機能では、次のポート番号が使用されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BRAdmin Light : ポート番号 161/プロトコル UDP <p>ポートを開く方法については、セキュリティソフトウェアの取扱説明書をご覧になるか、セキュリティソフトウェアの提供元にお問い合わせください。</p>

✓ 関連情報

- 困ったときは

関連トピック：

- プリンターをリセットする
- プリンターを清掃する
- RD ロールをセットする
- プリンターの設定を確認する
- プリンター設定ツールの通信設定 (Windows)

バージョン情報

問題	解決方法
プリンターのファームウェアのバージョン番号がわからない。	プリンター設定レポートを印刷して、ファームウェアのバージョン番号を確認できます。詳細については「関連情報」をご覧ください。
最新バージョンのソフトウェアを使用しているかどうかを確認したい。	P-touch Update Software を使用して、最新バージョンを使用しているかどうかを確認します。P-touch Update Software の詳細については「関連情報」をご覧ください。

✓ 関連情報

- ・ [困ったときは](#)

関連トピック：

- ・ [プリンターの設定を確認する](#)
- ・ [ファームウェアを更新する](#)

プリンターをリセットする

プリンターが正常に作動しない場合や、すべての保存済みファイルを削除したい場合は、プリンターの内部メモリをリセットします。

>> [画面メニューを使用して設定をリセットする](#)

>> [プリンター設定ツールを使用してデータをリセットする](#)

画面メニューを使用して設定をリセットする

画面メニューを使用して、次の設定をリセットできます。

- プリンターの設定
 - ユーザー設定
 - ネットワーク設定
1. **Menu** を押します。
 2. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [初期化] を選択します。OK を押します。
 - c. 使用するリセットオプションを選択します。OK を押します。
 3. ▲ または ▼ を押して、[実行] を選択します。OK を押します。
本製品が再起動します。

プリンター設定ツールを使用してデータをリセットする

パソコンからプリンター設定ツールを使用して、次の操作を行うことができます。

- テンプレートとデータベースを削除する
- 通信設定をリセットする
- プリンターの設定をお買い上げ時の設定にリセットする

✓ 関連情報

- [困ったときは](#)

付録

- 仕様
- ソフトウェア開発キット
- 用紙自動検知
- 別売品
- アフターサービスのご案内

仕様

- >> 印刷
- >> サイズ
- >> インターフェイス
- >> 環境
- >> 電源
- >> 用紙の仕様
- >> 対応オペレーティングシステム

印刷

印刷方式	感熱方式
印刷解像度	• 300 dpi
印刷速度（ご使用の用紙によって異なります）	• 最高 152.4 mm/秒 ¹
最大印字幅	• 108.4 mm
最大印字長	3000 mm

¹ 弊社標準環境下

サイズ

重量	• 約 2.41 kg
外形寸法	• 約 180 mm（幅） x 155 mm（高さ） x 255 mm（奥行き）

インターフェイス

USB	USB Ver.2.0（フルスピード）（Type B）
シリアル	RS232C（DB9 オス） ¹
有線 LAN	10/100BASE-TX
USB ホストポート	USB Ver.2.0（フルスピード）（Type A）
Bluetooth	Bluetooth Ver.4.2 / BLE MFi SPP、OPP、HCRP（クラシック Bluetooth）、GATT（Bluetooth Low Energy）
無線 LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n（インフラストラクチャモード） IEEE 802.11 g/n（Wireless Direct モード）

¹ 3m 未満のシリアルケーブルを使用してください。

環境

動作温度	5°C～40°C
動作湿度	20%～85%（結露なきこと） 最高湿球温度：27°C
保管温度	-20°C～60°C
保管湿度	10%～90%（結露なきこと）

電源

アダプター	AC アダプター（100～240 V 50/60 Hz）
-------	------------------------------

用紙の仕様

媒体の素材によっては、印字品質に影響が出る可能性があります。

最適な印刷結果を得るには、ブラザー製の感熱紙（RD ロール）を使用することをおすすめします。

用紙種類	リストバンド、無定長、プレカット紙、ファンフォールド紙、ミシン目入り、タグ
用紙幅	19 mm～118 mm
最小用紙長	6.4 mm 連続：6.4 mm ハクリュユニット：17 mm カッター：20 mm ティア：18 mm
厚さ	0.058 mm～0.279 mm
ロール外径（最大）	127 mm
芯の直径（最小）	12.7 mm
用紙センサー	透過型、反射型

対応オペレーティングシステム

すべてのソフトウェアの最新のリストについては、support.brother.co.jp を参照してください。

✓ 関連情報

- ・ 付録

ソフトウェア開発キット

ソフトウェア開発キット（SDK）は、開発者ツールサイト（<https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html>）から入手できます。

b-PAC SDK、およびモバイル端末（Android™、iPhone、iPad）向けの SDK もダウンロードすることができます。（SDK を入手できるかどうかは、予告なく変更される場合があります。）

✓ 関連情報

- [付録](#)

用紙自動検知

- [用紙自動検知の概要](#)
- [用紙自動検知機能を使用する](#)
- [センサーの位置を確認する](#)

用紙自動検知の概要

用紙自動検知を行うと、プリンターにセットした用紙の特徴を自動的に検出し、正しい用紙サイズ設定を選択します。

機種	自動検出項目
TD-4550DNWB	<ul style="list-style-type: none">用紙種類幅長さラベルの余白マークの幅ギャップ/黒マーク検出レベル補正

用紙自動検知の流れ

用紙自動検知を開始すると、プリンターが用紙送りを行い、用紙の特徴を検出します。基本的には、以下の場合を除いて、プリンターは用紙を連続用紙として設定します。

- 透過型/ギャップセンサーがプレカット紙ラベルを検出した場合。
- 反射型/黒マークセンサーがマーク付き用紙を検出した場合。¹



- 用紙自動検知中に用紙切れが発生すると、プリンターが用紙種類の検知を正常に行えず、エラーが表示されます。
- 用紙幅が揃っていないと、正しく検出できません。
- 用紙の形状や材質によっては、用紙を検出できない場合があります。
- 検出した用紙幅から左右 2.0mm を引いた値が設定されます。



関連情報

- [用紙自動検知](#)

¹ 結果によっては、再度給紙動作を行う場合があります。

用紙自動検知機能を使用する

>> 画面メニューを使用して用紙情報を調整する

>> プリンタ設定ツールを使用して用紙情報を調整する

画面メニューを使用して用紙情報を調整する

1. **Menu** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [用紙設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [用紙自動検知] を選択します。 **OK** を押します。
検出が完了すると、検出された用紙情報がプリンターに設定されます。
3.  を押します。

プリンタ設定ツールを使用して用紙情報を調整する

1. 設定するプリンターをパソコンに接続します。
2. プリンター設定ツールを起動します。
 - **Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > **Brother** > **Printer Setting Tool** をクリックします。
 - **Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面の **Printer Setting Tool** アイコンをクリックします。
 - **Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Label & Mobile Printer** > **Printer Setting Tool** をクリックします。
3. **用紙サイズ設定** をクリックします。
4. **編集** または **新規** をクリックします。
5. **用紙自動検知** ドロップダウンリストをクリックし、**用紙自動検知オプション** または **幅だけ取得 (フィードなし)** オプションを選択します。
検出結果が表示されます。
6. **インポート** をクリックして、結果を用紙サイズ設定に適用します。



関連情報

- [用紙自動検知](#)

別売品

- プリンターのその他の部品を清掃する
- ハクリユニットオプションを変更する
- カットオプションを変更する

プリンターのその他の部品を清掃する

最大限の性能を発揮させるため、プリンターを定期的に清掃することをお勧めします。

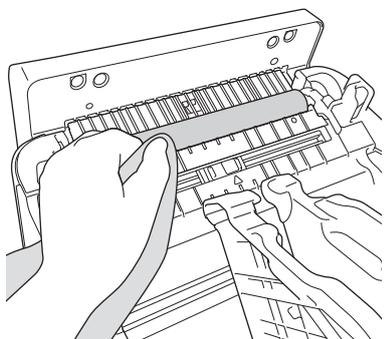
清掃を行う前に、必ずプリンターを電源から切断してください。

- >> ローラー
- >> 印字ヘッド
- >> カッター
- >> ハクリユニット

ローラー

TD-4550DNWB	PA-PR3-001
-------------	------------

- イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。ローラーを清掃した後に、糸くずやその他の物質がローラーに残っていないことを確認します。

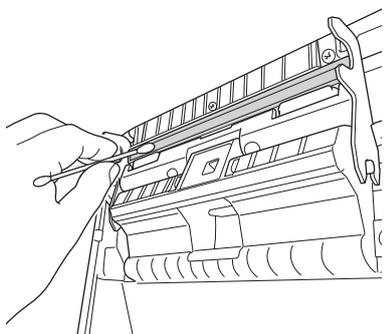


イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

印字ヘッド

TD-4550DNWB	PA-HU3-001
-------------	------------

- イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた、糸くずの出ない布または綿棒で印字ヘッドを拭きます。
 - 印字ヘッドは毎月清掃することをお勧めします。



イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

カッター

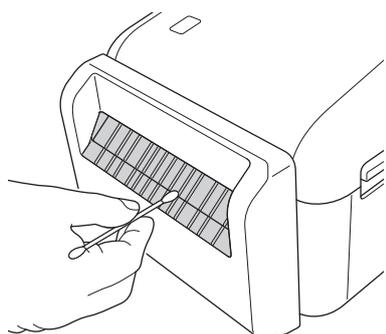
TD-4550DNWB	PA-CU-001
-------------	-----------

お願い

- ラベル出カスロットから排出されたラベルは必ず取り除いてください。スロットがふさがれると、ラベルが詰まる恐れがあります。
 - ミシン目や折り目付きのラベルの場合、カットの精度は保証できません。
-
- ラベル出カスロットに粘着物が残っていると、ラベル詰まりの原因となることがあります。乾いた綿棒でラベル出カスロットを清掃します。

重要

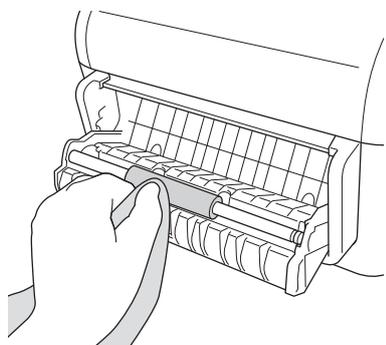
ラベル出カスロットの清掃にアルコールを使用しないでください。



ハクリユニット

TD-4550DNWB	PA-LP-002
-------------	-----------

- イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。ローラーを清掃した後に、糸くずやその他の物質がローラーに残っていないことを確認します。

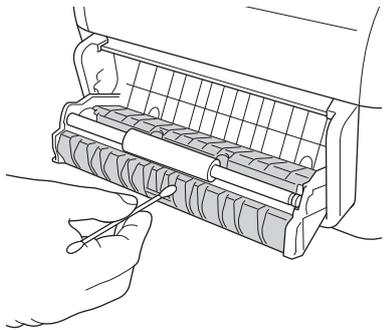


 イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。

- ハクリユニットに粘着物が残っていると、ラベル詰まりの原因となることがあります。乾いた綿棒でハクリユニットを清掃します。

重要

ハクリユニットの清掃にアルコールを使用しないでください。



✓ 関連情報

- 別売品

ハクリユニットオプションを変更する

ハクリユニットを取り付けた後に、プリンタードライバーのハクリユニットオプションを設定します。

- 以下のいずれかを行います。
 - Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > 設定 > デバイス > プリンターをクリックします。設定するプリンターをクリックし、**キューを開く**をクリックします。**プリンター > 印刷設定**をクリックします。
 - Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面で**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター**をクリックします。設定するプリンターを右クリックし、**印刷設定メニュー**をクリックします。
 - Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > **デバイスとプリンター**をクリックします。設定するプリンターを右クリックし、**印刷設定メニュー**をクリックします。
- 剥離機能を使う**チェックボックスを選択します。
- OK** をクリックします。

✓ 関連情報

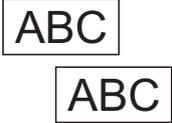
- 別売品

カットオプションを変更する

カットオプションを使用すると、ラベルの給紙方法とカット方法を指定できます。P-touch Editor を使用しない場合は、プリンタードライバーのプロパティでカットオプションを変更できます。

- 以下のいずれかを行います。
 - Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > 設定 > デバイス > プリンターをクリックします。設定するプリンターをクリックし、**キューを開く**をクリックします。プリンター > **印刷設定**をクリックします。
 - Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面で**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター**をクリックします。設定するプリンターを右クリックし、**印刷設定メニュー**をクリックします。
 - Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > **デバイスとプリンター**をクリックします。設定するプリンターを右クリックし、**印刷設定メニュー**をクリックします。
- 指定枚数ごとにカット**チェックボックスを選択し、複数のラベルを印刷するときにカットする位置を選択します。
- 最後をカット**チェックボックスを選択します。
- OK** をクリックします。

ラベルカットオプション

オートカット (ラベル 1 枚ごとにカット)	最後でカット	仕上がりイメージ
オフ	オン	
オフ	オフ	
オン	オンまたはオフ	

✓ 関連情報

- 別売品

アフターサービスのご案内

>> ユーザーサポートについて

>> 部品の保有期間について

ユーザーサポートについて

保証書は本機に同梱されています。販売店・お買い上げ年月日等が記入されているかご確認ください。保証書、保証規定をよくお読みの上、大切に保管してください。

アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合は、お買い上げの販売店、または下記「ブラザーコールセンター」までお問い合わせください。

ブラザーコールセンター

TEL : 0120-590-383

受付時間 : 月～土 9:00～12:00 / 13:00～17:00

日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

部品の保有期間について

本機の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後 5 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

✓ 関連情報

- ・ 付録

brother



JPN
Version B